
30
THE 30th ANNIVERSARY
OSIM
BWF WORLD SUPERSERIES
新たなる伝説へ。
30th
YONEX OPEN JAPAN 2011
PART OF THE OSIM BWF WORLD SUPERSERIES
YONEX
OSIM
AJINOMOTO
RENESAS
NTT東日本
UNISYS
加賀電子グループ
Panasonic


GET READY
スピードに
NANO
スピードドライブで圧倒する
700RP
スピードタッチでコースを狙う
700FX
NEW ナノレイ700RP・700FX | ¥22,050(本体価格¥21,000) | 日本製

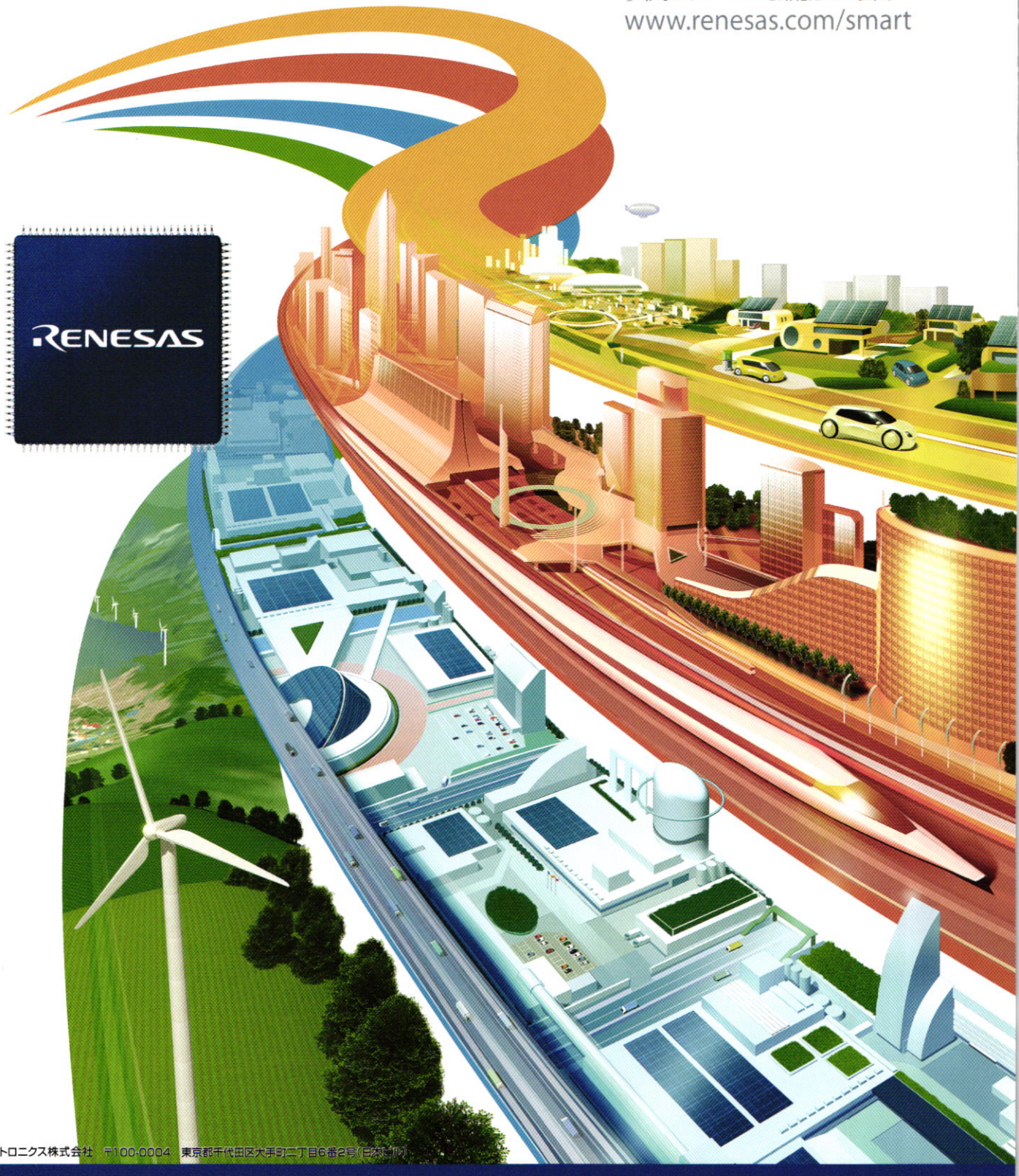

FOR SPEED
気 を つ け ろ
YONEX
www.yonex.co.jp/nanoray/

グリーン社会の未来へ、もっと速く。
ルネサス エレクトロニクスの半導体。

今、私たちには地球との共生を目指すグリーン社会の実現に向けて、
環境負荷が少ない製品づくりや、便利で安全なインフラ整備が求められています。
ルネサス エレクトロニクスは、マイコンを中心とする半導体と
各種ソリューションをグローバルに提供し、
お客様と共にグリーンな未来への近道を築いていきます。



スマート関連機器の早期開発を実現する
多彩なソリューションを用意しています。
www.renesas.com/smart



ルネサス エレクトロニクス株式会社　〒100-0004　東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル）

RENESAS

YONEX OPEN JAPAN 2011

第30回ヨネックスオープンジャパン2011
OSIN BWFワールドスーパーシリーズ

SCHEDULE

9月20日(火)	各種目予選	9:00開場／10:00開始
9月21日(水)	各種目1回戦	9:00開場／10:00開始
9月22日(木)	各種目2回戦	10:00開場／12:00開始
9月23日(金・祝)	各種目準々決勝	10:00開場／12:00開始
9月24日(土)	各種目準決勝	10:00開場／12:00開始
9月25日(日)	各種目決勝	10:00開場／12:00開始

※開場・開始時間は変更になる場合があります

VENUE

東京体育館

【TV放映】

＊放映日時は変更になる場合があります

NHK-BS1	9月24日(土)	19:00~20:50 準決勝
	9月25日(日)	19:00~20:50 決勝
J sports 1	9月23日(金・祝)	12:00~16:30 準々決勝
J sports 2	9月21日(水)	20:30~23:00 1回戦
	9月25日(日)	7:00~11:00 準決勝
	9月27日(火)	19:30~23:00 準決勝&決勝
	9月28日(水)	19:30~23:00 決勝
J sports ESPN	9月22日(木)	19:15~22:00 2回戦
	9月23日(金・祝)	17:00~19:30 準々決勝

【賞金】

賞金総額 US$200,000

男子シングルス Men's singles
優勝$15,000
準優勝$7,600
3位$2,900 5位$1,200 16強$700

女子シングルス Women's singles
優勝$15,000
準優勝$7,600
3位$2,900 5位$1,200 16強$700

男子ダブルス Men's doubles
優勝$15,800
準優勝$7,600
3位$2,800 5位$1,450 16強$750

女子ダブルス Women's doubles
優勝$15,800
準優勝$7,600
3位$2,800 5位$1,450 16強$750

混合ダブルス Mixed doubles
優勝$15,800
準優勝$7,600
3位$2,800 5位$1,450 16強$750

【主催】

主　催: 公益財団法人日本バドミントン協会(NBA)
公　認: 世界バドミントン連盟(BWF)
主　管: 東京都バドミントン協会
後　援: 東京都
冠協賛: ヨネックス株式会社
Super Series Global Sponsor:OSIM
協　賛: 味の素株式会社
ルネサスエレクトロニクス株式会社
東日本電信電話株式会社
日本ユニシス株式会社
パナソニック株式会社
加賀電子株式会社
サッポロビール株式会社
協　力: 三菱電機株式会社
トナミ運輸株式会社
株式会社クレディセゾン
イー・ピー・アイ・トラベル株式会社
株式会社ホテルオークラ東京
株式会社協栄
ナガセケンコー株式会社
日本バドミントン専門店会
株式会社ラケットショップフジ

オフィシャルシャトルコック:ヨネックス「トーナメント」
オフィシャルコート:ヨネックスコート

大会プログラム制作:
ベースボール・マガジン社　バドミントン・マガジン編集部

CONTENTS

07 MESSAGE
ご挨拶

12 30回記念特別企画
特別寄稿 THE SPECIAL CONTRIBUTION
大きな潮流から生まれた ヨネックスオープンジャパン
宮永武司

特別対談 SPECIAL TALK
「ヨネックスオープンジャパンを大きな転機に」
陣内貴美子×田児賢一

20 JAPANのエース紹介
「歴史を超えろ!」
末綱聡子&前田美順／池田信太郎&潮田玲子

23 PREVIEW
各種目展望

男子シングルス
新たなる伝説へ——TOWARD A NEW LEGEND
▶リー・チョンウェイ／林丹／ピーター・ゲード／タウフィック・ヒダヤット
田児賢一／佐々木翔／ シモン・サントソ／朴成奐／グエン・ティエンミン
陳金／ブーンサック・ポンサナ／ヤン・ヨルゲンセン／マーク・ツィーブラー
伝説の選手——LEGENDARY PLAYERS
▶モルテン・フロスト／趙剣華／アーディーB・ウィラナタ／ハリアント・アルビ

30 **女子シングルス**
女王たちの挑戦——CHALLENGE OF THE QUEENS
▶王儀涵／廣瀬栄理子／鄭韶婧／王適嫻／サイナ・ネワル／汪鑫
ティーネ・バウン／ユリアン・シェンク／ポルンティップ・ブラナプラサットスク
佐藤冴香／ピ・ホンヤン
伝説の選手——LEGENDARY PLAYERS
▶李玲蔚／スシ・スサンティ／カミラ・マーチン／張寧

36 **ダブルス3種目**
疾風迅雷——HIGH SPEED RALLY

男子ダブルス
▶傅海峰&蔡贇／ボー&モゲンセン／平田典靖&橋本博且／鄭在成&李龍大／
クー&タン／アーサン&セブタノ／佐藤翔治&川前直樹／早川賢一&遠藤大由
伝説の選手——LEGENDARY PLAYERS
▶T・キールストロム&カールソン／朴柱奉&金文東／リッキー&レキシー

40 **女子ダブルス**
▶於洋&王暁理／簡毓瑾&程文欣／河貞恩&金旼貞／藤井瑞希&垣岩令佳
松尾静香&内藤真実／アルンケソーン&ウォラウイチツアイクル／ポリー&ジャウハリ
リター・ユール&ペダーセン
伝説の選手——LEGENDARY PLAYERS
▶ペリー&ウェブスター／葛菲&顧俊

42 **混合ダブルス**
▶張楠&趙蕾蕾／アーマド&ナッチル／プラバカモル&トゥントーンカム／陳宏麟&程文欣
伝説の選手——LEGENDARY PLAYERS
▶T・ルンド&デュポン／金東文&羅景民

45 ROAD TO LONDON
ロンドン五輪への道
▶出場資格獲得への
ランキングシステムについて

47 LIST OF COMPETITORS
出場予定選手

49 OFFICIALS
大会役員

50 LIST OF WINNERS
歴代優勝者

http://yonexopenjp.com/2011/

©ベースボール・マガジン社2011
本誌掲載の記事、写真の無断転載および
複写を禁じます





「U-Cloud®」で、勝ちにいく。

日本ユニシスのICTサービス「U-Cloud®」は、あらかじめ豊富なサービスメニューをご用意。お客様のビジネスに必要なサービスだけを選んでいただければ、最短5時間後にはご利用できます。あなたの経営改革に、「柔軟性」と「即効性」を。私たちはサービス・インテグレーターとして、ビジネスの様々な声にお応えしていきます。

U&U Users & Unisys 日本ユニシスグループ www.unisys.co.jp

UNISYS

MESSAGE

ご挨拶 ヨネックスオープンジャパン2011に寄せて



世界バドミントン連盟
会長
姜榮中
カン・ヨンジュン

東京へようこそ。

まずはじめに、日本バドミントン協会の皆様にヨネックスオープンジャパンの30回記念大会の開催を心よりお祝い申し上げます。これほどの成功はひとえに日本バドミントン協会とスポンサー、とりわけヨネックスの皆様との強い信頼関係によるものでしょう。

ヨネックスオープンジャパン2011はOSIM BWFワールドスーパーシリーズの第8節に位置づけられております。選手の皆様は、スーパーシリーズ中断後の大会ということもあり、東京体育館での試合を待ち望んでいることと思います。

先月ロンドンで行われました世界選手権の優勝者の皆様には、この場をお借りして心より祝福申し上げますとともに、素晴らしい大会にしてくださった出場選手、各国役員、大会運営委員会、およびボランティアの皆様に深く御礼申し上げたいと思います。

日本は世界選手権の参加国中で最も多く選手を派遣したチームのひとつですが、これも日本バドミントン協会の皆様のバドミントン競技への惜しみない努力と情熱の賜であります。世界バドミントン連盟（BWF）の加盟国である日本バドミントン協会は、我々BWFに常に協力していただいており、深く感謝しております。

また、今大会は2012年にロンドンで開催されるオリンピック・予選レースのひとつとなる大会であり、世界トップ選手がその栄光に向かって激戦を繰り広げることを期待します。

冠スポンサーであるヨネックスの皆様の長年にわたる揺るぎない協力に心より感謝を申し上げ、また今後も引き続き、多大なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、縁の下の力持ちである運営委員会、ボランティア、そして役員の皆様に深く感謝申し上げます。

最後に、選手の皆さまのご健闘をお祈りいたします。

Welcome to Tokyo!
First and foremost, allow me to congratulate Nippon Badminton Association on the occasion of celebrating the 30th anniversary of the YONEX OPEN JAPAN.
Such a success story underlines the strong partnership and synergy that binds Nippon Badminton Association with all their sponsors and partners, especially YONEX.
The YONEX OPEN JAPAN 2011, part of the OSIM BWF World Superseries, is also the eighth leg of the circuit, and I am sure that the players are raring to go after a short break in the Superseries calendar.
I would also like to take this opportunity to congratulate all the winners and record my gratitude to all the players, officials, organising committee and volunteers who participated in the BWF World Championships in London last month.
Japan had one of the largest contingents at the BWF World Championships, and once again, this shows the tremendous amount of work put in by the association and the officials to raise the profile of the sport in Japan.
As an affiliate of the Badminton World Federation, Nippon Badminton Association has always been supportive of our programmes and the BWF is deeply appreciative of this support.
Once again, I expect a strong field of players competing for honours as this tournament falls within the qualification period for the 2012 London Olympic Games.
To the title sponsors, YONEX, I would like to express my heartfelt thanks for their unwavering support through the years and hope for their continued support in the future.
To the organisers, volunteers and officials, a big thank you as well as you are the unsung heroes of the tournament.
To the players, may the best man win!

DR. KANG Young Joong
President, Badminton World Federation



公益財団法人
日本バドミントン協会
会長
綿貫民輔

はじめに、このたびの東日本大震災により、被害を受けられた皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。被災された方々の一日も早い復興と皆様の健康を心よりお祈り申し上げます。

さて、ヨネックスオープンジャパン2011が東京において開催できますことは、本会関係者全員の大きな喜びとするところであります。昨年は近年の日本におけるバドミントン熱の高まりが反映され、開催以来、最高の観客数となり、成功裡に終了することができました。これも偏に世界バドミントン連盟（BWF）をはじめとした関係各位のご支援、ご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

そして、今大会は第30回の記念大会を迎えることとなりました。また、BWFワールドスーパーシリーズとなってから早くも5年目を迎え、より大会がグレードアップされたことで、世界各地よりトップランクの選手が集結いたします。特に今年は2012年に行われるロンドンオリンピックを控え、出場資格獲得に向けて重要な大会となり、ここに集結する世界のトッププレーヤーのさらなる熱戦が期待されます。選手の皆様には、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、さらなる友好を深め、スポーツマン精神と情熱の限りを尽くしプレーされることを望みます。

また、本会といたしましては、このような国際大会を通じて競技力向上をはかり、目標でありますオリンピックでのメダル獲得を実現すべく、努力していく所存であります。

終わりに、本大会開催にあたりまして多大なるご支援、ご尽力をいただきましたBWF、東京都の関係各位、協力企業関係各位に心から感謝申し上げましてご挨拶といたします。

Firstly, on behalf of the Nippon Badminton Association, I would like to extend our deepest sympathy to everyone affected by the damage caused by the recent Great East Japan Earthquake. I would like to extend my sincere wishes for a speedy and full recovery to all whose health and property had been affected by the unfortunate event.
It is the greatest pleasure for us to be able to hold the YONEX OPEN JAPAN 2011 with a number of excellent players from many countries all over the world.
Last year, the event was completed very successfully because the wave of the heat for Badminton in recent years continuously flowing in, and we had most numbers of audiences ever since we started holding the event. This would not be accomplished without cooperation of BWF (Badminton World Federation) and the persons involved, and I deeply appreciate them very much.
This year's event marks the 30th anniversary. Moreover, this is the 5th year for the event that has been upgraded to BWF World Super Series, and the most of the well-known top rankers from all over the world will gather to compete.
Especially, our event is included as one of the crucial qualifying tournaments for upcoming Olympic Games 2012 to be held in London next year. Therefore, we expect the much more enthusiastic games by the top rankers to be performed here. And to the players, I expect all of you to perform your best with sportsmanship and passion, and deepen the global friendships among you. You also impress the badminton fans with a dream and hope, and this would contribute to the successful completion of the tournament.
Furthermore, we, as Nippon Badminton Association, are very determined to make best efforts to level up our ability through holding the international badminton events in Japan, and also for to obtain medals, our earnest desire, at next Olympic Games.
Finally, I would like to express my sincere appreciation for BWF, members of Tokyo Metropolitan Badminton Association, the supporting companies who have devoted themselves to make this tournament a success.

WATANUKI Tamisuke
President, Nippon Badminton Association (NBA)



東京都知事
石原慎太郎

このたび、「第30回 ヨネックスオープンジャパン2011 OSIM BWFワールドスーパーシリーズ」が、海外及び国内各地から選手並びに役員の皆様をお迎えして、首都東京において盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。あわせて、お集まりの皆様を都民を代表して心から歓迎いたします。

現在我が国は、東日本大震災により未曾有の被害が広範囲に及び、まさに国難と呼ぶべき事態の中にあります。このような時にこそ、日本の国家としての力、国民の総力が求められます。

スポーツには、観る人に感動を与え、元気や勇気を伝える力があります。参加される皆様には、日頃の練習の成果を思う存分発揮し、大会に真摯に臨むことで被災地を勇気づけて頂きたいと思います。

さて、東京都は、平成25年に「スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会及び第13回全国障害者スポーツ大会）」を開催いたします。都民一人一人の力を結集し、本大会を成功させるとともに、2020年のオリンピック・パラリンピック招致により、日本復興の活力に変えていけるよう全力で取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、本大会の開催に御尽力された関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、本大会のご成功を祈念して挨拶といたします。

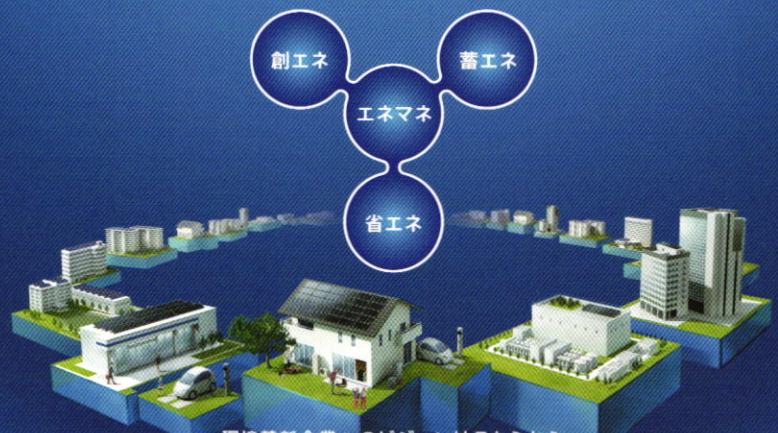
It is my great pleasure to have this grand event, the YONEX OPEN JAPAN 2011 BWF Super Series, held in Tokyo. On behalf of the citizens of Tokyo, I would like to extend a hearty welcome to all of you who have gathered here from Japan and around the world.
The unprecedented damage caused by the Great East Japan Earthquake has plunged our country into a situation that can surely be called a national crisis. It is in times like these that we must mobilize the power of Japan as a nation as well as the concerted efforts of the people. As sports have the power of providing the spectators with inspiration, energy, and courage, I ask all the athletes participating in the competition to give encouragement to the people of the afflicted regions by doing your best and putting to use all the skills you have acquired through arduous practice to date. To help spur on the recovery efforts the Tokyo Metropolitan Government will also strive in its bid for the Games of the XXXII Olympiad in 2020.
Tokyo is now advancing a number of measures with the aim of becoming a "city of sports" where everyone can enjoy sports and live healthy lives; these include the 68th National Sports Festival and 13th National Sports Games for the Challenged, which we will host in 2013. Your continued understanding and support of our efforts to promote sports shall be greatly appreciated.
In closing, may I express my most sincere appreciation to everyone who has dedicated their efforts to making this event possible and extend my very best wishes for the tournament's success.

ISHIHARA Shintaro
Governor of Tokyo

エコをつなぐ。
笑顔をつなぐ。
未来へつなぐ。

この星が、ずっと美しくありつづけるために。
パナソニックは「創エネ」「蓄エネ」「省エネ」「エネルギーマネジメント」の
総合力で実現する「エナジーソリューション」をひろげていきます。
それは、家をはじめとして「街まるごと」で、くらしとエネルギーをつなぎ、CO_2を削減するエコ。
さらに、資源の有効活用や、リサイクルの徹底など、
つくるときから、つかうときまで、モノづくりのすべての過程で、エコを進化させていきます。

「環境革新企業」をめざして。パナソニックは次の一歩を踏み出します。



環境革新企業へのビジョンはこちらから
panasonic.co.jp/green_innovation

Panasonic
ideas for life

eco ideas

詳しくは パナソニック株式会社 ホームページで　panasonic.co.jp

MESSAGE

ご挨拶 ヨネックスオープンジャパン2011に寄せて



東京都バドミントン協会
会長
浅岡 武

去る3月11日の東日本大震災により被災されました皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ヨネックスオープンジャパンの第1回大会が1982年に神戸市で開催されてから、今大会が30回目の節目であり、その記念大会を今年も東京体育館で盛大に開催されますことは大変喜ばしいことであります。

また、本大会に参加されます選手・役員、皆様方のご来日を心より歓迎いたします。

日本のバドミントン界も2002年より始まった「一貫指導システム」における強化が実を結び始めており、昨年と今年、全英選手権において男子・女子シングルスと女子ダブルスで準優勝、その他の海外オープン大会においても日本代表選手が好成績をあげるなど、過去に例を見ない程の活躍を果たしています。

2012年7月に開催されるロンドンオリンピックへの出場権をかけ、本大会は例年以上の熱戦になることでしょう。皆様の応援で世界レベルの本大会を力いっぱい盛り上げて頂きたい所存です。本年も多くの選手がエントリーしておりますので、このような白熱する大会を皆様と共に観戦することができますことは大変喜ばしく思います。

日本のバドミントン競技の普及・強化はさらに大きく躍動することを確信しております。本大会の役員・選手の皆様にはバドミントンを通じて国際親善とさらなる交流の輪を広げていただき、また、選手の皆さんには日頃の練習の成果を十分に発揮して熱戦を展開されることを期待しております。

終わりに、本大会開催にあたりご尽力いただいた関係各位に対して心より感謝を申し上げ歓迎の挨拶といたします。

It is the greatest pleasure for us to be able to hold the 30th YONEX OPEN JAPAN, the 5th event as BWF Super Series, in Tokyo Metropolitan Gymnasium. I would also like to welcome all players and officials to Tokyo from all over the world.

Firstly, I would like to extend my deepest sympathy to everyone affected by the recent Great East Japan Earthquake. And, I would like to extend my sincere wishes for a speedy and full recovery to all.

It has been 30 years since we first launched this event in Kobe City, and now we are celebrating the 30th anniversary this year. Starting in 2002, the Badminton coherent training system is now bearing fruit. As we can see the results from the recent tournaments, Japanese National players made the best results ever in our history, such as runner-ups in All England 2010 in Men's Singles, and 2011 in Women's Singles and Women's Doubles. Thus, I believe that Yonex Open Japan will be heated up ever as all the top rankers, including Japanese players, here will go for the qualifiers in London Olympic Games in July 2012. I expect you all the badminton fans to make the event by coming to watch the event and cheering the players.

This year as well we have many entries, and I appreciate very much for this opportunity to witness this exciting event with you. I have no doubt about the promotion of our sport, and this event brings more power to such a movement.

I wish all the participants make the friendship and expand the wave of exchange through this event. To the players, I wish your training paid off here and show us the best performance ever.

Finally, I would like to express my sincere appreciation to all the involved people who have devoted themselves to hold this tournament.

ASAOKA Takeshi
President
Tokyo Badminton Association

浅岡 武



ヨネックス株式会社
代表取締役社長
米山 勉

最初に、東日本大震災におきまして、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。今大会は被災地からお客様をお招きし、世界トップ選手のプレーを存分に楽しんで頂こうと思っております。

本大会は、今年で30回を数える記念大会です。これまでに多くの名プレーヤーや数々の名勝負を生み出し、このような歴史ある大会に成長できました事を、関係各位の皆様方に感謝を申し上げます。ここ近年、バドミントンもメジャーになり日本選手のスーパーシリーズ優勝や、全英選手権での活躍が大きな話題となっており、今大会におきましても大いに活躍する事は間違いないでしょう。

バドミントン競技は、これまでアジアを中心とした国々で盛んに行われているといわれてきました。近年アジア国以外でも盛んになってきており、世界の実力レベルも向上しております。本大会は、これら世界の国々のトップ選手が集結し、鍛錬した技術を競い合う大会です。出場選手におきましては、2012年開催のロンドンオリンピックの出場権を得るための大事な一戦ともなるため、例年以上の熱戦、熾烈なトップ争いを繰り広げてくれることでしょう。出場選手全員のプレーが、我々を大いに魅了し、ひいてはバドミントン競技をさらに発展させてくれることを期待しております。

弊社は、今大会をはじめ世界の大会の協賛を行うなど、バドミントン競技をサポートする活動を続け、また日本発のヨネックスブランドを世界の皆様に愛されるグローバルブランドに育成するべく邁進することで、バドミントンの魅力、素晴らしさを全世界にお伝えし、微力ながらも競技の普及発展に貢献して参りたいと存じます。

最後に大会開催に際し、ご尽力を賜りました世界バドミントン連盟、日本バドミントン協会、東京都バドミントン協会ならびに関係各位をはじめ、ご協賛の各社に心から敬意を表し、大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念致し、ごあいさつとさせていただきます。

Firstly, we would like to express our heartfelt sympathy to the victims of the March 11th earthquake that devastated the Tohoku region of Japan. At the YONEX OPEN JAPAN 2011, we would like to invite the spectators from those devastated areas to enjoy top level badminton from the Worlds best players.

This is the 30th running of this historical tournament and we appreciate the great player's that have competed and provided us with numerous memorable matches. In recent years, badminton has become a major sport, and with Superseries titles and successes at the YONEX All England Open, Japanese players have become a force in world badminton again. At this memorial championship, we hope to cheer even more success from the Japanese stars.

It has been reported that badminton was a sport mainly played in Asian countries, however, nowadays, badminton is more popular than ever in other countries and the level of play is improving all over the world. At this tournament, top players from countries all around the globe come and compete with their finely tuned games. This year will be no exception as the players strive to qualify for the London Olympics in 2012. I am sure this will make for some very exciting matches and will only be beneficial to the game of badminton.

We shall continue to support and grow the sport of badminton by sponsoring many of the leading tournaments around the world including the YONEX OPEN JAPAN. Through this activity we shall continue to promote YONEX throughout the world to the growing number of passionate fans.

Finally, I should like to express my sincere appreciation to the Badminton World Federation, the Nippon Badminton Association, the Tokyo Metropolitan Badminton Association and all the people who have worked very hard to stage this great tournament. I wish all the players every success and I hope that they all perform to the best of their abilities.

YONEYAMA Ben
President, Yonex Co., Ltd,

B. Yoneyama



OSIMインターナショナル
創立者、会長、
最高経営責任者
ロン・シム

私たちOSIMインターナショナルは、世界バドミントン連盟（BWF）とともにOSIM BWFワールドスーパーシリーズのひとつであるヨネックスオープンジャパンを皆様にお届けできることを大変うれしく思います。

ヨネックスオープンジャパンは12大会あるOSIM BWFワールドスーパーシリーズの一大会であり、有名選手が出場を切望する大会のひとつです。その中でも日本はトップ選手を輩出している国ですので、とくに佐々木翔、末綱聡子／前田美順組には世界トップ選手とスピード、敏捷性、正確性を競い合う姿を見せていただきたいと思います。また、そのような素晴らしいプレーを観戦できるファンの皆様にとっては貴重な体験でしょう。

アジアを代表するヘルシーライフスタイルブランドとして、OSIMは人生に前向きな姿勢を提案することで皆様に幸福と健康的なライフスタイルを提供できるように日々努力しております。スポーツスポンサーシップによってこのようなメッセージを皆様にお届けすることが可能になりました。そのため、OSIMは長年にわたり皆様に支持されており、また、北京、香港、シンガポールでトライアスロンなどのスポーツイベントを後援し、現在ではグローバルなバドミントンの普及の役割を担うことを光栄に思っています。

OSIMには「最善を尽くすため、チャレンジ精神を忘れるな」という哲学を掲げており、これはスポーツ、ビジネス、また人生にも同様に生かすことができます。OSIM BWFワールドスーパーシリーズのスポンサーとして、栄光に到達するために戦う世界トップ選手のように自分自身を磨いていけるよう願います。また、この大会が若い世代の選手たちがスポーツのみではなく、人生においても充実できるように、よい刺激になることを望みます。もちろん、今週、観戦される皆様の中から未来のトッププレーヤーが必ず現れることでしょう。

私はOSIM BWFワールドスーパーシリーズがより一層レベルアップすることを確信しております。また運営委員、選手そして観客の皆様が楽しんでいただける大会になることを望んでおります。

We at OSIM International are pleased and privileged to join hands with the Badminton World Federation in bringing you the YONEX OPEN JAPAN, part of the OSIM BWF World Superseries.

The YONEX OPEN JAPAN is one of the 12 tournaments in the OSIM BWF World Superseries, attracting some of the best names in the sport. Japan has produced some of the world's up and coming players so look forward to witness Japan's Sho Sasaki, Miyuki Maeda and Satoko Suetsuna battle it out with other top players in the sport with speed, agility and precision. With the stellar badminton action, fans all over the world are in for a real treat!

As the leading healthy lifestyle brand in Asia, OSIM seeks to inspire well-being, bringing a healthy lifestyle to people, by promoting a positive attitude to life. Sports sponsorship is aligned with these values and helps to communicate this message to the public. Hence, OSIM has for many years supported and sponsored sports events like triathlons in Beijing, Hong Kong and Singapore and now, we are honored to be able to play a part in supporting the development of badminton globally.

OSIM has a philosophy of 'Challenging Your Spirit to Do Your Best' and this philosophy applies equally to sports, business, and life in general. By sponsoring the OSIM BWF World Superseries, we hope to encourage and inspire the public to hone their own skills as they see the world's top shuttlers battle for supremacy. Also, we hope this series will motivate a new generation of players to not only excel in the sport, but in life as well. Surely, there is a future world player being inspired amongst the audience throughout the tournament this week!

I am confident that the OSIM BWF World Super Series will take the sport to a higher plane, and wish the organisers, players and audience a successful and enjoyable tournament.

Thank You.

RON Sim
Founder, Chairman and CEO OSIM International Limited

すこやかな毎日をお届けする最先端の性能

uDivine Sport – スペシャルエディション
世界初のヒューマン 3D マッサージチェア

uDivine Sport スペシャルエディションは、最先端のマッサージテクノロジーと最高の贅沢の追求から生まれたマッサージチェアです。よいものを知り尽くした方に、最上級の心地よさとすこやかな生活をお届けします。

Andy Lau
インターナショナル
アーティスト

OSIM
Inspiring well-being





世界初の
ヒューマン 3D マッサージ

こちらもご利用ください

インテリジェントマッサージシステム、OSIM ヒューマン 3D マッサージは、人体の輪郭をベースに正確かつ効果的に作用し、まるで人間の手でマッサージを受けているような快感を与えながら、全身をマッサージします。

OSIM だけの品質、安全性、性能をご体験ください

詳しい情報をご希望の方は、当社のカスタマーサービスホットライン（電話 (シンガポール)：(65) 6741 1538）までお問い合わせください。

OSIM グローバルネットワーク

シンガポール • 中国・香港 • マレーシア • 台湾 • オーストラリア • バーレーン • ブルネイ • カンボジア • カナダ • インド • インドネシア • イラン • イタリア • クウェート • マカオ • ミャンマー • ニュージーランド • オマーン • パキスタン • フィリピン • カタール • ルーマニア • サウジアラビア • 大韓民国 • タイ • アラブ首長国連邦 • 英国 • アメリカ合衆国 • ベトナム

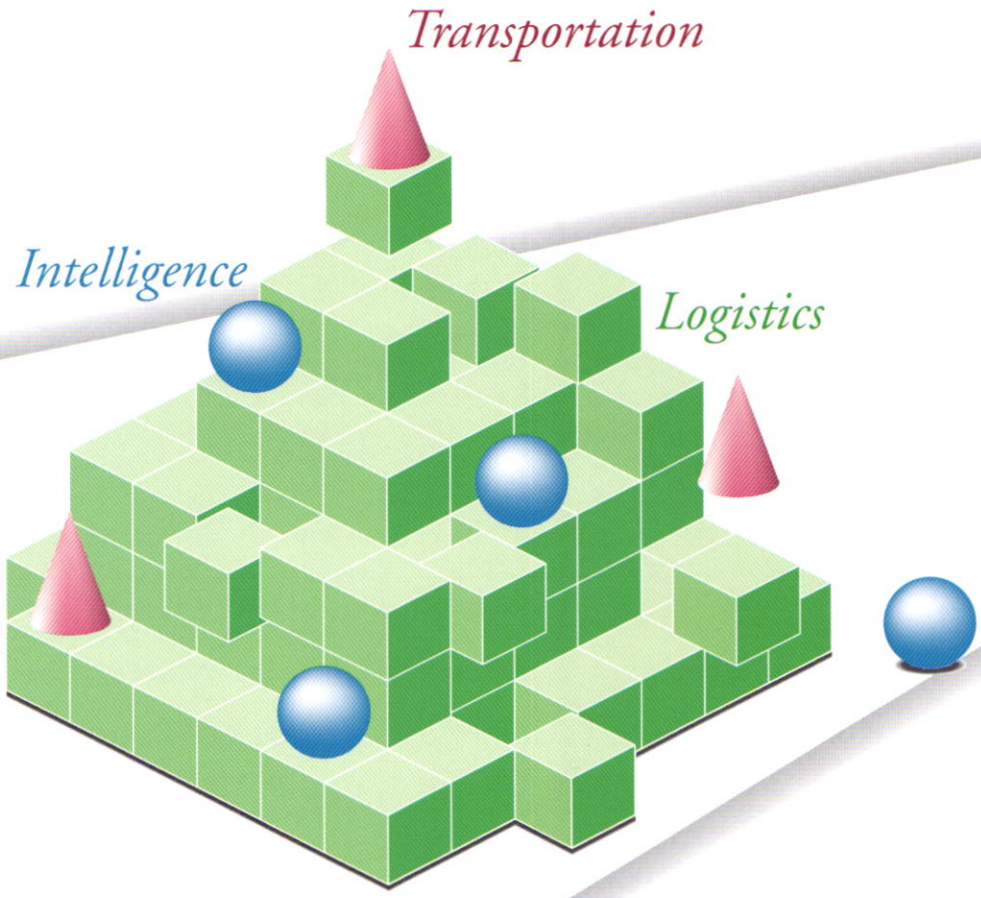
www.OSIM.com

いま、情報と物が 一つになる。

物流アウトソーシング時代へ

時代のニーズを先取りし、
トナミが業界に先駆けて取り組んできた「3PL（サードパーティロジスティクス）」。
最先端の物流・情報システムを活用して、
需要予測から輸送、保管、流通加工、生産管理まで、
お客様の業務内容に合わせたシステムを構築します。

「物流を越えてその先の次元へ」



届けたいのは、その先のバリュー

TONAMI

トナミ運輸株式会社

お問い合わせは下記フリーダイヤルへ

0120-61-1073

より詳しい内容をホームページよりご覧ください。 **トナミ運輸ホームページ** トナミ運輸 検索 **http://www.tonami.co.jp**

［特別寄稿］

大きな潮流から生まれたヨネックスオープンジャパン

～30回記念大会に寄せて

文・宮永武司（元世界バドミントン連盟理事・元日本バドミントン協会理事）

大きな歴史が誕生する前には、必ずそれを生み出すだけの大きな潮流がある。齢71年を迎えた私は、そう確信している。日本のバドミントン史を語るのに欠かせないヨネックスオープンジャパンも然り。ここでは30回記念大会に際し、誕生にまつわる昔話をしていきたい。

1972年がバドミントン国際化元年

バドミントンが初めてオリンピックの舞台で行われたのがいつ頃か、ご存じだろうか。1992年のバルセロナ五輪と答えるファンも多いと思われるが、実際はその20年前、72年のミュンヘン五輪がバドミントン最初のオリンピックと断定してよい。この時は正式競技としての採用が決まっていたモントリオール五輪（76年）のための公開競技で、勝敗が大きく取り上げられることはなかったが、この大会に女子シングルスで出場した日本のエース・高木紀子が優勝する慶事があった。

60年から70代年にかけて、日本は世界の中でも強豪国として恐れられており、特に女子は多くの世界女王が誕生している。69年には、当時の世界№1を決める全英オープンで湯木博恵が女子シングルスの頂点に輝き、その後も竹中悦子、高木紀子が優勝杯を手にしている。また、団体戦においても66年に初参加した女子国別対抗戦・ユーバー杯で日本が初制覇を飾ると、72年まで3連覇の偉業を果たす（当時は3年に1回の開催）。さらには、日本全盛期ともいえる72年の全英オープン・女子ダブルスで相沢マチ子／竹中悦子が優勝。帰国後、容姿に恵まれた2人は国民的アイドルとして日本のテレビや新聞などで報道され、一躍時の人としてスポットライトを浴びることとなった。

強い日本、そしてスターの存在――。それまではあまり注目されることのなかったバドミントンが世間から認められ、モントリオール五輪でのメダルという期待が高まっていった。それと同時に、日本バドミントン界もオリンピックという最高峰の舞台でのメダル獲得に照準を定め、選手とスタッフが一丸となって歩き出そうとしていた。

オリンピックでのメダル獲得へ。その強い決意の表れとなったのが、72年にデンマーク女子チームを招待して開催した国際女子バドミントン競技大会だ。そこには国際大会を通じ、日本選手が成長してほしいという強い願いが込められていた。

しかし、残念なことにオリンピックという選手の夢舞台は幻となって消えた。というのも、当時、世界のバドミントン連盟は2つの組織に分かれており、その内部事情が問題視され、最終的にモントリオール五輪での正式競技入りは認められなかったのだ。大きな目標を失い、選手たちにとっては辛い結果となってしまったが、それでも日本の強化は継続されることになり、72年以降も国際招待大会は毎年開かれるようになっていた。そして、この招待大会は国際バドミントン連盟（ＩＢＦ）から日本初のオープン大会として公認される。初開催から7年後の79年のことだ。強化の一環で始まった招待試合は、各国の男女強豪選手が出場する「ワールドカップ」に大会名を改称し行われることになった。

ワールドカップは第1回が東京・代々木第二体育館で開催され、第2回は京都、第3回は東京で熱戦が繰り広げられた。出場選手も華々しく、世界を制していたスター選手が集結。インドネシアのリム・スイキン、ルディ・ハルトノ、クリスチャン・ハディナタ、デンマークのリーン・コペンなど、名前を聞くと懐かしむオールドファンも多いことだろう。ちなみにこの大会では現在の日本男子シングルスのエース、田児賢一選手の母・米倉よし子さんが、徳田敦子さんと組んだ女子ダブルスで第2・3回大会を制している。また、ワールドカップが開催された79年から81年の3年間は、日本国内でも変革期を迎えており、ウエアーのカラー化や応援の自由化を許した日本リーグがスタート。日本で唯一の専門誌、月



YOJは海外選手から人気の高い大会のひとつ。運営や選手のサポート面での評価が高い



第24回大会まで主に代々木第二体育館で開催。決勝戦当日は開門前から行列ができていた

刊バドミントン・マガジン（ベースボール・マガジン社刊）も創刊されている。日本全体にバドミントンを盛り上げていこうという気運が溢れていた証拠である。

そうした大きな潮流のなかで誕生したのが、このヨネックスオープンジャパンである。82年、ワールドカップは日本で初めての賞金付きの国際大会『ヨネックスカップ』として、第1回大会を開催



（第17回以降はヨネックスオープンジャパン）。各国でバドミントンがオープン化されるなか、「アジアの全英選手権と呼ばれたい」という運営者たちの情熱のもと、世界の超一流が集うビッグトーナメントが開幕したのだった。

多くのスターを生み出したYOJ

記念すべき第1回大会の舞台は、兵庫県神戸市。ワールドカップに引き続き、冠スポンサーにはヨネックス株式会社が名乗りをあげている。当時の賞金総額は約1000万円で、各国でオープン大会が開催されるなかその賞金総額はマスターズ大会（約1200万円）に次ぐ2番目に高い大会だった。ちなみに余談ではあるが、このときの女子シングルス覇者の李玲蔚（リー リンウェイ）、女子・混合ダブルス優勝のノラ・ペリーは現在、世界バドミントン連盟の理事として活躍している。

なお第1回大会の日本勢はというと、男子シングルスの長谷川博幸が3位、女子シングルスは東海林文子が決勝に進むも完敗。もっとも優勝が期待された徳田／米倉は、準決勝でインドネシアに敗れワールドカップからの3連覇はならず。開催国ながら無冠という悔しい結果に終わっている。

数多くの名選手が、日本の地で世界レベルのプレーを披露していった。ここで第29回大会までの戦績を種目別に振り返ってみると、男子シングルスは国別で中国が10回、インドネシアが7回、デンマークが4回、マレーシアが3回優勝を果たしている。女子シングルスは中国の独壇場でなんと22回制覇。女子ダブルスも同じく中国が16回の優勝を誇っている。男子ダブルスこそバドミントン王国であるインドネシアが12回と意地を見せ、現在日本ナショナルチームの朴柱奉ヘッドコーチらが活躍した韓国も6回の優勝。混合ダブルスでも韓国選手が8回制覇している。

日本は、これまで表彰台の一番高い場所に立ったことはなく、東海林（82年）、陣内貴美子／森久子（90年）、末綱聡子／前田美順（09年）の準優勝が最高となる。特に90年代になると世界の壁はより一層厚くなり、準々決勝を乗り越えるのも困難となっていた。日本選手の成長を願ってスタートしただけに、歴代の日本選手が優勝を成し遂げられなかったことは残念だが、近年、世界トップとの差が徐々に縮まっているのも確かである。00年以降は森かおり、舛田圭太、田児賢一がシングルスで、小椋久美子／潮田玲子、坂本修一／池田信太郎、舛田／大東忠司がダブルスで3位に入っており、これからの日本選手が表彰台の一番上に立つ日もそう遠くではないはずだ。

いま、日本ではかつて世界一だった頃に負けないくらい、バドミントンの認知度が上がっている。79年にワールドカップをスタートさせたとき、ヨネックスの米山稔社長と、「いつか現在の小さい会場ではなく、大きい東京体育館で開けるくらい大会を育てられたら」と話したことを覚えている。奇しくも07年よりヨネックスオープンジャパンの会場は、念願だった東京体育館に移った。1日の入場者数がYOJ史上最大の5500人に達し、バドミントン人気はここまで復活したのだ、と感慨深く思ったものだ。

最後に、30回という長きにわたって開催されたヨネックスオープンジャパンが、今後も日本で最も権威のある国際大会としてファンを魅了してくれることに期待したい。そしていつの日か、ヨネックスオープンジャパンで優勝した日本選手がオリンピックの表彰台に立ち、輝かしいメダルを掲げる姿が見られることを願って止まない。

特別対談

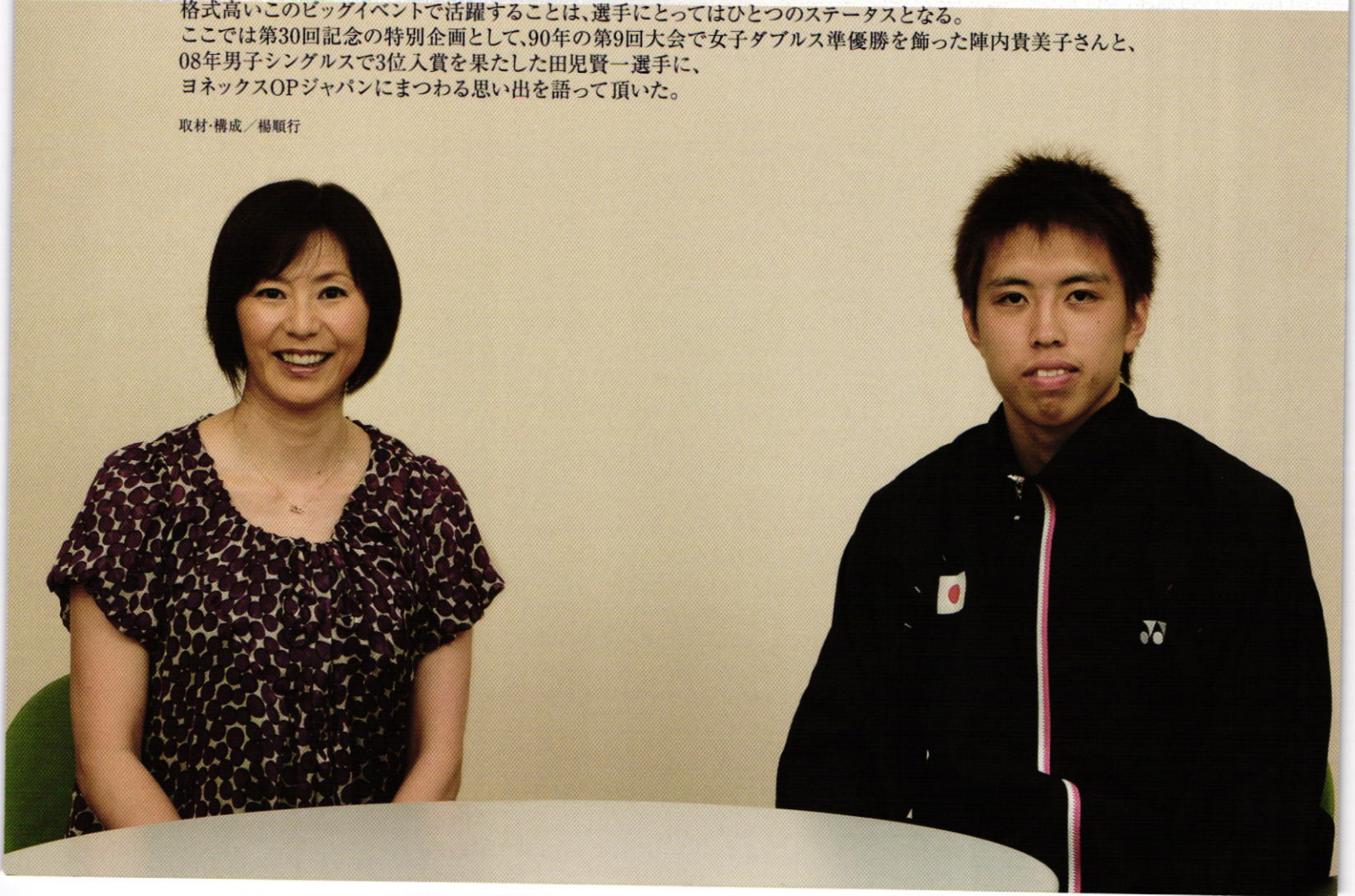
SPECIAL TALK

陣内貴美子×田児賢一

「ヨネックスOPジャパンを大きな転機に」

伝統のヨネックスOPジャパンは、日本選手なら誰もが憧れる国際大会だ。
格式高いこのビッグイベントで活躍することは、選手にとってはひとつのステータスとなる。
ここでは第30回記念の特別企画として、90年の第9回大会で女子ダブルス準優勝を飾った陣内貴美子さんと、
08年男子シングルスで3位入賞を果たした田児賢一選手に、
ヨネックスOPジャパンにまつわる思い出を語って頂いた。

取材・構成／楊順行



エースが感じるYOJの重圧

――今年YOJは、30回という記念すべき節目を迎えます。田児さんはつねづね、「一番優勝したい大会」とおっしゃいますよね。それだけ、特別な思い入れがある。

田児　世界一流のプレーを初めて目の前で見たのがこの大会ですから。小学生のときですね、いつも体育館で練習を見ている町田さん（文彦・現NTT東日本監督）らが、世界のトップ選手と戦っていたのが印象深いです。ほかに記憶にあるのは、ハリアント・アルビ（93、95年優勝）。スマッシュが強烈でした。子どもですから、そういう派手なところに目がいくじゃないですか。だけどそのアルビが苦しんだ試合があって。幼心に「スマッシュが速いだけじゃ勝てないんだな」と気がつきましたね。

自分が初めて出たのは、高校2年のとき。子どもの頃から出たかった大会ですから、なにか夢見心地でした。本選は1回勝ったんですが、2回戦で佐々木さん（翔・トナミ運輸）に負けて。そこから前回まで5回出ています。

陣内　08年に3位になっているでしょう。

田児　あの年までは、「失うものはなにもない」という精神状態だったんです。高校を出て1年目、無我夢中で。それが翌年あたりから、「勝たなくては」という重圧がついてくるようになって……。そのあたりが一番変わりましたね。

陣内　そうか、08年の総合で優勝したからね。全日本チャンピオンとして臨むと、心理状態も変わってくる……。

田児　それもありますし、たとえばインドネシアやマレーシアで活躍しても、それは日本までは伝わりにくいですよね。だけどYOJは、日本のファンが足を運んでくれて、直接見て、活躍すれば認めてもらえる。半面、前の年に3位になっているから、さらに上を期待されているという重圧もありました。

陣内　私もあった。先輩たちがどんどん引退し、自分がナショナルチームのキャプテンという立場になったとき、すごく「重いな」と感じました。引退した先輩たちは、日本がバドミントン強国だった時代から活躍していた人たち。その人たちが抜けて、「弱くなったな」といわれたくなかったんですね。そういう重圧はありました。だから90年のYOJで準優勝してホッとしましたね。

あと最近は、お客さんの数が、私たちのころと比べものになりません。以前は、代々木第二体育館がいっぱいになるだけで「ウワーッ」と思っていたから、会場が収容人数の多い東京体育館になったとき、実はちょっと不安もあったんです。空席が目立つんじゃないか……。だけど、

いらない心配でした。いまはバドミントンの認知度も高まり、広い東京体育館の観客席も埋まります。平日でも目の肥えたお客さんがきてくれる。そういう人たちは、「世界を相手に、どれだけやってくれるか」という期待を、田児くんに託しているわけですよ、ヒーロー感覚で。それはプレッシャーを感じるでしょうね。しかも観客の目はほとんど、田児くんのコートに集中しますし。

田児　そうですね。格式でいえば全英も格別なものがありますが、10年に決勝に出たとき、海外の方たちは誰も僕のことを知らなかったでしょう。「この日本のボーイは、いったい何者だ？　どの程度やってくれるんだ?」くらいの感じだったと思います。だけどYOJでは、ほとんどの方が僕を知ってくれていますからね。

――YOJに関しては陣内さんも、90年の2位のほか92年には3位（いずれもパートナーは森久子）、ほかにも単複ともにベスト8の常連でした。しかも！　なんと、82年の第1回大会から出場しているんですね。82年といえば、東北・上越新幹線が開業した年。田児さんはむろん、生まれていません。

陣内　最初はYOJの前身である81年のワールドカップに出たんですよ、高校2年生で。それが、当時の世界チャンピオンだったベラワティという選手に、なぜかシングルスで勝っちゃったんです。まあ相手も、16歳の小娘相手に油断していたんでしょうけど。そしたら、徳田さん（敦子）が「ようやった!」と喜んでくれてね。まだシングルスで勝ち残っていた徳田さんにとって、優勝争いの強敵が消えたわけですから。私はシングルスでベスト8止まりでしたが、結局徳田さんはシングルスで準優勝し、田児くんのお母さん（米倉よし子）と組んだダブルスでは優勝を飾っています。

そのころの徳田／米倉といったら、私たちにはあこがれの存在ですよ。ユーバー杯や全英OPなど、世界のトップで堂々と戦っている。だから私がナショナルチームに入ったころ、ラケットや水を運ぶお手伝いをさせてもらうだけでワクワクしたものです。翌年からは世界の一流どころが集うヨネックスカップとなり、しばらくは1月に開催されていました。選手にとっては、気持ちを新たにここから1年をスタートし、またその年を占うという意味でも、意義深い大会でした。

海外選手の評判もよかったですね。運営では、たとえばシャトルバスの増発など、できるだけ選手の要望を聞いてくれるし、各国チームにはそれぞれ担当者が随行します。何年間かは予選を群馬県の桐生市で開催したことがありました。選手の宿舎は温泉で、浴衣を着る日本情緒に、海外選手はずいぶん喜んでいたものです。運営の細やかさはYOJのいい伝統で、いまの選手たちも、ストレスなく試合に集中していると思います。

ところで田児くん、だいぶ締まったんじゃない?

田児　練習の質、量ともに上がっていると思います。その日のメニューを細かく決めるほうじゃないんですが、ナショナルチームの合宿でも全体練習以上にやっていますし、ランニングとノックの量は確実に増えていますね。毎日追い込んで追い込んで、死んでいますよ（笑）。それで体重が落ちたんじゃないですか。

陣内　それは、ここのところ思うような結果が出せていないから？　去年全英で準優勝したことで、全員が田児くんをマークし、研究しているせいもあると思うけど。世界のトップレベルでは、1回たまたまいい結果が出せても、なかなか次を許してくれないでしょう。「一度は負けたけど、次はそうはいかないよ」とばかりに、全力でつぶしにくる。そうしないと、自分の座が危うくなるからね。でも、そこを乗り越えないとひとつ上の段階には行けない……。

田児　研究されるのはしかたがないと思うんですよ。だけど、その裏をかくように自分のスタイルを変えてしまうと、目先の1点、目先の1ゲームはいいかもしれないけれど、次のゲームでそれが通じるとは限らない。僕が試合中にトリッキーなプレーをすると、「もっと安全にスマッシュ&ネットで行けばいいのに」という声も聞きます。もちろん、スマッシュもネットもさらに完成度を高めないといけないんですが、それで林丹（中国）や（リー・）チョンウェイ（マレーシア）とやり合っても、太刀打ちできないと思うんです。それよりも、自分のスタイルで勝つことが本質だと思うんですね。研究されれば、それを上回るようなプレーができればいいわけで。

ただ、現状では結果が出ていない……そのあたりがジレンマなんです。自分で自分に「勝たなきゃいけない」というプレッシャーをかけ、それに押しつぶされている。プレッシャーと向き合ってプレーし、なおかつ結果を出すことが目標ですから、いまはガマンの時期。やることはやっているし、あとはメンタルかな、と。

陣内　田児くんは器用ですからね。体操の選手が、新しい難度の高いオリジナルの技を披露したら、次の大会ではみんな

ヨネックスオープンジャパン年表 1982―2010

■1982年（第1回）
・第1回ヨネックスカップの名称で開幕。男子単はダブルスプレーヤーのT・キールストロム（スウェーデン）が優勝。「まさか優勝できるとは思わなかったので、ビックリしている」
・日本は男子単で長谷川博幸が3位、女子単の東海林文子が2位、女子複の徳田敦子／米倉よし子が3位入賞

■1983年（第2回）
・日本は女子複の徳田／米倉の3位が最高で、マスコミは「日本勢は惨敗!」と書き立てた

■1984年（第3回）
・男子単でM・フロスト（デンマーク）が初V
・女子複の徳田／米倉が3位入賞

■1985年（第4回）
・初めて開催地を二分し、群馬県桐生市（準々決勝まで）と東京都代々木（準決勝・決勝）で開催
・女子複で徳田／米倉が4年連続3位入賞

■1986年（第5回）
・北田スミ子／鴻原春美が女子複3位

■1987年（第6回）
・代々木第二体育館が使用できず、大阪府守口市で初開催。
・日本から女子単の北田、男子複の松野修二／松浦進二が3位。松野／松浦は男子として初のメダル

■1988年（第7回）
・日本は松野／松浦が2年連続3位
・「バルセロナの星」としてマスコミから注目を浴びた宮村愛子が女子単で初出場



■1989年（第8回）
・女子単の李玲蔚（中国）が女子最多V4達成

■1990年（第9回）
・M・フロストが6年ぶり、男子複の朴柱奉／金文秀（韓国）が5年ぶりの優勝
・陣内貴美子／森久子が日本選手として8年ぶりに決勝進出（準優勝）



■1991年（第10回）
・男子単でA・B・ウィラナタがインドネシア選手として初V
・混合複で朴柱奉／鄭明煕（韓国）が4連続で優勝
・全中Vの中山智香子／増茂孝枝が中学生では初めてYOJに出場

■1992年（第11回）
・女子単でインドネシアのS・スサンティが優勝。同種目での中国連続Vが「10」で途切れる
・混合複でルンド／デュポン（デンマーク）が優勝。同種目での韓国連続Vが「5」でストップ

■1993年（第12回）
・日本は女子複の宮村愛子／松田治子が3位入賞
・女子複の陣内／森がYOJ期間中に現役引退会見

■1994年（第13回）
・男女単、男子複の3種目でインドネシアが優勝を飾る

■1995年（第14回）
・東京駒沢体育館にて開催

■1996年（第15回）
・世界26カ国、約340名の選手が参戦。
・バルセロナ五輪後に引退した朴柱奉（韓国）が本大会から第一線に復帰。混合複で復活V

が自分のものにしてくるでしょう。同じように、林丹の打ち方、チョンウェイのフットワーク、やろうと思えば田児くんはできるんです。子どもの頃、お母さんが体育館に連れてくるでしょう。田児君は、私たちのプレーをずっと見ていて、自然にマネしているんですよ。ラケットが床につきそうになりながら、バックハンドでサービスを打っていたし、「ジャンプスマッシュは?」というと、見よう見まねですぐにできたんですから。田児くんに感じるのは、そういう、目から入る情報を処理し、分析する能力の高さが昔から際だっていましたよね。

――昔話に付け加えれば、よし子さんが体育館での練習に田児選手を連れてきて、陣内さんがときどきオムツを替えることがあったというのは、ウィキペディアにも掲載されています(笑)。

陣内 さらにいまの田児くんにはスキル、体力の裏づけがあるから、どんな選手のプレーでも、やろうと思えば模倣できるんです。ただ、タフィー(タウフィック・ヒダヤット、インドネシア)にあこがれてタフィーのようなプレーをしても、タフィーを越えることはできません。相手が嫌がる、オリジナルの田児スペシャルをつくりあげていかないと。オリジナルの必要性は、本人もよくわかっているでしょう?

田児 そうですね。タフィーはプレーだったり、コート内外の存在感も含め、一番憧かれる選手ではあります。ただ、対戦したときにタフィーのマネでエースは取れるかもしれませんが、試合には勝てませんよね。自分のスタイルを突き詰めていくなかで、田児スペシャルを見つけないと。それとなんというか、いま僕に必要なのは、なりふりかまわないがめつさかな、とも思う。高校のときには「いつかは世界の頂点に立ってやる」という思いでいました。身の程知らずかもしれないけれど、めざすのは自由でしたから。だけど立場が変わり、世界の力というものをハダで感じているいま、そこまで図々しくなれないんですよね。



存在感を示すために勝ちたい

陣内 いま、ほかの人のランキングは気になる? たとえば佐々木翔選手が9位と急上昇してきたけど、自分の調子があまりよくないときは、ライバルが気になるものじゃないかな。

田児 どうですかね。実は、いつまでが五輪レースなのかさえ、はっきりわかっていないんです。ですから人の順位というよりも、気にするのは1~8位かな。シードされるのはだれか、というところを見ます。佐々木さんに関しては、ずっとナショナルで一緒にいたり、全日本総合で戦ったりして、力がある人だということは十分知っていました。むしろ、ランキングが上がってくるのが遅かったくらいじゃないですか。

陣内 私のバルセロナのときは、五輪に出ることはもちろん、出るからには日本のエースとして行きたかったけど、そういうこだわりはない?

田児 僕はそこまでは意識しないですけど、「日本のだれを警戒するか」と問われたトップ選手が「TAGO」と答えるような存在でありたいですね。それをアピールする意味でも、YOJで勝ちたいんです。

陣内 今季、出場をスーパーシリーズに限定しているのは自分なりの哲学があるのかな。ひとつ下のグレードの大会なら、ポイントも獲得しやすいのに、と私なら思うんだけど。

田児 いや、オリンピックでメダルをとる力があれば、まずは確実にポイントを稼いでランキングを上げ、出場権を確実なものにしておくという手段もあるでしょうが、僕にはまだそこまでの力はない。その段階で、ポイントだけを狙いにいくというのは、オリンピックで勝つことではなく、出ることが目標になってしまうと思うんです。ランキング上位者が出場しないグランプリ・ゴールドで優勝しても、オリンピックでいざ上位と当たったときどうでしょうか。ですからいまは、1回戦で負けようが、スーパーシリーズという最高峰でプレーすることが、自分のレベルを上げてくれると信じています。自分の力を向上させることが優先で、結果としてロンドン五輪に出られなかったとしても、それはそれで受け入れるしかない。まだ次がありますから。

陣内 なるほどねぇ。柔道の田村亮子さん(現姓・谷)の言葉を思い出した。私にとってのオリンピックは見るものじゃなくて出るもの、といったら、ヤワラちゃん、「オリンピックは出るものじゃなくて勝つものです」(笑)。田児くんもそれに近いのかな。それにしても、すごくしっかりと考えているよね。あのよちよち歩きだった“ケン坊”が(笑)。

YOJ独特の雰囲気が好き

――さて、30回記念のYOJです。

陣内 プレ五輪イヤー、五輪レース真っ最中ということで、すごいメンバーが来るでしょうね。

田児 はい。男子シングルスなら林丹、チョンウェイ、ピーター(・ゲード、デンマーク)、タフィー、上位選手がのきなみ顔をそろえるでしょう。小さい頃は、一



「現役時代、もっとも最終日まで残りたい大会がYOJだった」

じんない・きみこ

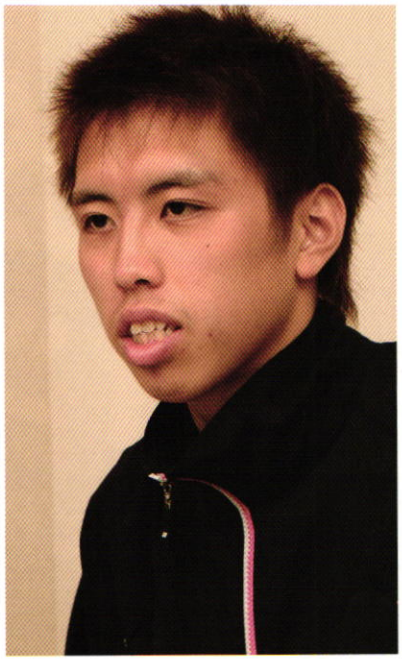
1964年3月12日生／熊本県出身　ヨネックス
16歳でナショナルチーム入りを果たし、それ以降は日本のエースとして単複で活躍。91年全英OP2位、92年バルセロナ五輪複出場など、長らく日本をけん引した。引退後は講習会などの普及活動のほか、キャスター、タレントとして活躍中。

番レベルの高いプレーを見られる国内唯一の大会がYOJでした。それはいまでもそうで、たとえば去年のチョンウェイと林丹の決勝などは、史上まれに見る名勝負でしたよね。僕が見に行っていたころは代々木第二でしたが、一歩足を踏み入れるだけで雰囲気が違いました。すごくワクワクしてくるというか……とにかく、僕のなかではスーパーシリーズというグレードに関係なく、あの雰囲気が好きなんです。ありきたりな表現ですが、僕にとって特別な大会ですね。この大会がなければいまの僕はないんじゃないですか。それほどの影響力がありました。

陣内　私も現役時代、もっとも最終日まで残りたい大会がYOJだったなぁ。日本で唯一のグレードの高い国際大会で、たくさんのファンの人たちが足を運んでくれる。そのファンの方たちに、最終日まで見てほしい……つまり決勝進出ということだけど、日本勢はまだ優勝がないのよね。最近では末綱聡子／前田美順組の2位(09年)が最高……。

田児　僕の夢として、「日本人として○人目」という表現を、ニュース価値のないものにしたいんです。僕が06年にアジアジュニアで優勝したとき、「日本人初」といわれたんですが、これが中国勢なら何人もいるわけで、ニュースとしてはあまりインパクトがないでしょう。それには、自分がアジアジュニアで優勝したことよりも、世界に対する意識が受け継がれていくことが大切だと思うんです。僕を見ていて下の世代が「日本だってできる!」と思ってくれれば。現に桃田(賢斗・富岡高2年)が、7月のアジアユースで3位になったじゃないですか。それがまた、下の世代に受け継がれる……この夏、久しぶりにインターハイを見る機会があったんです。刺激を受けましたね、高校時代の自分に少しは戻れたかな。

陣内　今シーズンはあまりいい結果が出ていないけど、思い入れのあるYOJをきっかけにしましょう! 何年かたって「そういえば、30回記念のYOJが大きな転機だったよな」と振り返れるような、ね。



「僕にとって特別な大会。YOJがなければいまの僕はいない」



たご・けんいち

1989年7月16日生(22歳)／
埼玉県出身／NTT東日本
ジュニア時代から活躍し、高校時代はインターハイ3冠、アジアジュニア単優勝、世界ジュニア単2位と国内外で好成績を残した。埼玉栄高卒業後はNTT東日本に進み、全日本総合3連覇、全英OP2位などの実績を築いており、ロンドン五輪でのメダル候補として期待されている。

ヨネックスOPジャパン年表1982—2010

■1997年（第16回）
・男子単でP・ラスムセン（デンマーク）が優勝。インドネシアの男子単連続優勝が「6」でストップ
・17歳の新星M・アウディナ（インドネシア）が初V
・リッキー／レキシー（インドネシア）が男子複では初となる3連覇を達成

■1998年（第17回）
・5種目中、4種目で新チャンピオンが誕生。男子単ではP・ゲード（デンマーク）が制し「YOJという大きな大会で優勝することができ、誇りに思っている」

■1999年（第18回）
・開催日程が1月から4月に移行
・葛菲／顧俊（中国）が3年連続4度目のVを達成

■2000年（第19回）
・女子単では龔智超と葉剣穎（中国）がともに3年連続決勝に進出

■2001年（第20回）

・男子単ではR・ハシムがマレーシア選手として同種目初V
・女子単の森かおりが14年ぶりの3位入賞「ここまで上に来られたのは信じられない」

■2002年（第21回）

・男子単で日本の舛田圭太が3位入賞。第1回長谷川博幸以来の快挙に「なんといっていいかわからないほどうれしい」
・7ゲーム×5ポイント制で実施

■2003年（第22回）
・C・マーチン（デンマーク）が12回目の出場で初V。欧州に女子単で初めての優勝をもたらす。「中国選手がたくさん出てくるので、YOJは世界選手権より勝つのが難しい」

■2004年（第23回）
・94年以来中国が無冠に終わる
・7年ぶりにM・アウディナ（オランダ）が優勝

■2005年（第24回）

・日本の小椋久美子／潮田玲子が女子複では12年ぶりに3位入賞。「中国はもう憧れではなく、ライバルです」（潮田）

■2006年（第25回）

・男子単で林丹（中国）がP・ゲード以来（98、99年）の連覇を達成
・開催日程が4月から10月に移行
・日本の坂本修一／池田信太郎が男子複で16年ぶりのベスト4を達成

■2007年（第26回）
・スーパーシリーズとしての初開催。日程も9月開催となる
・リー・チョンウェイがマレーシア選手として6年ぶりのV。「私の夢は五輪、世界選手権、全英、そしてYOJで優勝すること。初優勝できてうれしい」

■2008年（第27回）
・男子単で田児賢一、男子複で舛田圭太／大束忠司が3位入賞。女子複の末綱聡子／前田美順も3位に

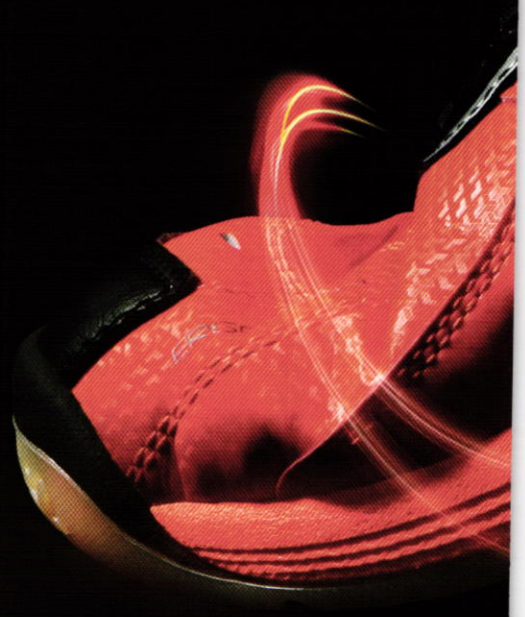
■2009年（第28回）
・末綱／前田が日本選手として女子複で19年ぶりに決勝に進出（準優勝）

■2010年（第29回）
・末綱／前田が3年連続で準決勝に進出（3位）

BADMINTON
FIT SYSTEM
SOKKO FIT

足攻フィット

フィット性能、ここに極まる。



BADMINTON FIT SYSTEM

フィットを追及した9つの機能



01 POWER CUSHION
7mの高さから生卵を落としても、割れずに4m跳ね返す高反発の衝撃吸収材。

02 NEW INSOLE
シューズと足を密着しカカトをしっかりホールドする。

03 NEW MIDSOLE
横ブレをなくし素早く戻れる動きを可能にする。

04 ROUND SOLE
自然な着地と蹴り出しでパワーロスを軽減する。

05 NEW OUTSOLE
よりスムーズな足の挙動を可能にする。

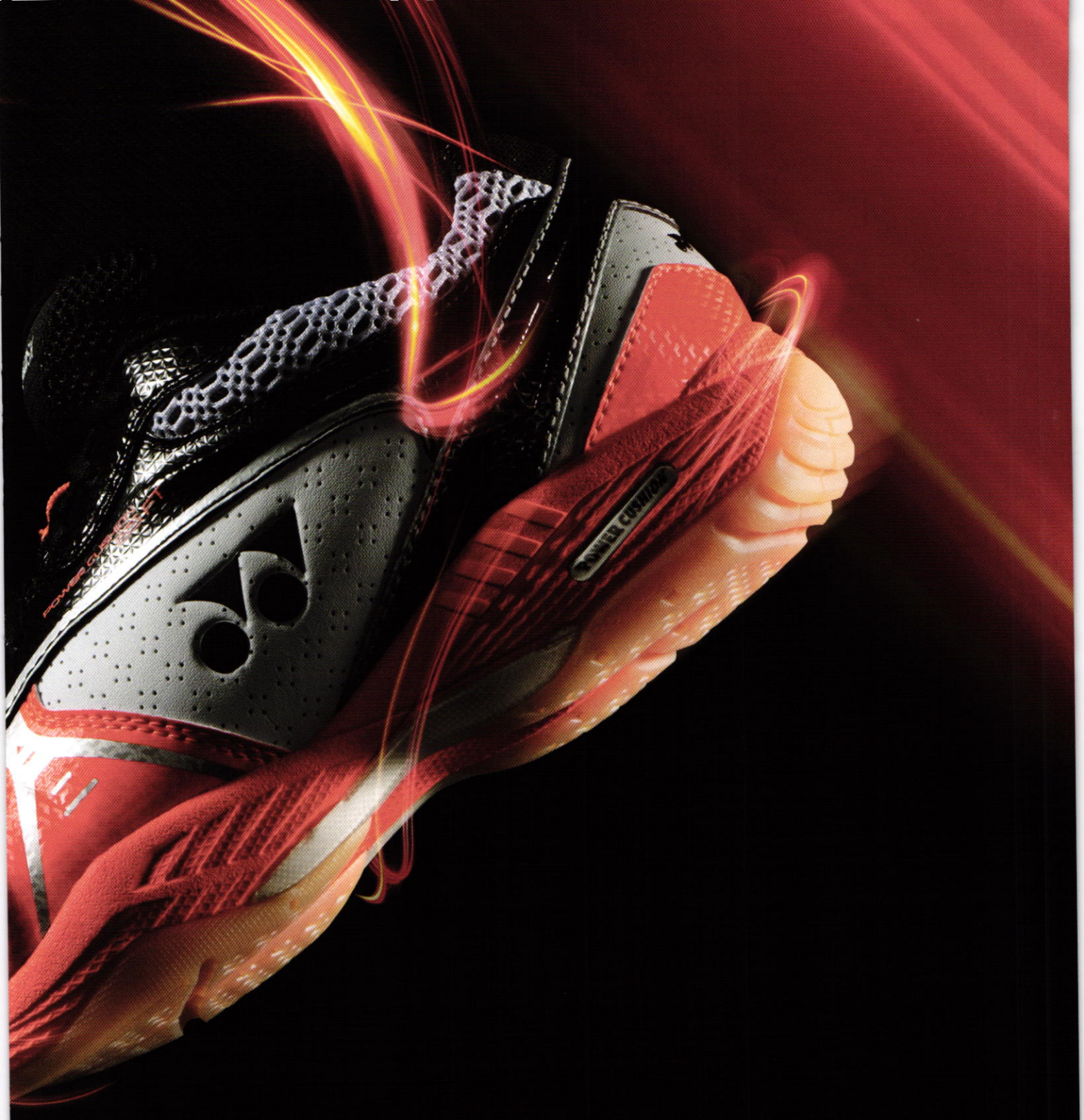
POWER CUSHION 65 FT

06 POWER CARBON LIGHT
フットワーク時のねじれを抑え安定させる。

07 UPPER
あらゆる足の動きに対して優しくソフトに包み込む。

08 ERGOSHAPE
圧迫のない爪先設計がストップ&ダッシュを俊敏にする。

09 HYPER FEATHER LIGHT
履き始めの性能を長時間維持する軽量クッション素材。



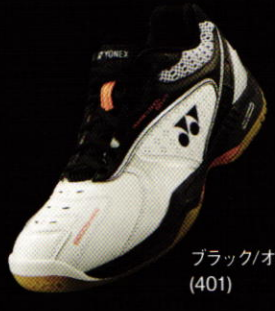
NEW POWER CUSHION 65FT

www.yonex.co.jp/65ft/

バドミントンのための機能とフィット 特設サイトで公開中!



シャインオレンジ
(494)



ブラック/オレンジ
(401)

■¥10,500 (本体価格¥10,000)　サイズ　22.0~29.0(cm)　中国製

YONEX®



末綱聡子&前田美順

Suetsuna Satoko & Maeda Miyuki

すえつな・さとこ（写真右）／1981年1月30日（30歳）／168cm59kg／右利き／ルネサス／大分県出身／城東中ー昭和女子高
まえだ・みゆき／1985年10月14日（25歳）／169cm62kg／右利き／ルネサス／鹿児島県出身／国分中ー熊本中央高
'08北京五輪4位、'09ヨネックスOPジャパン2位、'10デンマークOP優勝、全日本総合優勝、'11インドOP優勝、世界選手権3位

日本選手悲願の初Vにスエマエが挑む！！

ヨネックスOPジャパン初出場は2005年。ペア歴2年目ながら準々決勝に進んだスエマエは、オグシオこと小椋久美子／潮田玲子と日本人対決に臨んだ。しかし、勢いに乗るライバルに押し切られ敗戦。涙を呑んだ2人とは対照的に、準決勝に進んだオグシオはそこから一気にスターダムを駆け上がった。

それから6年。名盟たちが第一線を退くなか、スエマエは“自分らしく”つねに前進し続けている。08年に念願のベスト4に入ると、翌年には日本人として19年ぶりとなるYOJでの決勝進出。中国選手に敗れはしたものの「負けたのは紙一重の差です」（前田）といい切れるほど大きな手応えをつかんだ。

自信は2人をさらに成長させる。4年前、日本代表の3番手に位置したスエマエも、今では世界ランキング2位のトップランカー。今年8月の世界選手権では銅メダルを獲得し、JAPANの顔となった。世界トップクラスといわれる鉄壁のレシーブ力、そこから進化した「攻撃的なレシーブ」は、海外の強豪と戦うなかで磨き上げた大きな武器。負けない自信は、もちろんある。

YOJの30年という歴史のなかで、優勝した日本選手はいない。優勝の壁は厚く、果てしなく高いからだ。それでも、いつかは日本人が乗り越えなければならない。いまなら、やっぱりスエマエだ。

「YOJは日本で唯一の国際大会。自分たちが勝つ所をみなさんにお見せしたい」

歴史の壁を乗り越えたとき、2人はどんな表情を見せてくれるのだろうか——。

歴史を超えろ！

JAPANのエース紹介
CLOSE UP 日本選手

「いつも初戦で負けているので、今回はなんとか勝ちたい」

混合ダブルスでロンドン五輪をめざす潮田玲子は、ヨネックスOPジャパンに向けての意気込みをこう語っている。池田信太郎とのペアを組んで3年目。日本バドミントン界の人気者だからこそ、地元で結果を残したい気持ちは強い。

YOJとイケシオの相性は決して悪くはない。混合ダブルスに転向する前、池田は坂本修一との男子ダブルスで3位入賞（06年）。潮田も小椋とのペアで同じく3位（05年）に入った。どちらも日本のファンから熱い声援を受け、勝利の瞬間には惜しみない喝采を浴びている。

「日本の観客のみなさんには何か感じられるものがあったと思うし、みなさんの前で勝てて本当によかった」

池田は4強を決めた当時の記者会見でこう話している。ファンの存在が見えない大きな力になったからこそ、自然とこのような言葉が出てきたのだろう。もちろん、潮田も日本のファンの温かさと心強さを、誰よりも体感しているはずだ。

再びファンの前で勝利をあげる準備はできている。まだSS（スーパーシリーズ）での上位進出こそないが、3月のドイツOPでは韓国、ドイツ、ポーランド、タイの強豪選手を撃破して準優勝。池田はいう。

「いいパフォーマンスをすれば格上にも絶対通用するんです」

今大会、イケシオとしては3度目の出場となる。応援してくれる声の大きさは、当時に比べて格段に増した。ファンの声援を歓喜に——。2人はあの心地よい余韻を、もう一度つかみにいく。



ファンの声を力に 未来へつながる1勝をつかむ！

池田信太郎& 潮田玲子

Ikeda Shintaro & Shiota Reiko

いけだ・しんたろう（写真奥）／1980年12月27日（30歳）
175cm69kg／右利き／日本ユニシス／福岡県出身／
岡垣中ー九州国際大付高ー筑波大
しおた・れいこ／1983年9月30日（27歳）／166cm／
右利き／日本ユニシス／福岡県出身
新津中ー九州国際大付高ー三洋電機
'09全日本社会人優勝、'09'10全日本総合2位、
'10日本ランキングサーキット優勝、マレーシアOP8強、
オランダOP2位、'11ドイツOP2位

「環境企業」
加賀電子グループ

加賀電子は、未来の環境と人の暮らしを見つめる、エレクトロニクス総合商社。
環境にやさしいLED照明をはじめ、エレクトロニクスのことなら何でも、
加賀電子グループにお任せください。

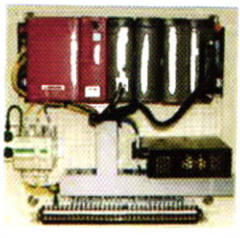


LED照明
オフィス・コンビニ・
ゴルフ場などへ



太陽光発電
ご家庭・企業などへ

**エコのことなら
ワンストップサービスで
お客様のご要望に
お応えします。**



省エネシステム
工業・商業施設全般へ



蓄電池
ご家庭・企業などへ

加賀電子株式会社
〒101-8629　東京都千代田区外神田3-12-8　TEL.03-4455-3131(代)　http://www.taxan.co.jp
東京証券取引所1部上場（証券コード：8154）加賀電子グループ：世界16ヶ国56社（国内24社・海外32社）

PREVIEW

[大会展望]

MEN'S SINGLES 男子シングルス紹介

新たなる伝説へ——

Toward a new legend

第30回を迎える伝統の
ヨネックスオープンジャパンが、いよいよ開幕。
スーパーシリーズとなって今年で5回目となる本大会は、
来年7月に開催されるロンドン五輪の出場権争いに
直結する重要な一戦。
世界の精鋭たちによる戦いは例年以上に
白熱することは必至で、
メモリアルとなる今回はより一層の興奮と
スーパープレーが見られるに違いない。



リー・チョンウェイ

Lee Chong Wei マレーシア

1982年10月21日(28歳)
170cm62kg／右利き
'07'10ヨネックスOPジャパン優勝、'08北京五輪2位、'10'11全英OP優勝、'11世界選手権2位

卓越したスピードと究極のボディバランスで世界トップに君臨。ロンドン五輪では優勝候補の一番手として名をあげる



林丹 リン・ダン Lin Dan 中国

1983年10月14日(27歳)／178cm72kg／左利き
'04'06～'09全英OP優勝、
'05'06ヨネックスOPジャパン優勝、
'06'07'09'11世界選手権優勝、'08北京五輪優勝、
'10アジア大会優勝

男子単初のオリンピック連覇へ覇子を取り戻してきた中国最強のエース。豪快なスマッシュと驚きのコートカバー力は必見!

第30回記念にふさわしい豪華メンバーが顔を揃えた。8月のロンドン世界選手権で8強に進んだ選手中、7人が参戦。来年のロンドン五輪で中心になるであろう超人たちの、熾烈なV争いが繰り広げられそうだ。

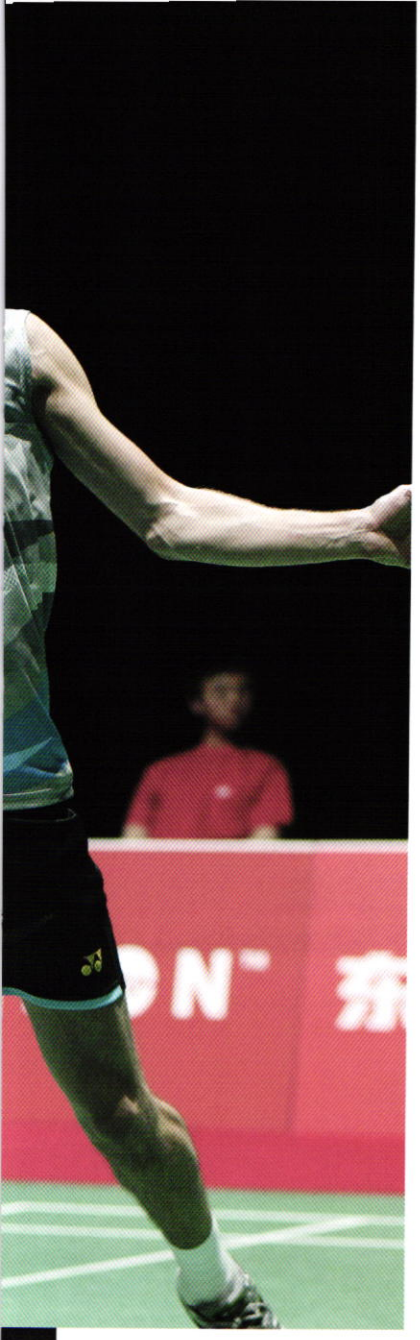
優勝候補の筆頭は、前回のYOJ覇者・リー・チョンウェイ（マレーシア）、そして3度目の世界王者に輝いた林丹（リンダン）（中国）の2人。2年以上世界ランク1位を保持しているリーは、スピード、テクニックともに世界トップクラス。今年出場したスーパーシリーズ（以下SS）は全英OP優勝を含む6戦4勝と好調をキープしている。満を持して本大会2連覇に挑戦する。

そのリーをSS決勝で2度破り、韓国OP、世界選手権を制したのが林丹（リンダン）。全盛期ほどの猛烈な勢いはないが、実力そのものは超一流。最近はラリーを中心としたスタイルにモデルチェンジしているが、左腕からの豪快なスマッシュはいまだ健在。06年以来、3度目のYOJ優勝を見据えている。

中国からは陳金（チェンジン）ほか、ロンドン五輪期待若手の譚龍（タンロン）、杜鵬宇（ドゥペンユー）が出場。毎年上位に進出する中国からニューヒーローが誕生する可能性も十分ありそうだ。

バドミントンに国技の誇りを持つインドネシアからは日本での人気が高いタウフィック・ヒダヤットや、08年大会優勝のソニ・ドゥイ・クンチョロ、シモン・サントソがV争いを盛り上げる。韓国からはベテラン・李炫一（イヒョンイル）が今年から調子を急激に上げており、ダークホース的存在となるか。欧州の雄・ピーター・ゲード（デンマーク）も久々のSS制覇に虎視眈々だ。

日本からは田児賢一、佐々木翔の2大看板が海外の強豪を迎え撃つ。近況は佐々木が絶好調。インドネシアOPで林丹を破り、世界選手権では自身初の8強入り。08年YOJ3位の実績を持つ田児とともに、表彰台をねらう。



ピーター・ゲード

Peter Gade　デンマーク

1976年12月14日（34歳）／
185cm64kg／右利き
'98'99ヨネックスOPジャパン優勝、
'99全英OP優勝、'00シドニー五輪4位、
'04アテネ五輪8強、'08北京五輪8強、
'10'11世界選手権3位、'11インドネシアOP2位

98、99年に本大会連覇を達成している欧州のベテラン。正確なショットとミスのないプレーでポイントをつかむ。ロンドン五輪後の引退を表明。

タウフィック・ヒダヤット

Taufik Hidayat　インドネシア

1981年8月10日（30歳）／
175cm69kg／右利き
'02'06アジア大会優勝、
'04アテネ五輪優勝、'05世界選手権優勝、
'07'09ヨネックスOPジャパン2位、
'10フランスOP優勝、'11マレーシアOP2位

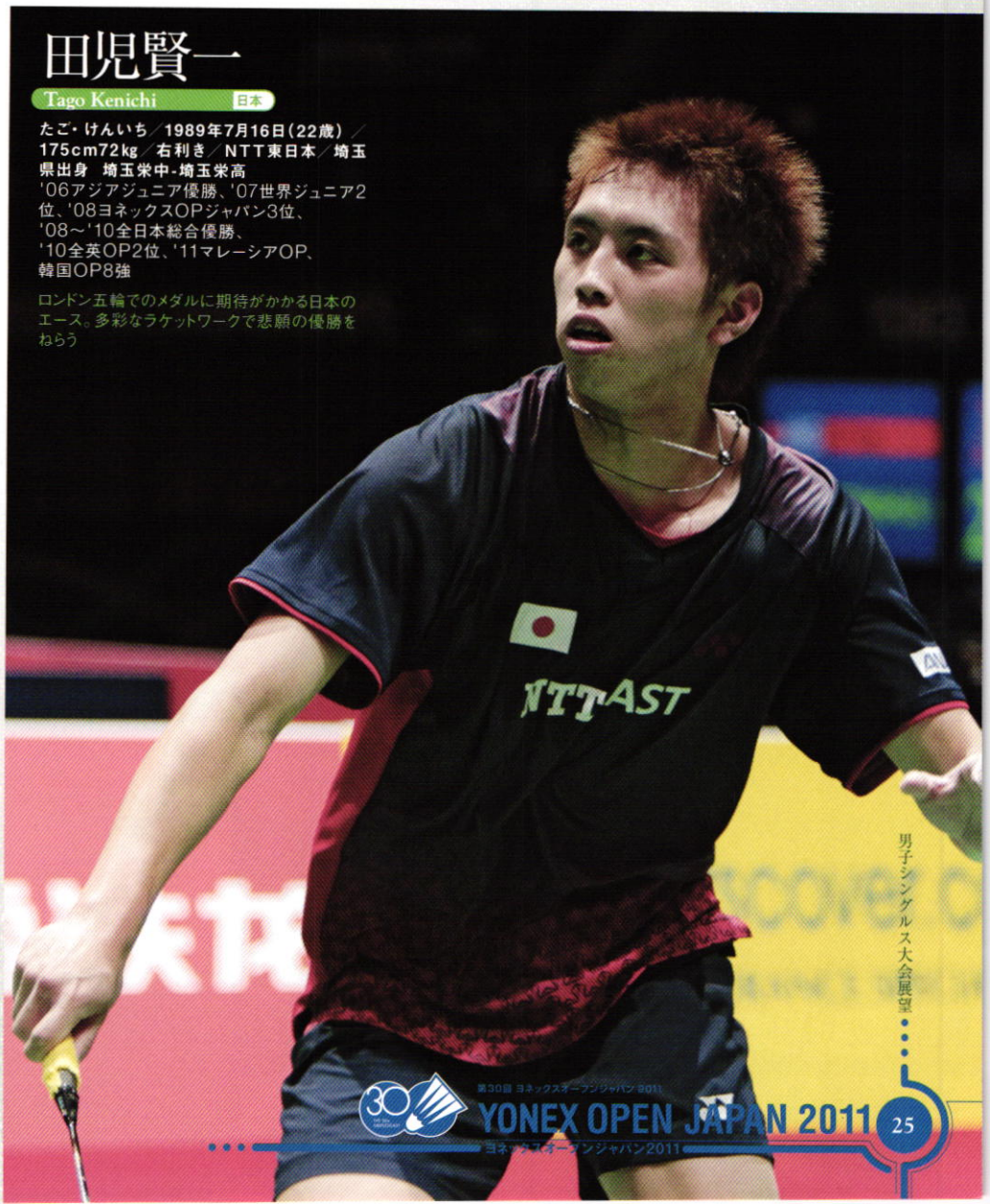
数多くのビッグタイトルを獲得してきたインドネシアの至宝。世界トップクラスのテクニックでYOJ初制覇に挑む

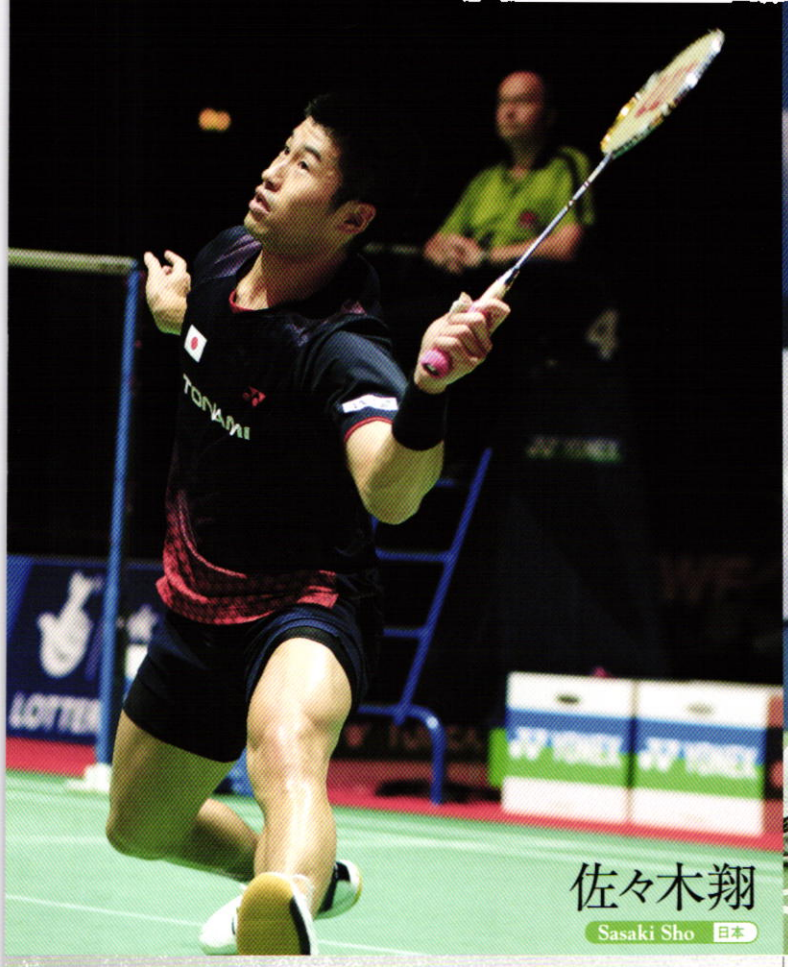
田児賢一

Tago Kenichi　日本

たご・けんいち／1989年7月16日（22歳）／
175cm72kg／右利き／NTT東日本／埼玉県出身　埼玉栄中-埼玉栄高
'06アジアジュニア優勝、'07世界ジュニア2位、'08ヨネックスOPジャパン3位、
'08～'10全日本総合優勝、
'10全英OP2位、'11マレーシアOP、
韓国OP8強

ロンドン五輪でのメダルに期待がかかる日本のエース。多彩なラケットワークで悲願の優勝をねらう





佐々木翔
Sasaki Sho 日本

ささき・しょう／1982年6月30日（29歳）／171cm74kg／左利き／トナミ運輸／北海道出身／上磯中—関東第一高—東京富士大短大部—MMGアローズ—北都銀行
'07全日本総合優勝、'07'10大阪インターナショナルチャレンジ優勝、'09全英OP8強、'11インドネシアOP3位、世界選手権8強

6月のインドネシアOPで林丹を下した日本屈指のスマッシャー。体の可動域を広めるトレーニングなどで常に進化し続ける男がYOJ初の表彰台に挑む



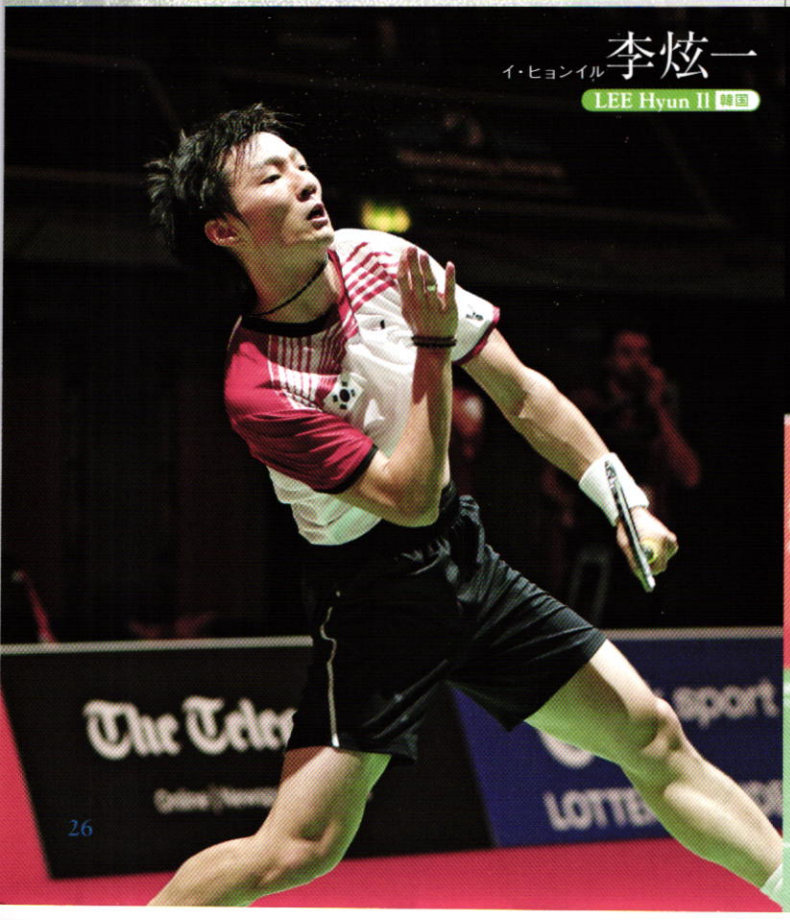
シモン・サントソ
Simon Santoso インドネシア

1985年7月29日（26歳）／175cm68kg／右利き
'09世界選手権8強、デンマークOP優勝、ヨネックスOPジャパン3位、'10チャイニーズ・タイペイOP優勝、'11マレーシアOP3位、韓国OP3位

技術に富むバドミントン王国・インドネシアのDNAを受け継ぐ。テクニックだけに頼らず堅実なラリーでポイントを奪う。ラウンド側の球の処理のうまさに注目

1980年4月17日（31歳）／176cm67kg／左利き
'02ヨネックスOPジャパン優勝、アジア大会2位、'06全英OP2位、世界選手権3位、'08北京五輪4位、'11シンガポールOP8強

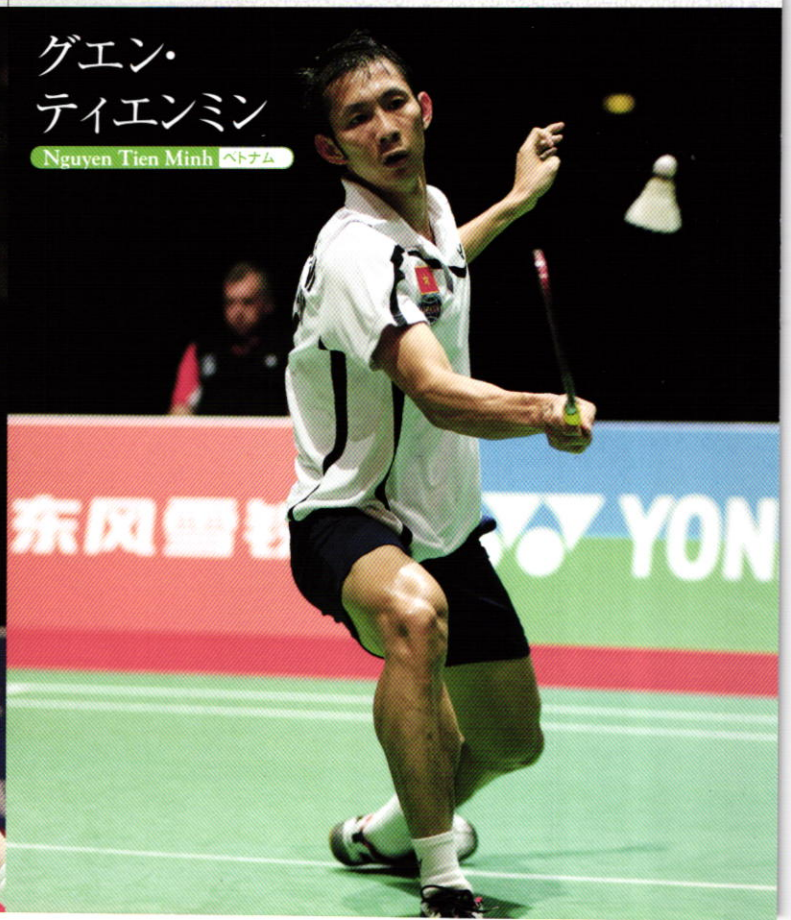
02年YOJの覇者。一時韓国代表を退いていたが、昨年9月から国際舞台にカムバック。サウスポーからの切れ味鋭い攻撃で相手を苦しめる



イ・ヒョンイル 李炫一
LEE Hyun Il 韓国

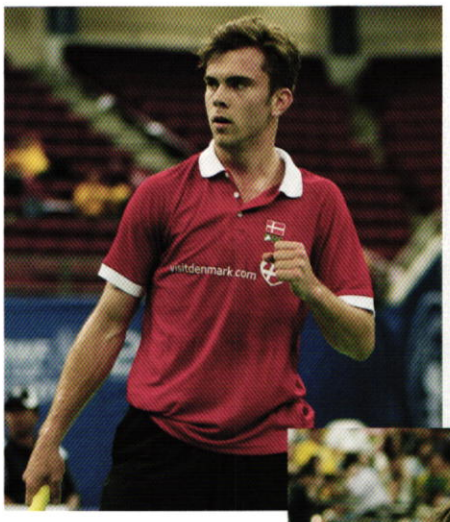
1983年2月12日（28歳）／169cm65kg／右利き
'09ヨネックスOPジャパン3位、'10マレーシアOP3位、インドネシアOP3位、'11世界選手権8強

スピーディーなフットワークで相手のスタミナを奪う。鋭い読みと反射神経にも長けているベトナムの星



グエン・ティエンミン
Nguyen Tien Minh ベトナム





ヤン・ヨルゲンセン

Jan O Jorgensen　デンマーク

1987年12月31日（23歳）
187cm／右利き
'09世界選手権8強、'10欧州選手権2位、
'10'11デンマークOP優勝

欧州勢らしい力強い一発を持つゲードの後継者

マーク・ツィーブラー

Marc Zwiebler　ドイツ

1984年3月13日（27歳）／
182cm73kg／左利き
'10デンマークOP8強、フランスOP8強、
'11全英OP3位、カナダOP優勝

ゲームメイクにも長けたドイツのサウスポー





陳金 チェン・ジン

Chen Jin　中国

1986年1月10日（25歳）／
181cm70kg／右利き
'08全英OP優勝、北京五輪3位、
'10世界選手権優勝、'11シンガポールOP優勝、

長いラリーから好機を生み出す
2010年世界王者

ブーンサック・ポンサナ

Boonsak Ponsana　タイ

1982年2月22日（29歳）／178cm70kg／右利き
'04アテネ五輪4位、'10マレーシアOP2位、
シンガポールOP2位、'11アジア選手権8強

ネット前での巧みなプレーが光るタイの貴公子

■BWF世界ランキング男子シングルス（9月2日付）

1	リー・チョンウェイ	マレーシア	
2	林丹	中国	
3	ピーター・ゲード	デンマーク	
4	諶龍	中国	
5	タウフィック・ヒダヤット	インドネシア	
6	陳金	中国	
7	グエン・ティエンミン	ベトナム	
8	杜鵬宇	中国	
9	佐々木翔	日本	
10	ブーンサック・ポンサナ	タイ	
11	鮑春来	中国	
12	朴成奐	韓国	
13	李炫一	韓国	
14	ヤン・ヨルゲンセン	デンマーク	
15	マーク・ツィーブラー	ドイツ	
16	王睜茗	中国	
17	胡賓	ホンコンチャイナ	
28	田児賢一	日本	
29	山田和司	日本	
37	上田拓馬	日本	

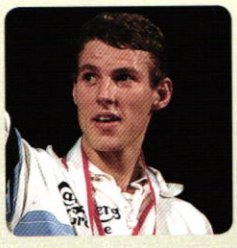
ヨネックスオープンジャパン―伝説の選手

YONEX OPEN JAPAN *Legendary players*

Men's Singles **男子シングルス**

モルテン・フロスト

Morten Frost／デンマーク



［主な成績］

'84'90ヨネックスOPジャパン優勝
'82'84'86'87全英OP優勝

80年代、男子シングルス界の第一人者として活躍した欧州の雄。鉄壁なレシーブと正確な配球力を武器に、リム・スイキン（インドネシア）、韓健、楊陽（中国）といった強豪たちと数多くの激闘を演じている。

趙剣華

Zhao Jianhua／中国



［主な成績］

'85ヨネックスOPジャパン優勝
'85'90全英OP優勝、
'91世界選手権優勝

当時19歳の若さで本大会を制覇。まだ世界的にも無名だった趙剣華は、この優勝をきっかけに世界のスターダムにのし上がった。186cmの長身＆左腕から繰り出す豪快なスマッシュで世界のファンを魅了している。

アーディー・B・ウィラナタ

Ardy.B. Wiranata／インドネシア



［主な成績］

'91'92'94ヨネックスOPジャパン優勝
'91全英OP優勝、
'92バルセロナ五輪2位

90年代初頭にニューヒーローとして現れた。攻撃的な長身選手が世界を席巻する中、171cmと小柄ながら豊富なスタミナと抜群の勝負根性で多くの強敵を撃破。その諦めないプレーは日本のファンから愛された。

ハリアント・アルビ

Haryanto Arbi／インドネシア



［主な成績］

'93'95ヨネックスOPジャパン優勝
'93'94全英OP優勝、'95世界選手権優勝、'96アトランタ五輪3位

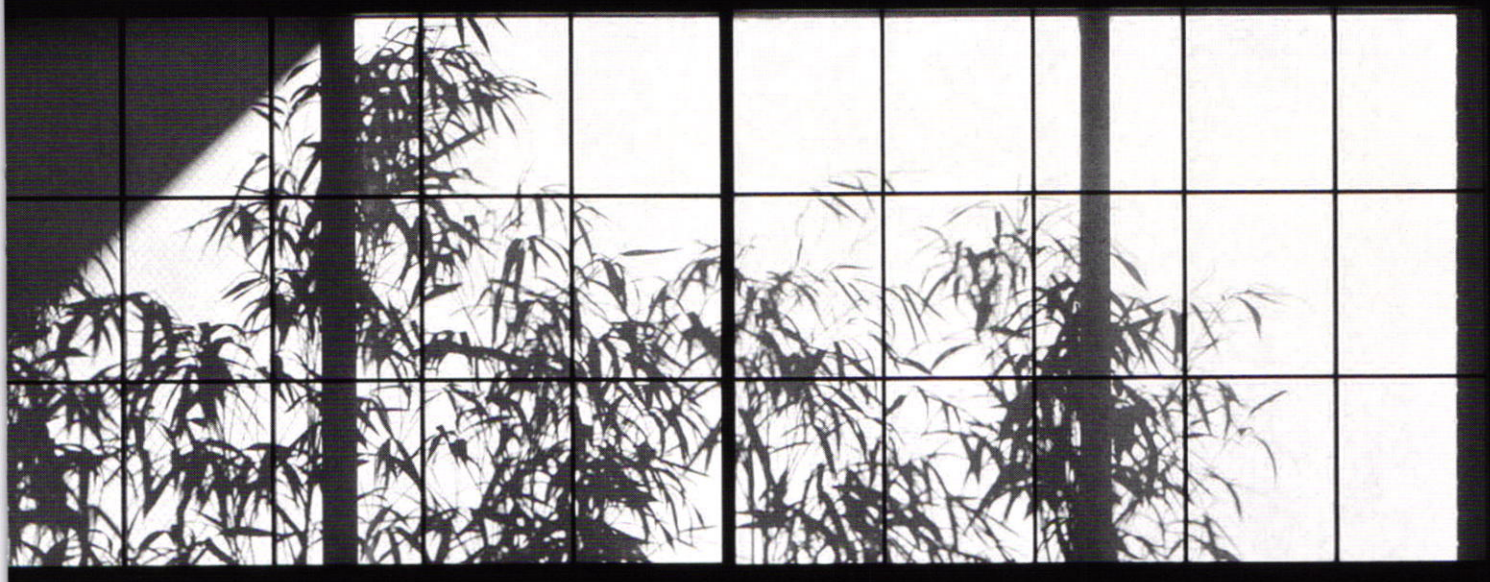
しなやかな肉体から生み出されるジャンプスマッシュで世界の頂点に君臨した。天性の反射神経でコートを駆け回り、好機と見るや矢のような攻撃を連発。本大会でも好敵手・アーディーと共に名勝負を繰り広げている。

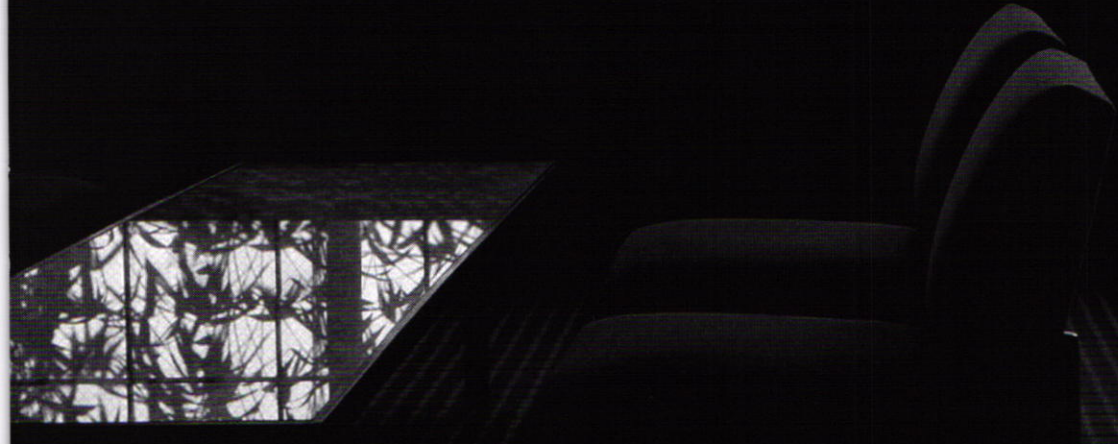


お二人様からカスタマイズできる、EPIのオリジナルツアー。
まだまだ知らない沖縄が、そこにあります。

イー・ピー・アイ・トラベル株式会社【社団法人日本旅行業協会正会員
観光庁長官登録旅行業第1820号】
http://www.epi-travel.com 〒111-0055 東京都台東区三筋1-6-2 TEL:03-5822-5331

おもてなしに
時をのせて
50th
Anniversary





日本の伝統美に包まれた くつろぎのひととき。

世界中からの
お客様をお迎えするにふさわしく、
また、どんなときでも
ゆったりと、くつろげる空間に。
日本という国に伝わる
”和“の美しさに、真心を添えて。
1962年の開業時から大切にしている
ホテルオークラ東京のおもてなしです。

Hotel Okura
TOKYO

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4 TEL (03)3582-0111
www.hotelokura.co.jp/tokyo

WOMEN'S **SINGLES** 女子シングルス紹介

女王たちの挑戦

Challenge of the Queens

8月、ロンドン五輪の会場となる
ウエンブレーで行われた世界選手権では、
中国4強のひとり王儀涵が女子シングルスの栄光を獲得。
強さに陰りが見えない中国だが、
その独走を阻止すべく東京の地に
各国のエースが集結した。
女王たちを退け、
未来への希望をつかむのは
どの選手か!?



王儀涵 ワン・イーハン

Wang Yihan 中国

1988年1月18日(23歳) 178cm60kg 右利き
'08'09ヨネックスOPジャパン優勝、
'09全英OP優勝、'10デンマークOP優勝、
フランスOP優勝、'11韓国OP優勝、インドネシアOP優勝、
世界選手権優勝

YOJ2連覇を達成している中国王朝の女王。日本の世界選手権を制し、名実ともに世界のトップに君臨していた

過去10年の女子シングルス優勝者を見ると、中国が8回の優勝を飾っている。それ以前の記録を見ても、やはり中国が他を圧倒。今年も女王としての威厳と強さを受け継いだ選手たちが、先人の築いた歴史に挑戦する。

昨年の覇者・蔣燕皎(ジャンヤンジャオ)は不出場ながら、中国は世界ランク上位の王儀涵(ワンイーハン)、王適嫻(ワンシーシェン)、汪鑫(ワンシン)の最強布陣で臨む。カット、スマッシュを巧みに操る攻撃型の王儀涵は、今年の世界選手権を見事制覇。名実ともに世界トップとなった。アジア女王の王適嫻はクレバーな配球と球際の強さで相手を追い込み、汪鑫はスピーディーなフットワークと高い制球力から得点を奪う。3者とも違ったプレースタイルを持ち味に、頂点をうかがう。

最強中国の対抗馬となるのが日本の強き“なでしこ”たち。日本王者である廣瀬栄理子は、今年の全英OPで日本人女子としては32年ぶりにセンターコートに立つ快挙を演じた。惜くも王適嫻に敗れ2位に終わったものの、もちろん今大会もV候補の一角。30年続く歴史に、初めて日本人の名を刻むか。また、170cmと恵まれた体格に、サウスポー独特の攻撃でラリーを制す佐藤冴香、小柄な体を俊敏に動かしシャトルを追い続ける後藤

廣瀬栄理子 Hirose Eriko 日本

ひろせ・えりこ／1985年3月16日（26歳）／164cm55kg／右利き／パナソニック／兵庫県出身／中谷中ー青森山田高
'04'06'08～'10全日本総合優勝、'08北京五輪16強、'09ヨネックスOPジャパン3位、'10インドネシアOP3位、アジア大会3位、'11全英OP2位

今年の全英OPファイナリスト。軽やかな身のこなしから繰り出すカットは世界トップクラス!





06年以降、低迷するも、11年世界選手権で2位と復活。忍者のように地面に吸いつく走りでショットを拾いまくる

チェン・シャオチェー
鄭韶婕 Cheng Shao Chieh チャイニーズタイペイ

1986年1月4日（25歳）／158cm49kg／右利き
'03世界ジュニア優勝、'04アテネ五輪8強、'11インドネシアOP3位、世界選手権2位



ワン・シーシャン
王適嫻 Wang Shixian 中国

1990年2月13日（21歳）／168cm60kg／右利き
'08世界ジュニア3位、'09中国マスターズ優勝、'10韓国OP優勝、アジア大会優勝、'11マレーシアOP、全英OP優勝

アジア大会、全英OPなどビッグタイトルを次々と手にする中国の新星。強いリズムで攻撃を仕掛けポイントを奪う

愛らも、地元の声援を背に強豪とぶつかる。

その他にも、ロンドン五輪V候補・インドのサイナ・ネワル、07年の本大会Vを機に、トップランカーの仲間入りを果たしたティーネ・バウン（デンマーク）も中国の壁を打ち破る力を持っている。ティーネは4年前の快進撃の再現なるか。

世界選手権4強に入った鄭韶婕（チェンシャオチェー）（チャイニーズタイペイ）、ユリアン・シェンク（ドイツ）の2人も、波に乗ると手がつけられないだけに、日本の地でも番狂わせを起こすには十分な存在。一時、ケガで戦列を離れていたピ・ホンヤン（フランス）も復活の気配を漂わせている。

■BWF世界ランキング
女子シングルス(9月2日付)

1	王儀涵	中国
2	王適嫻	中国
3	汪鑫	中国
4	蒋燕皎	中国
5	サイナ・ネワル	インド
6	ティーネ・バウン	デンマーク
7	劉昕	中国
8	鄭韶婕	チャイニーズタイペイ
9	ユリアン・シェンク	ドイツ
10	裵延姝	韓国
11	ポルンティップ・プラナプラサートスク	タイ
12	成池鉉	韓国
13	インタノン・ラトチャノック	タイ
14	ペトヤ・ネデルチェワ	ブルガリア
15	葉姵延	ホンコンチャイナ
16	李雪芮	中国
17	佐藤冴香	日本
18	廣瀬栄理子	日本
24	後藤愛	日本
27	栗原文音	日本



ワン・シン
汪鑫
Wang Xin 中国

1985年11月10日(25歳)／165cm／左利き
'09'10ヨネックスOPジャパン2位、'10マレーシアOP優勝、世界選手権2位、中国マスターズ優勝、'11全英OP3位、シンガポールOP優勝、世界選手権3位

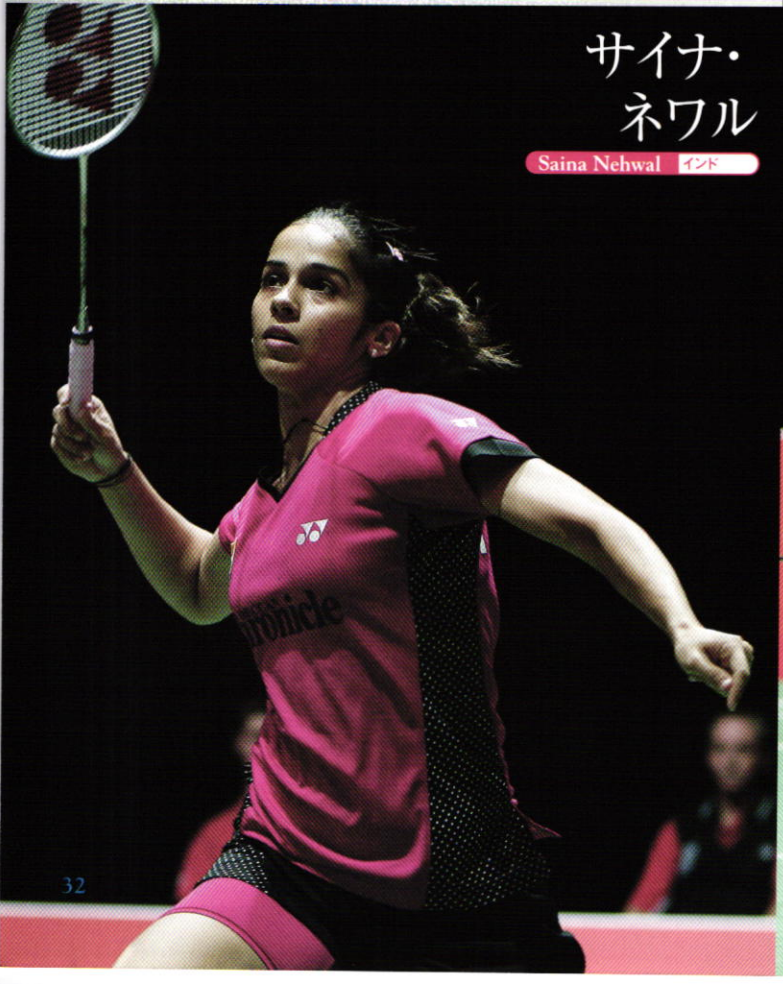
中国選手にしては珍しく小さい体躯だが、素早いフットワークを武器に果敢に攻め抜く。相手に球種を読ませない多彩なテクニックも必見



ティーネ・バウン
Tine Baun デンマーク

1979年7月21日(32歳)／181cm／右利き
'07ヨネックスOPジャパン優勝、'08'09全英OP優勝、'09デンマークOP優勝、'10世界選手権3位、'11シンガポールOP2位

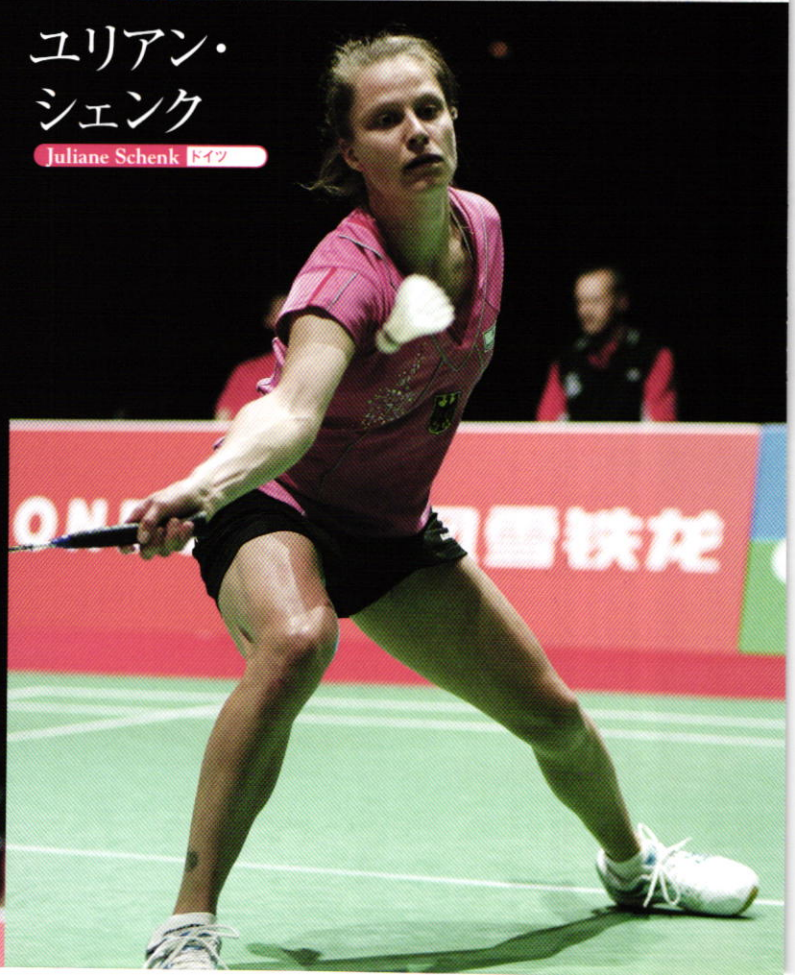
打倒中国に燃えるヨーロッパの女騎士。ネット前のプレーにも安定感が増し得意とするスマッシュにつなげる



サイナ・ネワル
Saina Nehwal インド

1990年3月17日(21歳)／165cm60kg／右利き
'08世界ジュニア優勝、'09'10インドネシアOP優勝、'10シンガポールOP優勝、香港OP優勝

昨年はケガで不本意なシーズンとなったがSS3勝と実績は十分。卓越したボディバランスで苦しい体勢からでも力強く打ち抜く



ユリアン・シェンク
Juliane Schenk ドイツ

1982年11月26日(28歳)／172cm62kg／右利き
'09世界選手権8強、'10オランダOP優勝、香港OP3位、'11全英OP8強、世界選手権3位

世界選手権では中国選手を下して初の4強。強打だけではなく、ドロップやカットをコースにきっちりついてくる



佐藤冴香

Sato Sayaka 日本

さとう・さやか／1991年3月29日（20歳）／170cm／左利き／日本体育大／宮城県出身／仙台第一中ー常盤木学園高
'08IH2位、世界ジュニア2位、'09ニュージーランドOP優勝、'10インドネシアOP2位、'11韓国OP8強、インドOP3位

豪打で押し切る日本の大型サウスポー





ポルンティップ・ブラナプラサットスク

Porntip Buranaprasertsuk タイ

1991年10月24日（19歳）／167cm61kg／右利き
'10フランスOP3位、'11韓国OP3位、インドOP優勝

急成長するタイ勢の中でも抜きん出たテクニシャン

ピ・ホンヤン

Pi Hong Yan フランス

1979年1月25日（32歳）／164cm56kg／右利き
'07全英OP2位、'09世界選手権3位、フランスOP3位、'10香港OP8強

相手の攻撃を柔かい返球でしのぐなど、熟練のテクニックで相手を翻弄

ヨネックスオープンジャパン—伝説の選手

YONEX OPEN JAPAN *Legendary players*

Women's Singles **女子シングルス**

李玲蔚
Li Lingwei／中国



[主な成績]

'82'86'87'89 ヨネックスOPジャパン優勝
'84'89全英OP優勝、'83'89世界選手権優勝

愛くるしい顔立ちだけでなく、実力も併せ持ち本大会を4度制覇。巧みな配球と素早いフットワークは圧巻で、長年にわたり世界のトップに立ち続けた。最強・中国軍団のエースとして全英OP、世界選手権の栄光も手にしている。現在はBWF理事。

スシ・スサンティ
Susi Susanti／インドネシア



[主な成績]

'92'94'95 ヨネックスOPジャパン優勝
'90'91'93'94全英OP優勝、'92バルセロナ五輪優勝、'93世界選手権優勝

数多くのビッグタイトルを手中におさめたゴールド・コレクターは、その柔らかなフォームと天才的な球さばきから「ネット際の魔術師」と呼ばれた。数多くの奇跡も生み出した女王の魔法に酔いしれたファンは多い。

カミラ・マーチン
Camilla Martin／デンマーク



[主な成績]

'03ヨネックスOPジャパン優勝
'02全英OP優勝、'02シドニー五輪2位

モデル並みの美貌にブロンドヘアーをなびかせ、コートを舞い続けた欧州のヒロイン。ひとたびラケットを握れば、美しい素顔に隠された闘争心とパワーを開放して強敵を打ち砕いた。女子の中国全盛が続く中、欧州勢から孤軍奮闘した。

張寧
Zhang Ning／中国



[主な成績]

'05'06ヨネックスOPジャパン優勝
'03世界選手権優勝、'04アテネ五輪優勝、'08北京五輪優勝

初めて世界タイトルを獲ったのは28歳のとき。若くから活躍する中国選手の中では"遅咲き"だったが、年齢を重ねるにつれて強さは増した。高い打点からのカットと強靭な精神力で女王の座に就くと、33歳で五輪2連覇を達成している。

語り継がれる人生に、ヴィンテージな一枚を。



PLATINUM

¥21,000 Tax Included / Invitation Only

- プラチナメンバーだけの優待プログラム「entrée（オントレ）」
- 世界600以上の空港ラウンジを無料で「プライオリティ・パス」
- 24時間年中無休のコールセンター「コンシェルジュサービス」
- ●GOLDのサービスも加えてご利用いただけます。



GOLD

¥10,500 Tax Included

- 国内主要空港で搭乗前の優雅なひととき「空港ラウンジサービス」
- 旅も日常もポイント優遇「海外2倍/国内1.5倍ポイント」
- 月会費2,100円を割引「コナミスポーツクラブご優待」
- ●BLUEのサービスも加えてご利用いただけます。



BLUE

¥3,150 Tax Included

- 海外旅行の荷物をお届け「セゾン手荷物無料宅配サービス」
- 大きな安心がゆとりを演出「海外・国内旅行傷害保険」
- 購入商品の破損・盗難を補償「ショッピング安心保険」
- ●PEARLのサービスも加えてご利用いただけます。



PEARL

¥1,050 Tax Included（カードご利用で無料）

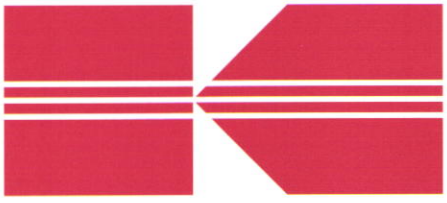
- ホテル・レストランでご優待「アメリカン・エキスプレス・セレクト」
- 旅にさらなるご満足「海外2倍ポイント」
- ネットショッピングも安心「オンライン・プロテクション」

至高のサービス・圧倒的なポイントプログラム セゾンカード革新のラインナップ

SAISON AMERICAN EXPRESS® CARD

www.saison-amex.jp

サポートのプロ集団がスポーツイベントを成功させる



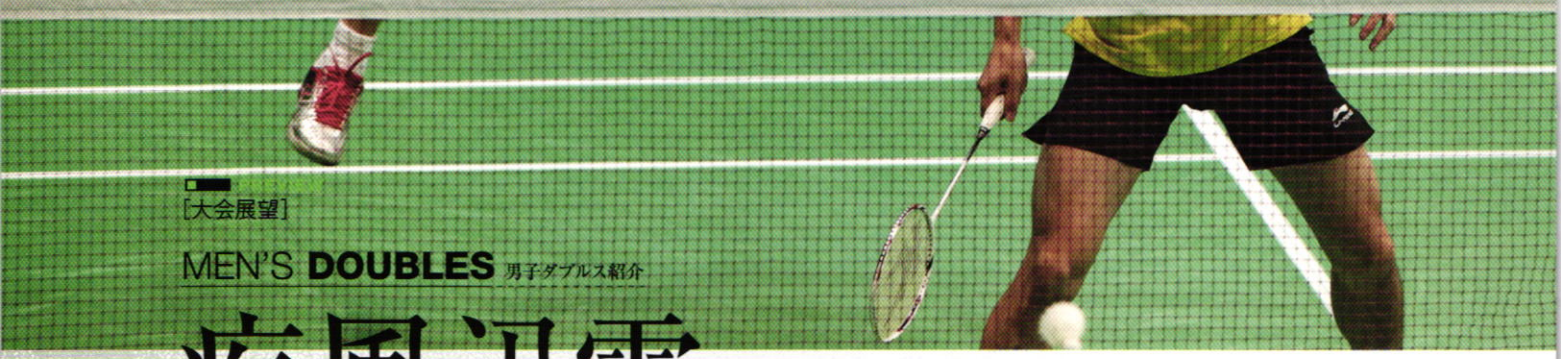
安心も、快適も、感動も。

株式会社 協栄

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町2—13—9

TEL 03-3666-3251（代表）　FAX03-3664-8776





[大会展望]

MEN'S **DOUBLES** 男子ダブルス紹介

疾風迅雷

High speed rally

アップテンポなラリー展開が魅力のダブルス。
阿吽の呼吸から生み出される2人のコンビネーションは、
観る者の目を一気に引き寄せる。
男女ダブルスはもちろん、日本注目の
池田信太郎／潮田玲子が出場する
混合ダブルスも括目せよ！

傅海峰(フ・ハイファン)&蔡贇(カイ・ユン)

Fu Haifeng & Cai Yun 中国

フ・ハイファン(写真左)／1984年1月2日(27歳)
183cm70kg／左利き
カイ・ユン／1980年1月19日(31歳)
182cm68kg／右利き
'05'09全英OP優勝、'06'09～'11世界選手権優勝、'08北京五輪2位、
'10ヨネックスOPジャパン優勝、'11インドネシアOP優勝

蔡贇が素早いタッチでゲームを作り、傅海峰の超強力スマッシュを導く。威力のある連続攻撃は世界一

スピードとパワフルな試合展開で観客を魅了する男子ダブルス。中国が上位を占める他種目に比べて、どの国が勝ってもおかしくない群雄割拠の時代が続いている。たとえ優勝候補といえども決勝までの道程は険しく、波乱のドラマが生まれるのもこの種目ならではだ。

連覇が難しいといわれるなか、王者の意地とプライドで頂点をねらうのが中国の傅海峰(フ・ハイファン)／蔡贇(カイ・ユン)だ。「僕らにとってＹＯＪは重要な大会」と語る２人は、前回ようやく念願の優勝を遂げた。８月には超速攻型のプレースタイルで４回目の世界タイトルを手にしただけに、今回も頂点に一番近い存在といえそうだ。

朴柱奉(パク・ジュボン)／金文秀(キム・ムンス)、河泰権(ハ・テコン)／金東文(キム・ドンムン)という五輪金メダリストを２組輩出している韓国は、鄭在成(ジョン・ジェソン)／李龍大(イ・ヨンデ)、高成炫(コ・スンヒョン)／柳延星(ユ・ヨンソン)が初制覇に挑む。先の世界選手権では鄭／李が４強、高／柳はファイナルの舞台に立った。ダブルス王国復活に向けて調子を上げるプレーにも注目が集まる。

インドネシアは北京五輪優勝のキドー／セティアワンとアーサン／セプタノ、アルベン／グナワンの３強が出場。マレーシアのクー／タンは今年ＳＳ優勝はなく、ここで勝って上昇のきっかけをつかみたい。鉄壁の守備網を張るボー／モゲンセン（デンマーク）も３年ぶりのタイトルを欧州に持ち帰りたいところだ。

日本からは５月のインドＯＰでＳＳ初優勝を飾った平田典靖／橋本博且に期待。「自分たちのベストプレーができれば世界トップにも戦える」と平田は話しており、大きく成長した姿を日本のファンに見せてくれるはずだ。１月のマレーシアＯＰ３位の佐藤翔治／川前直樹、メリハリの利いた攻撃でレベルアップしてきた早川賢一／遠藤大由も、ロンドンを見据え上位進出に向けて余念はない。

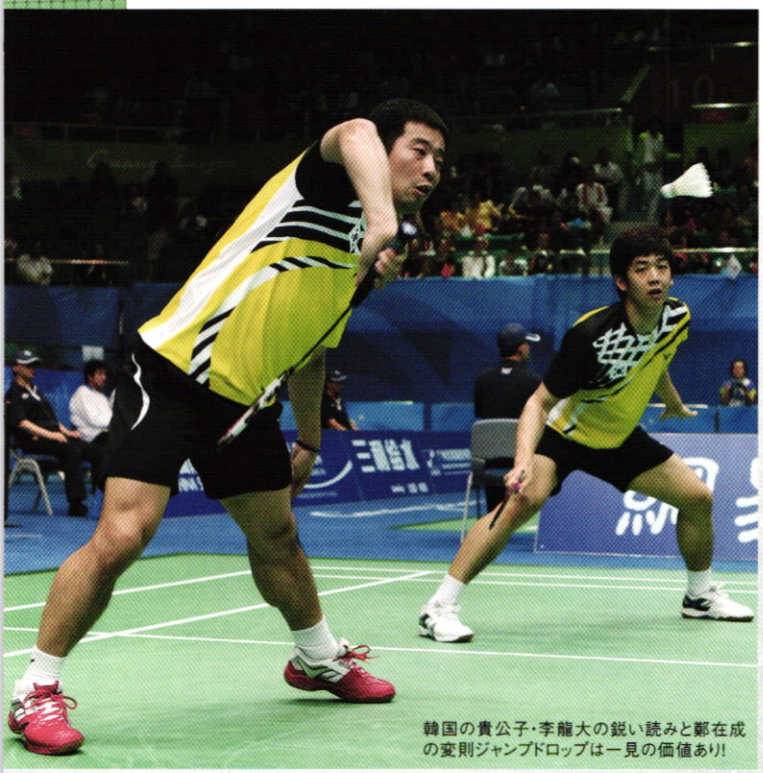


体格を生かした重厚感たっぷりのアタックを仕掛ける欧州王者。レシーブも堅く、スピーディーな展開にも対応する

マシアス・ボー&カールステン・モゲンセン

Mathias Boe & Carsten Mogensen デンマーク

ボー(写真左)／1980年7月11日(31歳)／185cm／左利き　モゲンセン／1983年7月24日(28歳)／185cm／右利き
'09韓国OP優勝、'10デンマークOP優勝、フランスOP優勝、'11全英OP優勝



韓国の貴公子・李龍大の鋭い読みと鄭在成の変則ジャンプドロップは一見の価値あり!

鄭在成(ジュン・ジェサン)&李龍大(イ・ヨンデ)

Jung Jae Sung & Lee Yong Dae 韓国

ジュン・ジェサン(写真左)／1982年8月25日(29歳)／168cm69kg／右利き
イ・ヨンデ／1988年9月11日(23歳)／180cm72kg／右利き
'07'09世界選手権2位、'08全英OP優勝、
'10中国OP優勝、'11韓国OP優勝、世界選手権3位

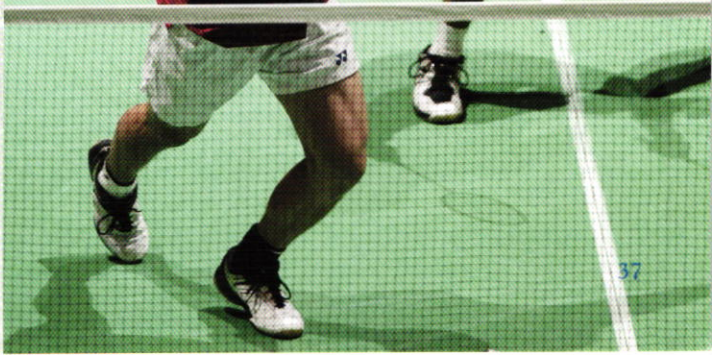
平田典靖&橋本博且

Hirata Noriyasu & Hashimoto Hirokatsu 日本

ひらた・のりやす(写真奥)／1983年11月17日(27歳)
180cm78kg／右利き／トナミ運輸／富山県出身／利賀中—高岡工芸高—日体大
はしもと・ひろかつ／1985年12月18日(25歳)／178cm76kg／右利き／トナミ運輸／熊本県出身／三和中—八代東高—日体大
'09'10全日本総合優勝、'10大阪インターナショナルチャレンジ優勝、インドネシアOP3位、'11アジア選手権2位、インドOP優勝



世界と互角に戦い合える力をつけた日本のエースダブルス。前衛に立つ平田のサービスまわりでの読みと橋本のスマッシュは絶品





タンの世界最速スマッシュとクーの見せる驚異のレスポンス力は必見

クー・ケンケット&タン・ブンホン

Koo Kien Keat & Tan Boon Heong　マレーシア

クー(写真左)／1985年9月18日(26歳)／179cm70kg／右利き
タン／1987年9月18日(24歳)／181cm72kg／左利き
'06'10ヨネックスOPジャパン2位、'06アジア大会優勝、'07全英OP優勝、'09デンマークOP優勝、'11韓国OP3位



セプタノは北京五輪金メダリストのキドーの弟。偉大な兄に続くためSS初Vをねらう

モハンマド・アーサン&ボナ・セプタノ

Mohammad Ahsan & Bona Septano　インドネシア

アーサン(写真左)／1987年9月7日(24歳)／173cm68kg／右利き
セプタノ／1987年9月22日(23歳)／右利き
'08ヨネックスOPジャパン2位、'11マレーシアOP3位、インドネシアOP3位、世界選手権3位



佐藤翔治&川前直樹

Sato Shoji & Kawamae Naoki　日本

さとう・しょうじ(写真右)／1982年9月19日(29歳)
168cm60kg／右利き／NTT東日本／東京都出身／上水中—関東第一高—東京富士大短大部—MMGアローズ
かわまえ・なおき／1982年11月6日(28歳)／167cm62kg
右利き／NTT東日本／奈良県出身／二名中—柏原高—日本大
'09'10全日本総合3位、'10大阪インターナショナルチャレンジ3位、日本ランキングサーキット優勝、'11マレーシアOP3位、インドOP8強、ロシアOP優勝

素早い展開力と巧みなレシーブ力で低空戦を制するベテランペア



早川賢一&遠藤大由

Hayakawa Kenichi & Endo Hiroyuki　日本

はやかわ・けんいち(写真右)／1986年4月5日(25歳)／177cm80kg／右利き／日本ユニシス／滋賀県出身／日吉中—比叡山高—日本大
えんどう・ひろゆき／1986年12月16日(24歳)／172cm71kg／右利き／日本ユニシス／埼玉県出身／里中—小松原高—日体大
'10デンマークOP3位、'11オーストラリア国際優勝、インドOP8強、シンガポールOP8強

高速ラリーのなかでも"柔"と"剛"の攻撃を組み合わせ得点を奪う若手コンビ

■BWF世界ランキング男子ダブルス (9月2日付)

1	傅海峰／蔡贇	中国
2	マシアス・ボー／カールステン・モゲンセン	デンマーク
3	鄭在成／李龍大	韓国
4	高成炫／柳延星	韓国
5	クー・ケンケット／タン・ブンホン	マレーシア
6	モハンマド・アーサン／ボナ・セプタノ	インドネシア
7	マルキス・キドー／ヘンドラ・セティアワン	インドネシア
8	アルベン・ユリアント／ヘンドラ・グナワン	インドネシア
9	平田典靖／橋本博且	日本
10	柴鬣／郭振東	中国
11	方介民／李勝木	チャイニーズタイペイ
12	佐藤翔治／川前直樹	日本
13	ペテルセン／ラスムセン	デンマーク
14	早川賢一／遠藤大由	日本
26	廣部好輝一／数野健太	日本

ヨネックスオープンジャパン—伝説の選手

YONEX OPEN JAPAN Legendary players

Men's Doubles **男子ダブルス**

トーマス・キールストロム&ステファン・カールソン

Thomas Kihlstrom & Stefan Karlsson／スウェーデン



[主な成績]

'83'84ヨネックスOPジャパン優勝
'83全英OP優勝

キームストロム(右)は第1回のシングルス覇者。本業のダブルスでもカールソンと組んで2連覇を達成した。日本人にない長い手足で球を拾う姿は、当時の観客には驚きだった。

朴柱奉&金文秀

Park Joo Bong & Kim Moon Soo／韓国



[主な成績]

'85'90'91ヨネックスOPジャパン優勝
'85'86全英OP優勝、'85'91世界選手権優勝、'92バルセロナ五輪優勝

ダブルスの神様とまでいわれた朴柱奉(左)は攻撃型のサウスポー金文秀との抜群のコンビネーションで本大会3V。混合ダブルスでも5度優勝している。現在は日本代表ヘッドコーチを務める。

リッキー・スバグジャ&レキシー・マイナキー

Ricky Subagdja & Rexy Mainaky／インドネシア



[主な成績]

'95'96'97ヨネックスOPジャパン優勝
'95'96全英OP優勝、'95世界選手権優勝、'96アトランタ五輪優勝

速攻の連続で世界の頂点に上りつめた2人は、YOJ3連覇。熱さを前面に出すレキシー(左)とクールにさばくリッキーの"静と動"のペアは日本での人気も絶大だった。

乾杯をもっとおいしく。
SAPPORO



秋。

ビールと間違える
ほどのうまさ。





本商品はビールではありません。リキュール(発泡性)①の商品です。 リキュール(発泡性)①

STOP! 未成年者飲酒

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社

おいしさも、安心も、サッポロビールは
すべて責任品質



攻守ともにスキのない於洋がゲームを支配。後輩・王暁理の豪快なスマッシュを導く。死角が一切見当たらない世界最強ペア

於洋（ユ・ヤン）&王暁理（ワン・シャオリー）

Yu Yang & Wang Xiaoli 中国

ユ・ヤン（写真右）／1986年4月7日（25歳）／166cm63kg／右利き
ワン・シャオリー／1989年6月24日（22歳）／175cm64kg／右利き
'10中国マスターズ優勝、ヨネックスOPジャパン優勝、アジア大会2位、香港OP優勝、
'11韓国OP優勝、全英OP優勝、インドネシアOP優勝、世界選手権優勝

PREVIEW
[大会展望]

WOMEN'S **DOUBLES** & MIXED **DOUBLES** 女子ダブルス&混合ダブルス紹介

女子ダブルスにおける中国の壁は厚い。第一人者が表舞台を去ろうとも、その代わりに世界№1の座に就くのは必ずその後輩たちだ。それは本大会にも当てはまる。現在この種目は6年連続で中国勢が優勝。今年も連続V数を「7」に伸ばすか。

その最強軍団の筆頭は、ＹＯＪ２連覇を目指す於洋（ユ・ヤン）／王暁理（ワン・シャオリー）だ。最強の名の下にＳＳ（スーパーシリーズ）３連勝中の２人は、世界選手権も圧倒的な強さで優勝。他を寄せ付けない完璧な攻撃は、敵の戦意をあっという間に消失させてしまう。勝って当然という女王の考えは、国内での激しい代表争いを勝ち抜いた自信からなのだろう。今回も死角を見つけるのは難しい。

鉄壁の牙城を崩しにかかるのが、日本が誇る精鋭たち。世界選手権３位の末綱聡子／前田美順（みゆき）が対抗一番手として挑めば、全英ＯＰ２位の藤井瑞希／垣岩令佳も食い止めにかかる。海外大会でコンスタントに上位に入る松尾静香／内藤真実も、２組に負けない力を持っており入賞圏内だ。ほかにも、チャイニーズタイペイのエース・簡毓瑾（チェンユーチン）／程文欣（チェンウェンシン）や強打でポイントを奪うポリー／ジャウハリ（インドネシア）も打倒中国に向けて奮起するに違いない。

混合ダブルスでも中国の張楠（ファンナン）／趙蕓蕾（ファオユンレイ）を中心に上位争いが進みそうだ。今年は世界選手権のビッグタイトルを手にしておりその勢いは本物。Ｖ候補の最有力だ。これに続くのは昨年末から本格的にペアを組むアーマド／ナッチル（インドネシア）、05年ＹＯＪ覇者でタイの攻撃型ペア・プラパカモル／トゥントーンカムら。日本の池田信太郎／潮田玲子はそのタイペアに昨年は初戦で敗れたが、その悔しさを胸に１年をかけて着実に力をつけてきた。日本のファンやマスコミからも注目されることは必至。ねらうはもちろん、ＳＳ初の表彰台だ。



簡毓瑾（チェン・ユーチン）&程文欣（チェン・ウェンシン）

Chien Yu Chin & Cheng Wen Hsing チャイニーズタイペイ

チェン・ユーチン（右）／1982年10月24日（28歳）／175cm68kg／右利き
チェン・ウェンシン／1982年2月24日（28歳）／166cm61kg／右利き
'10世界選手権3位、ヨネックスOPジャパン3位、香港OP2位、'11韓国OP3位

長らくチャイニーズタイペイのエースとして活躍。レシーブからラリーの主導権を握り迫力ある攻撃につなげる



学年はひとつ違うが高校時代からペアを組む今年の全英ファイナリスト。藤井のテクニックと垣岩の豪打で強敵を打ち破る

藤井瑞希&垣岩令佳

Fujii Mizuki & Kakiiwa Reika 日本

ふじい・みずき（写真奥）／1988年8月5日（23歳）／160cm60kg／右利き／ルネサス／熊本県出身／湯浦中—青森山田高
かきいわ・れいか／1989年7月19日（22歳）／166cm64kg／右利き／ルネサス／滋賀県出身／日吉中—青森山田高
'06IH優勝、'10全日本総合2位、デンマークOP3位、'11全英OP2位、シンガポールOP3位、インドネシアOP3位

松尾静香&内藤真実

Matsuo Shizuka & Naito Mami 日本

まつお・しずか（写真手前）／1986年11月24日（24歳）／157cm右利き／パナソニック／大阪府出身／瓜破西中—此花学院高
ないとう・まみ／1986年12月25日（24歳）／172cm／左利き／パナソニック／神奈川県出身／串川中—元石川高—日体大
'09全日本総合優勝、'10デンマークOP2位、'11全英OP3位、シンガポールOP3位

河貞恩（ハ・ジュンユン）&金旼貞（キム・ミンジュン）

Ha Jung Eun & Kim Min Jung 韓国

ハ・ジュンユン（写真左）／1987年4月26日（24歳）／160cm56kg／右利き
キム・ミンジュン／1986年7月29日（25歳）／169cm60kg／右利き
'10世界選手権8強、'11全英OP8強、アジア選手権3位、シンガポールOP2位



大きなラリー展開からチャンスを生み出し、力強い攻撃で相手を追い込む

ドゥアン・アノン・アルンケソーン&クンチャラ・ウォラウイチツアイクル

Duang-Anong Aroonkesorn & Kunchala Voravichitchaikul タイ

ドゥアン（写真右）／1984年2月6日（27歳）／163cm58kg／右利き
クンチャラ／1984年11月14日（26歳）／163cm56kg／右利き
'10韓国OP8強、デンマークOP8強、フランスOP優勝、'11アジア選手権8強



軽快なローテーションから連続攻撃で相手を仕留めるタイ期待のエースダブルス



クレバーな配球&テクニックを持つ松尾と内藤の剛腕サウスポーがマッチした速攻ペア

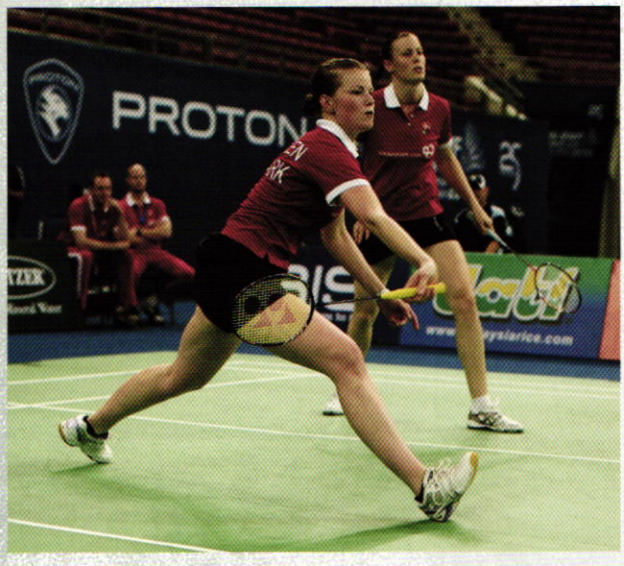


グレシア・ポリー&メイリアナ・ジャウハリ

Greysia Polii & Meiliana Jauhari　インドネシア

ポリー(写真右)／1987年8月11日(24歳)／162cm60kg／右利き
ジャウハリ／1984年5月7日(27歳)／168cm75kg／右利き
'11インドOP3位、シンガポールOP8強、インドネシアOP8強

つねに攻めの姿勢を忘れないインドネシアスタイルで戦う。世界でも珍らしい、女子選手によるジャンプスマッシュの連打は見応えあり



カミラ・リター・ユール&クリスティナ・ペダーセン

Kamilla Rytter Juhl&Christinna Pedersen
デンマーク

リター・ユール(写真奥)／1983年11月23日(27歳)／183cm／左利き
ペダーセン／1986年5月12日(25歳)／178cm／右利き
'10フランスOP3位、香港OP8強、'11インドネシアOP3位

SS優勝はないがコンスタントに上位に食い込む欧州ペア。守備から攻撃の糸口を作る



ペア歴3年ながら名実ともに世界No.1に君臨。張楠の情熱的なアタックと趙蕓蕾の冷静なネット前での攻撃がマッチした

ツァン・ナン　ツァオ・ユンレイ
張楠&趙蕓蕾　Zhang Nan & Zhao Yunlei　中国

ツァン・ナン(写真奥)／1990年3月1日(21歳)／185cm73kg／右利き
ツァオ・ユンレイ／1986年8月25日(25歳)／173cm60kg／右利き
'10全英OP優勝、ヨネックスOPジャパン優勝、'11韓国OP優勝、インドネシアOP優勝、世界選手権優勝

■BWF世界ランキング女子ダブルス (9月2日付)

1	於洋／王暁理	中国
2	末綱聡子／前田美順	日本
3	藤井瑞希／垣岩令佳	日本
4	田卿／趙蕓蕾	中国
5	程文欣／龍毓瑾	チャイニーズタイペイ
6	松尾静香／内藤真実	日本
7	金旼貞／河貞恩	韓国
8	グレシア・ポリー／メイリアナ・ジャウハリ	インドネシア
9	アルンケソン／ウォラウイチツアイクル	タイ
10	ニーナ・ヴィスロワ／ヴァレリア・ソロキナ	ロシア
11	潘楽恩／謝影雪	ホンコンチャイナ
12	ヴィタ・マリサ／ナドゥヤ・メラティ	インドネシア
13	カミラ・リター・ユール／クリスティナ・ペダーセン	デンマーク
14	ペトヤ・ネデルチェワ／アナスタシア・ラッスキーク	ブルガリア／ロシア
15	高橋礼華／松友美佐紀	日本

ヨネックスオープンジャパン—伝説の選手
YONEX OPEN JAPAN *Legendary players*　Women's Doubles 女子ダブルス

ノラ・ペリー&ジェーン・ウェブスター
Nora Perry & Jane Webster／イングランド



[主な成績]
'82ヨネックスOPジャパン優勝
'81全英OP優勝、'80世界選手権優勝

混合ダブルスでは当時世界ランク1位だったペリー(右)が、全英OP、世界選手権を共に制したウェブスターと組んで第1回大会を制覇。前衛のペリーがゲームを作り。後衛のウェブスターのアタックを巧みに導いた。

葛菲&顧俊
Ge Fei & Gu Jun／中国



[主な成績]
'95'97'98'99ヨネックスOPジャパン優勝
'96'97'98'9'00全英OP優勝、'96アトランタ五輪優勝、'00シドニー五輪優勝、'97'99世界選手権優勝

全英OP、世界選手権、オリンピックとタイトルを総なめした最強ダブルス。圧倒的な攻撃力は他を寄せ付けなかった。連覇が途切れた際は悔しさから記者会見を拒否。





アマド・タントゥイ& リリアナ・ナッチル

Ahmad Tantowi & Liliyana Natsir

インドネシア

アーマド(写真左)／1987年7月18日(24歳)
179cm70kg／右利き
リリアナ／1985年9月9日(26歳)
167cm59kg／右利き
'11韓国OP8強、インドOP優勝、シンガポールOP優勝、インドネシアOP2位、世界選手権3位

元世界王者のリリアナが若手のアマドの攻撃を巧みに引き出す



テンポの速いアタックが魅力。プラパカモルのスマッシュ連射は見応えたっぷり

スッケー・プラパカモル& サラリー・トゥントーンカム

Sudket Prapakamol & Saralee Thongthongkam

タイ

プラパカモル(写真右)／1980年2月8日(31歳)
172cm65kg／右利き
トゥントーンカム／1979年6月13日(32歳)
163cm58kg／右利き
'05ヨネックスOPジャパン優勝、'11フランスOP優勝、全英OP2位

チェンフンリン 陳宏麟(チェンウェンシン)& 程文欣

Chen Hung Ling & Cheng Wen Hsing

チャイニーズ・タイペイ

チェン・フンリン(写真前)／1986年2月10日(25歳)／177cm68kg／右利き
チェン・ウェンシン／女子ダブルス参照
'10ヨネックスOPジャパン3位、'11マレーシアOP8強、韓国OP8強、インドネシアOP3位



前衛から程文欣の鋭い判断力で好機を演出

ヨネックスオープンジャパン—伝説の選手

YONEX OPEN JAPAN *Legendary players*

Mixed Doubles **混合ダブルス**

トーマス・ルンド& ペミール・デュポン

Thomas Lund & Pemille Dupont／デンマーク



[主な成績]

'92ヨネックスOPジャパン優勝

'92全英OP優勝

混合ダブルスの名手として名高いルンドは、全英をともに制したデュポンとペアを組みアジア勢と激戦を繰り広げた。

金東文&羅景民

Kim Dong Moon & Ra Kyung Min／韓国



[主な成績]

'98'02ヨネックスOPジャパン優勝

'98'00'02'04全英OP優勝、'99'03世界選手権優勝

世界トーナメント12連続優勝の大記録を持つ2人。YOJでも危なげない戦いぶりで2度優勝を果たしている。引退後、2人は結婚。

■BWF世界ランキング混合ダブルス (9月2日付)

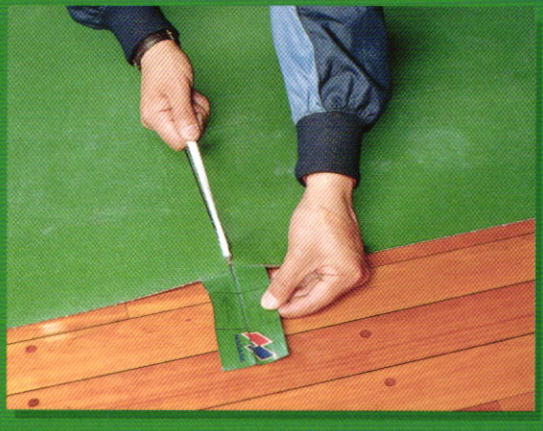
1	張楠／趙蕓蕾	中国
2	陶嘉明／田卿	中国
3	アマド・タントウィ／リリアナ・ナッチル	インドネシア
4	スッケー・プラパカモル／サラリー・トゥントーンカム	タイ
5	ヨアキム・フィッシャー・ニールセン／クリスティナ・ペダーセン	デンマーク
6	陳宏麟／程文欣	チャイニーズタイペイ
7	アヌグリタヤウォン／ウォラウイチツアイクル	タイ
8	マウケル・フックス／バージット・ミシェルズ	ドイツ
9	フラン・クルニアワン／ピア・ゼバディア・バーナデット	インドネシア
10	徐晨／馬晋	中国
11	ネイサン・ロバートソン／ジェニー・ウォールワーク	イングランド
12	ロバート・マシュアック／ナディエズダ・ジエバ	ポーランド
13	トーマス・レイバーン／カミラ・リター・ユール	デンマーク
14	李勝木／簡毓瑾	チャイニーズタイペイ
15	池田信太郎／潮田玲子	日本
27	佐藤翔治／松尾静香	日本



技術の上で、
熱戦は
繰り広げられた。

KENKO SPORT FLOOR MAT

ケンコースポーツ フロアーマット



ファスナージョイント式
インドアポータブルコートマット

お気づきですか ファスナージョイント

実はこのコート、特殊ファスナーでつなぎ合わせているのです。ですから設営、撤去が短時間で作り上げられ取り扱いは簡単。約100㎡の空間スペースがあれば、どこでも理想的なコートがつくれる画期的な移動組み立て式コートマットです。

BWF国際バドミントン連盟公認コート
(財)日本バドミントン協会公認コート

USING EXAMPLE FOR INTERNATIONAL GAMES
Thomas cup & Uber cup・Barcelona Olympic・
The England open・Atlanta Olympic

ナガセケンコー株式会社
www.nagase-kenko.com
〒131-8520 東京都墨田区墨田2-36-10 本社:03(3614)3505
[東京本社] TEL (03) 3614−3501㈹ [大阪営業所] TEL (06) 6531−0783㈹
[九州営業所] TEL (092) 471−5381㈹ [名古屋営業所] TEL (052) 734−8886
[広島営業所] TEL (082) 850−1260〜1261 [札幌営業所] TEL (011) 598−7435

ロンドン五輪への道 —出場資格獲得へのランキングシステムについて

今年5月から始まったロンドン五輪への出場権争い。来年4月29日までの間、世界各国のトップ選手たちが熾烈なオリンピックレースに挑む。ここでは、ロンドン五輪出場の選考方法などについて紹介する。

世界選手権＆
スーパーシリーズ優勝者

■2010年

第7戦●中国マスターズ[9月]

MS	林丹(中国)
WS	汪鑫(中国)
MD	傅海峰／蔡贇(中国)
WD	於洋／王暁理(中国)
XD	胸嘉明／田卿(中国)

第9戦●デンマークオープン[10月]

MS	ヤン・O・ヨルゲンセン(デンマーク)
WS	王儀涵(中国)
MD	ボー／モゲンセン(デンマーク)
WD	末綱聡子／前田美順(日本)
XD	レイバーン／リター・ユール(デンマーク)

第10戦●フレンチオープン[11月]

MS	タウフィック・ヒダヤット(インドネシア)
WS	王儀涵(中国)
MD	ボー／モゲンセン(デンマーク)
WD	アルンケソーン／ウォラウイチツアイクル(タイ)
XD	プラパカモル／トゥントーンカム(タイ)

第11戦●中国オープン[11月]

MS	譚龍(中国)
WS	蒋燕皎(中国)
MD	鄭在成／李龍大(韓国)
WD	成淑／趙蕓蕾(中国)
XD	胸嘉明／田卿(中国)

第12戦●香港オープン[12月]

MS	リー・チョンウェイ(マレーシア)
WS	サイナ・ネワル(インド)
MD	高成炫／柳延星(韓国)
WD	於洋／王暁理(中国)
XD	フィッシャー／ベダーセン(デンマーク)

■2011年

第1戦●マレーシアOP[1月]

MS	リー・チョンウェイ(マレーシア)
WS	王適嫻(中国)
MD	柴飈／郭振東(中国)
WD	田卿／趙蕓蕾(中国)
XD	何漢斌／馬晋(中国)

第2戦●韓国OPプレミア[1月]

MS	林丹(中国)
WS	王儀涵(中国)
MD	鄭在成／李龍大(韓国)
WD	於洋／王暁理(中国)
XD	張楠／趙蕓蕾(中国)

第3戦●全英OP[3月]

MS	リー・チョンウェイ(マレーシア)
WS	王適嫻(中国)
MD	ボー／モゲンセン(デンマーク)
WD	於洋／王暁理(中国)
XD	徐晨／馬晋(中国)

第4戦●インドOP[5月]

MS	リー・チョンウェイ(マレーシア)
WS	ボーンチップ・B(タイ)
MD	平田典靖／橋本博且(日本)
WD	末綱聡子／前田美順(日本)
XD	アマド／ナッチル(インドシア)

第5戦●シンガポールOP[6月]

MS	陳金(中国)
WS	汪鑫(中国)
MD	傅海峰／蔡贇(中国)
WD	田卿／趙蕓蕾(中国)
XD	アマド／ナッチル(インドネシア)

第6戦●インドネシアOPプレミア[6月]

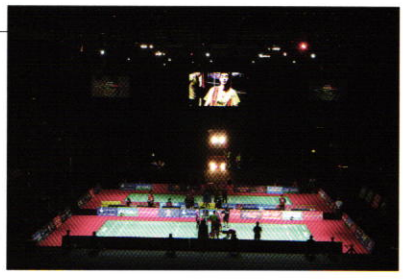
MS	リー・チョンウェイ(マレーシア)
WS	王儀涵(中国)
MD	傅海峰／蔡贇(中国)
WD	於洋／王暁理(中国)
XD	張楠／趙蕓蕾(中国)

●世界選手権[8月]

MS	林丹(中国)
WS	王儀涵(中国)
MD	傅海峰／蔡贇(中国)
WD	於洋／王暁理(中国)
XD	張楠／趙蕓蕾(中国)

ロンドン五輪 LONDN Olympic2012

日程▶ 2012年7月28日～8月5日
会場▶ ロンドン・ウエンブレーアリーナ
種目▶ 男子シングルス（38名以上）
女子シングルス（38名以上）男子ダブルス（16組・32名）
女子ダブルス（16組・32名）混合ダブルス（16組・32名）
※シングルス最大64ドロー



熱戦の会場となるウエンブレーアリーナ。8月には世界選手権を開催

出場大会の選択も大きなカギに

ロンドン五輪に出場するためには、まずBWF（世界バドミントン連盟）が定めた対象大会（表1）に出場して勝つことが必要となる。世界選手権や年12大会あるSS（スーパーシリーズ）などグレードの高い大会で勝てば高ポイントを獲得できるが、SS本戦に確実に出場するには世界ランク32位前後に位置しなければならない。つまり1年間を通して安定した結果を残しSS本戦に出場できる状態でいることが五輪出場への一番の近道だ。ただ、SSは上位に進めば一気にランクアップするが、ライバルたちに連勝するのは困難。グレードは低いが、トップ選手の出場の少ないグランプリゴールドなどに出場し、優勝して世界ランキングを稼ぐという方法もある。グランプリゴールド大会の優勝でSS3位以上に値する。

SSのひとつであるヨネックスOPジャパンも、五輪レースに直結する大事な大会。それだけに世界のトップ選手は全力で優勝を求めるのだ。

表1 Point

高	世界選手権
↑	スーパーシリーズ(SS)
	グランプリゴールド(GPG)
	グランプリ(GP)
	インターナショナルチャレンジ(IC)
	インターナショナルシリーズ(IS)
低	フューチャーシリーズ(FS)

※トマス杯・ユーバー杯、スディルマンカップの団体戦ほか、大陸選手権やBWFが認可した大会もポイント対象

選考方法について

ロンドン五輪の選考方法は2012年5月3日付のBWFランキングに基づき、5種目の出場選手が選出される。そのBWFランキングは11年5月2日から12年4月29日の約1年間で獲得したポイントによって決定され、目安となるボーダーラインはシングルスが38位以内、ダブルスは16位以内で五輪出場が見えてくる。なお、世界ランキング上位のなかで、1カ国からエントリーできるのはシングルスが最大3名、ダブルスが最大2組となっている（表2参照）。

9月2日現在の世界ランキングで日本選手の出場状況をシミュレーションしてみると、男子シングルスの場合、9位の佐々木翔は安全圏に入っているが、20位の田児賢一は16位より下位のため、このままでは日本からは1名しか出場できない。女子ダブルスは末綱／前田（2位）、藤井／垣岩（3位）、松尾／内藤（6位）の3組が8位以内に入っており、日本からは2組が出場できる権利がある。仮に1組が8位より下がってしまっても2組出場は可能となる。

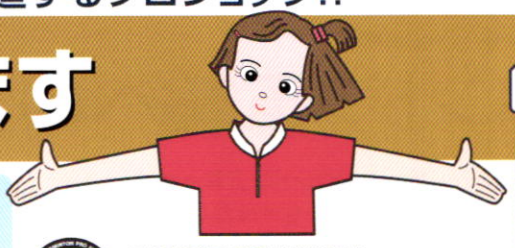
表2 1カ国から複数出場する場合のエントリー限度数

シングルス	1～4位に3名以上がランクインしている場合	3名
	1～16位に2名以上がランクインしている場合	2名
	順位にかかわらず1名以上がランクインしている場合	1名
ダブルス	1～8位に2組以上がランクインしている場合	2組
	順位にかかわらず1組以上がランクインしている場合	1組

※開催国のイギリスからは開催国枠として2名の選出が認められる。また、5つの大陸連盟（アフリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニア、アメリカ）から必ず各種目1名／1組以上（最大2名／1組）が選出されることになっている。ただし、シングルスはBWFにランキングされている選手、ダブルスは50位以内にランクされていることが条件

バドミントンプレーヤーと共に創造するプロショップ!!

信頼と実績でお届けします



日本バドミントン専門店会加盟店

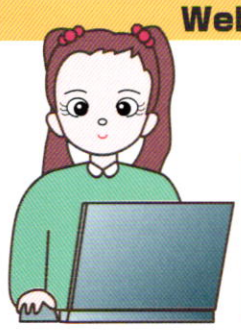
全国53加盟店、総店舗数90店舗、当加盟店はバドミントンに関して熟知しているプロのスタッフやアドバイザーが皆様のご来店をお待ちしております。個人の技術相談、地域の活性化から日本バドミントン界のレベルアップまで日本バドミントン専門店会はお手伝いさせて頂きます。

JAPAN BADMINTON Pro Shop Union



ご注文は最寄りの加盟店・Webショップで!!

Webショップで、ご注文



http://www.badminton-psu.com

上記にアクセスして頂きカタログ又はホームページから商品をお選びください。

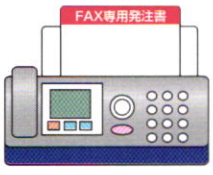
日本バドミントン専門店(株)ネットショップでは常時、加盟店の協力でアウトレット商品・廃盤品等のお買い得商品を掲載しております。
又、新製品の情報・販売も素早く対応しておりますので来店をお待ちしております。

携帯でも注文が出来ます

携帯へURLをメールで送る
QRコードで簡単にアクセスできます。

FAXで、ご注文

カタログ又はホームページから商品を選んで頂き
FAX専用発注書に必要事項をご記入下さい。



最寄りの加盟店、又は日本バドミントン専門店会Webショップ迄、FAXして下さい。

FAX番号

0774-32-1041

お電話でのご注文



お気軽に最寄りの加盟店迄、お問い合わせ下さい。



北海道ブロック

ラケットショップスガワラ札幌店	TEL.011-271-3855 FAX.011-290-1668
ラケットショップスガワラ厚別店	TEL.011-896-8055 FAX.011-896-8077
スポーツプラス	TEL.0155-23-9193 FAX.0155-23-9194
イトースポーツ	TEL.0166-32-1788 FAX.0166-34-8898
クラウン商会	TEL.0143-43-1006 FAX.0143-45-4858

東北ブロック

ラケットショップ ササキ	TEL.0178-45-0028 FAX.0178-45-0180
プロショップ アオモリ	TEL.017-777-0239 FAX.017-777-0243
ラケットハウス OISPO	TEL.0197-25-8823 FAX.0197-25-8864
ラケットショップ 広瀬	TEL.022-265-0778 FAX.022-262-6103
ラケットショップ 広瀬 泉店	TEL & FAX.022-375-2255
ラケットショップ広瀬 盛岡店	TEL.019-638-1161 FAX.019-637-6170
ラケットショップ 山形	TEL.023-643-6238 FAX.023-643-6267
リトルビル	TEL.024-934-5642 FAX.024-934-5740
千秋スポーツ	TEL.018-883-1151 FAX.018-883-1153

関東ブロック

ラケットショップ SWING	TEL & FAX.029-824-0097
ラケットショップ キャピン大宮店	TEL.048-643-5865 FAX.048-645-2295
ラケットショップ キャピン柏店	TEL.04-7166-7756 FAX.04-7164-5489
ラケットハウスグリップ	TEL & FAX.048-644-3115
ピークスポーツ千葉店	TEL & FAX.043-253-1103
ピークスポーツ錦糸店	TEL & FAX.03-3621-0255
ウエンプレー学芸大学本店	TEL.03-3716-2626 FAX.03-3719-3377
ウエンプレー渋谷店	TEL.03-3409-6622 FAX.03-3498-2829
ウエンプレー池袋店	TEL.03-5952-7070 FAX.03-5952-6677
ウエンプレー秋葉原店	TEL.03-3258-2626 FAX.03-3258-2255
ウエンプレー藤沢店	TEL.0466-26-7272 FAX.0466-26-7559
ウエンプレー横浜店	TEL.045-317-5959 FAX.045-317-5958
ウエンプレー新百合ケ丘店	TEL.044-965-4411 FAX.044-965-4224
ミノヤスポーツ	TEL.03-3652-1505 FAX.03-3652-1506
RBTイチムラ	TEL.03-3683-2963 FAX.03-5609-2963
ラケットショップフジ溜分寺店	TEL.042-322-5626 FAX.042-324-9555
ラケットショップフジ吉祥寺店	TEL.0422-22-8844 FAX.0422-21-4617
ラケットショップフジ所沢店	TEL & FAX.042-928-0288
ラケットショップフジ町田店	TEL.042-723-9555 FAX.042-723-8268
ラケットショップフジ八王子店	TEL & FAX.0426-23-5191
ラケットショップフジ川崎店	TEL.044-541-9555 FAX.044-541-9558
ラケットショップフジ静岡店	TEL & FAX.0559-29-9666
ラケットショップフジ川越店	TEL & FAX.049-223-7444
ラケットショップフジ立川店	TEL & FAX.042-527-9554
ラケットショップフジ赤羽店	TEL & FAX.03-3900-9554
ラケットショップフジ海老名店	TEL & FAX.046-234-9444
ラケットショップフジ橋本店	TEL & FAX.042-700-9554
ハローダックスポーツ	TEL.045-711-7988 FAX.045-711-7987
ファミリースポーツ足利店	TEL & FAX.0284-72-7024
ファミリースポーツ太田店	TEL & FAX.0276-22-3822
ファミリースポーツ館林店	TEL & FAX.0276-75-0543
ファミリースポーツ小山店	TEL & FAX.0285-25-5586
ラケットショップ ミッキー	TEL.027-243-4267 FAX.027-221-7660

北信越ブロック

プロショップサイトウスポーツ	TEL.025-223-1959 FAX.025-224-1282
ラケットショップ 富山	TEL & FAX.076-493-2311
スポーツショップ マツダ	TEL.076-278-2848 FAX.076-278-2356
フレンドスポーツ商会	TEL.0776-25-3385 FAX.0776-22-2995
スポーツコバヤシ	TEL.0770-22-0204 FAX.0770-22-7355
マスタカスポーツ 中込店	TEL.0267-62-0707 FAX.0267-63-2169
マスタカスポーツ 佐久平店	TEL.0267-66-7070 FAX.0267-66-7071

東海ブロック

ラケットショップ ノナカ	TEL.052-741-3757 FAX.052-741-3901
オノダスポーツ	TEL.0544-26-3644 FAX.0544-26-0045

近畿ブロック

プロショップシャトル	TEL & FAX.077-568-0585
ラケットショップイチムラ大津	TEL & FAX.077-521-1964
B-WAY太秦店	TEL.075-882-2799 FAX.075-882-2988
B-WAY宇治店	TEL.0774-21-5850 FAX.0774-21-6087
B-WAY長岡京店	TEL.075-951-9955 FAX.075-951-9966
B-WAY桃山店	TEL.075-604-2234 FAX.075-604-2244
B-WAY弁天町店	TEL.06-6599-2000 FAX.06-6599-2001
ラケットショップイチムラ	TEL.075-841-6018 FAX.075-811-1953
エバーラケット	TEL & FAX.072-443-5789

中国ブロック

フタバスポーツ	TEL.0859-44-5171 FAX.0859-44-4852
フタバスポーツ米子店	TEL.0859-38-5171 FAX.0859-38-4852
ラケットショップ ほしの	TEL & FAX.0852-28-5454
トッププロスポーツ岡山店	TEL.086-254-3419 FAX.086-254-3491
トッププロスポーツ西大寺店	TEL & FAX.086-943-9002
杉山スポーツ	TEL.082-263-3939 FAX.082-262-0790
ムネスエスポーツ	TEL.0833-41-0273 FAX.0833-44-2256
西広島スポーツ 本店	TEL.082-271-7211 FAX.082-271-0888
西広島スポーツ 段原店	TEL.082-256-5567 FAX.082-256-5568
西広島スポーツ 外商部	TEL.082-296-5655 FAX.082-296-6665

四国ブロック

イツキスポーツ	TEL & FAX.088-654-0353
プレイヤーズクラブ	TEL.087-835-2033 FAX.087-835-2045
ラケットショップハマナカ松山店	TEL.089-933-2366 FAX.089-932-2241
ラケットショップハマナカ新居浜店	TEL & FAX.0897-34-9191
スポーツショップフットワーク	TEL.088-832-8939 FAX.088-832-8940

九州ブロック

スポーツ あいしん	TEL.090-3417-2162FAX.092-328-3305
運 動 具 屋	TEL.093-452-0111 FAX.093-452-0112
SSSスリーエス	TEL & FAX.092-671-1124
体育堂ラケットワークスWaiWai	TEL & FAX.096-326-8132
スポーツショップバード	TEL & FAX.099-226-8778
ラケットショッププロエース鹿児島本店	TEL & FAX.099-226-6362
ラケットショッププロエース福岡店	TEL & FAX.092-852-7250
ラケットショッププロエース長崎店	TEL & FAX.095-832-8069
グリーンスポーツ	TEL.0956-31-0373 FAX.0956-31-7288
片岡スポーツ	TEL & FAX.0957-54-3725

List Of Competitors

出場予定選手

MEN 男子

CHINA 中国

CHEN Jin	チェン・ジン	陳金	MS
CHEN Long	チェン・ロン	譚龍	MS
DU Pengyu	ドゥ・ペンユー	杜鵬宇	MS
LIN Dan	リン・ダン	林丹	MS
WANG Zhengming	ワン・ツェンミン	王睜茗	MS
CAI Yun	カイ・ユン	蔡贇	MD
FU Haifeng	フ・ハイファン	傅海峰	MD
CHAI Biao	チャイ・ビャオ	柴鑣	MD
ZHANG Nan	ツァン・ナン	張楠	MD, XD
GUO Zhendong	グオ・ツェンドン	郭振東	MD
HONG Wei	ホン・ウェイ	洪煒	MD, XD
SHEN Ye	シェン・イー	沈燁	MD
LIU Xiaolong	リュウ・シャオロン	劉小龍	MD
QIU Zihan	チゥ・ジーハン	邱子瀚	MD
XU Chen	シュー・チェン	徐晨	XD
HE Han Bin	ヘ・ハンビン	何漢斌	XD

DENMARK デンマーク

Peter Hoegh GADE	ピーター・ゲード	MS
Jan O. JORGENSEN	ヤン・ヨルゲンセン	MS
Hans-Kristian VITTINGHUS	ハンス・クリスチャン・ヴィッティンフス	MS
Viktor AXELSEN	ヴィクター・アクセルセン	MS
Mathias BOE	マシアス・ボー	MD
Carsten MORGENSEN	カールステン・モゲンセン	MD
Jonas RASMUSSEN	ヨナス・ラスムセン	MD
Mads CONRAD-PETERSEN	マッズ・コンラド・ピーターセン	MD
Rasmus BONDE	ラスムス・ボンド	MD
Anders KRISTIANSEN	アンダース・クリスチャンセン	MD
Thomas LAYBOURN	トーマス・レイバーン	XD
Joachim FISCHER NIELSEN	ヨアキム・フィッシャー・ニールセン	XD

ENGLAND イングランド

Rajiv OUSEPH	ラジブ・オーセフ	MS
Chris ADCOCK	クリス・アドコック	MD, XD
Andrew ELLIS	アンドリュー・エリス	MD
Nathan ROBERTSON	ネイサン・ロバートソン	XD

GERMANY ドイツ

Mark ZWIEBLER	マーク・ツィーブラー	MS
Ingo KINDERVATER	インゴ・キンダーバター	MD
Johannes SCHOETTLER	ヨハネス・シュートラー	MD
Michael FUCHS	マウケル・フックス	XD

HONG KONG ホンコンチャイナ

CHAN Yan Kit	チャン・ヤンキット	陳仁傑	MS
WONG Wing Ki	ワン・ウィンキ	黃永棋	MS
HU Yun	フー・ユン	胡賡	MS
WONG Wai Hong	ワン・ワイホン	王偉康	XD

INDIA インド

Kashyap PARUPALLI	カシャプ・パルパリ	MS
Ajay JAYARAM	アジャイ・ジャヤラム	MS
Anand PAWAR	アナンド・パワール	MS
Gurusaidatt R.M.V.	グルサイダット・R.M.V.	MS
Rupesh K. T. KUMAR	ルペシュ・K・T・クマール	MD
Sanave THOMAS	サナヴェ・トーマス	MD
Diju V.	ディジュ・V.	XD

INDONESIA インドネシア

Sony Dwi KUNCORO	ソニ・ドゥイ・クンチョロ	MS
Dionysius Hayom RUMBAKA	ディオニシウス・ハヨム・ルンバカ	MS
Taufik HIDAYAT	タウフィック・ヒダヤット	MS
Simon SANTOSO	シモン・サントソ	MS
Tommy SUGIARTO	トミー・スギアルト	MS
Markis KIDO	マルキス・キドー	MD
Hendra SETIAWAN	ヘンドラ・セティアワン	MD
Alvent Yulianto CHANDRA	アルベン・ユリアント・チャンドラ	MD
Hendra Aprida GUNAWAN	ヘンドラ・アプリダ・グナワン	MD
Bona SEPTANO	ボナ・セプタノ	MD
Mohammad AHSAN	モハンマド・アーサン	MD
Ryan Agung SAPUTRA	リャン・アグン・サプトラ	MD
Angga PRATAMA	アンガ・プラタマ	MD
Muhammad RIJAL	ムハンマド・リジャル	XD
Fran KURNIAWAN	フラン・クルニアワン	XD
Tantowi AHMAD	タントウィ・アマド	XD
Nova WIDIANTO	ノバ・ウィディアント	XD

KOREA 韓国

LEE Hyun Il	イ・ヒョンイル	李炫一	MS
SHON Wan Ho	ソン・ワンホ	孫完虎	MS
LEE Yong Dae	イ・ヨンデ	李龍大	MD, XD
KO Sung Hyun	コー・スンヒュン	高成炫	MD, XD
JUNG Jae Sung	ジュン・ジェサン	鄭在成	MD
YOO Yeon Seong	ユー・ヨンソン	柳延星	MD, XD
CHO Gun Woo	チョー・ガンウー	曺建雨	MD
KWON Yi Goo	クォン・イーグー	權利九	MD
SHIN Baek Cheol	シン・ベックチョオ	申白哲	MD, XD
KIM Ki Jung	キム・キジュン	金基正	MD, XD

MACAU マカオ

LEONG Kin Fai	リョン・キンファイ	梁建輝	MS, MD, XD
LAM Chi Man	ラム・チーマン	林志文	MS, MD, XD

MALAYSIA マレーシア

LEE Chong Wei	リー・チョンウェイ	MS
KOO Kien Keat	クー・ケンケット	MD
TAN Boon Heong	タン・ブンホン	MD
LIM Khim Wah	リム・キムワー	MD
GOH Wei Shem	ゴー・ウェイシェム	MD

NETHERLAND オランダ

Koen RIDDER	コーエン・リダー	MD
Ruud BOSCH	ルード・ボッシュ	MD

POLAND ポーランド

Robert MATEUSIAK	ロバート・マシュアック	XD

RUSSIA ロシア

Alexander NIKOLAENKO	アレクサンダー・ニコラエンコ	MD, XD

SCOTLAND スコットランド

Robert BLAIR	ロバート・ブレア	XD

THAILAND タイ

Boonsak PONSANA	ブーンサック・ポンサナ	MS
Suppanyu AVIHINGSANON	スッパンユ・アヴィヒングサノン	MS
Poodchalat PISIT	プードチャラット・ピシット	MS, XD
Sudket PRAPAKAMOL	スッケー・プラパカモル	MD, XD
Songphon ANUGRITAYAWON	ソンフォン・アヌグリタヤウォン	MD, XD
Bodin ISARA	ボディン・イサラ	MD
Maneepong JONGJIT	マニーポン・ジョングジット	MD, XD
Patipat CHALARDCHALEAM	パティパット・チャラドチャレアム	MD
Nipitphon PAUANGPUAPECH	ニピットフォン・パウングアプペシュ	MD, XD

CHINESE TAIPEI チャイニーズ・タイペイ

CHOU Tien Chen	チョウ・ティエンチェン	周天成	MS
HSIEH Hsuan Yi	シェー・シュアンイ	謝軒儀	MS
FANG Chieh Min	ファン・チャーミン	方介民	MD, XD
LEE Sheng Mu	リー・シェンム	李勝木	MD, XD
CHEN Hung Ling	チェン・フンリン	陳宏麟	MD, XD
LIN Yu Lang	リン・ユーラン	林祐瑯	MD, XD
WU Chun Wei	ウー・チュンウェイ	呉俊緯	MD
LIAO Min Chun	リャオ・ミンチュン	廖敏竣	MD, XD

USA アメリカ

Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	MD
Howard BACH	ハワード・バック	MD

VIETNAM ベトナム

NGUYEN Tien Minh	グエン・ティエンミン	MS

JAPAN 日本

佐々木 翔	SASAKI Sho	トナミ運輸	MS
田児 賢一	TAGO Kenichi	NTT東日本	MS
山田 和司	YAMADA Kazushi	日本ユニシス	MS
上田 拓馬	UEDA Takuma	日本ユニシス	MS
園田 啓悟	SONODA Keigo	トナミ運輸	MS
坂井 一将	SAKAI Kazumasa	日本ユニシス	MS
平田 典靖	HIRATA Noriyasu	トナミ運輸	MD, XD
橋本 博且	HASHIMOTO Hirokatsu	トナミ運輸	MD, XD
佐藤 翔治	SATO Shoji	NTT東日本	MD, XD
川前 直樹	KAWAMAE Naoki	NTT東日本	MD
早川 賢一	HAYAKAWA Kenichi	日本ユニシス	MD, XD
遠藤 大由	ENDO Hiroyuki	日本ユニシス	MD
廣部 好輝	HIROBE Yoshiteru	日本ユニシス	MD
数野 健太	KAZUNO Kenta	日本ユニシス	MD, XD
池田信太郎	IKEDA Shintaro	日本ユニシス	XD
佐藤 黎	SATO Rei	日本体育大学3年	MS
早崎 修平	HAYASAKI Shuhei	日立情報通信エンジニアリング	MS
銭谷 翔	ZENIYA Sho	トナミ運輸	MS, MD
和田 周	WADA Shu	日本体育大学3年	MS, MD
桃田 賢斗	MOMOTA Kento	富岡高校2年	MS, MD
渡邊 達哉	WATANABE Tatsuya	日本体育大学2年	MS, MD
大越 泉	OHKOSHI Izumi	NTT東日本	MS, MD
竹内 宏気	TAKEUCHI Hiroki	NTT東日本	MS, MD
佐伯 祐行	SAEKI Hiroyuki	日本ユニシス	MD, XD
埒畑 亮太	TAOHATA Ryota	日本ユニシス	MD
星野 翔平	HOSHINO Shohei	日本体育大学2年	MD, XD
小林 晃	KOBAYASHI Akira	日本体育大学2年	MD, XD
嘉村 健士	KAMURA Takeshi	早稲田大学4年	MD

WOMEN 女子

BULGARIA ブルガリア

Petya NEDELCHEVA	ペトヤ・ネデルチェワ	WS

CHINA 中国

WANG Yi Han	ワン・イーハン	王儀涵	WS
WANG Xin	ワン・シン	汪鑫	WS
WANG Shixian	ワン・シーシャン	王適嫻	WS
LIU Xin	リュウ・シン	劉鑫	WS
TIAN Qing	ティアン・チン	田卿	WD
ZHAO Yunlei	ツァオ・ユンレイ	趙蕓蕾	WD, XD
YU Yang	ユ・ヤン	於洋	WD
WANG Xiaoli	ワン・シャオリー	王暁理	WD
CHENG Shu	チェン・シュー	成淑	WD
PAN Pan	パン・パン	潘攀	WD, XD
BAO Yixin	バオ・イーシン	包宜鑫	WD, XD
ZHONG Qianxin	ツォン・チャンシン	鍾倩欣	WD
MA Jin	マー・ジン	馬晋	XD

DENMARK デンマーク

Tine BAUN	ティーネ・バウン	WS
Kamilla RYTTER JUHL	カミラ・リター・ユール	WD, XD
Christinna PEDERSEN	クリスティナ・ペダーセン	WD, XD

ENGLAND イングランド

Jenny WALLWORK	ジェニー・ウォールワーク	WD, XD
Gabrielle WHITE	ガブリエル・ホワイト	WD, XD

FRANCE フランス

PI Hong Yan	ピ・ホンヤン	皮紅艶	WS

GERMANY ドイツ

Juliane SCHENK	ユリアン・シェンク	WS
Birgit MICHELS	バージット・ミシェルズ	XD

HONG KONG ホンコンチャイナ

YIP Pui Yin	イップ・プイイン	葉佩延	WS
CHAN Tsz Ka	チャン・ツーカ	陳祉嘉	WS
TSE Ying Suet	ツェ・インスェット	謝影雪	WS, WD
POON Lok Yan	プーン・ロックヤン	潘楽恩	WS, WD
CHAU Hoi Wah	チョウ・ホイワー	周凱華	XD

INDIA インド

Saina NEHWAL	サイナ・ネワル	WS
Arundhati PANTAWANE	アルンハティ・パンタワン	WS
Thulasi P.C.	スンラシ・P.C.	WS
Jwala GUTTA	ジュワラ・グッタ	WD, XD
Ashwini PONNAPPA	アシュウィニ・ポンナッパ	WD

INDONESIA インドネシア

Adriyanti FIRDASARI	アドリアンティ・フィルダサリ	WS
Maria Febe KUSUMASTUTI	マリア・フェベ・クスマストゥティ	WS
Aprilia YUSWANDARI	アプリリア・ユスワンダリ	WS
Lindaweni FANETRI	リンダウェニ・ファネトリ	WS
Greysia POLII	グレシア・ポリー	WD
Meiliana JAUHARI	メイリアナ・ジャウハリ	WD
Nitya Krishinda MAHESWARI	ニトヤ・クリシンダ・マヘスワリ	WD
Anneke Feinya AGUSTINE	アンネケ・フェイニャ・アグスティネ	WD
Nadya MELATI	ナドゥヤ・メラティ	WD
Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	WD, XD
Debby SUSANTO	デビー・スサント	XD
Pia Zebadiah BERNADET	ピア・ゼバディア・バーナデット	XD
Liliyana NATSIR	リリアナ・ナッチル	XD

KOREA 韓国

BAE Youn Joo	ペ・ヨンジュ	裵延珠	WS
SUNG Ji Hyun	スン・ジヒュン	成池鉉	WS
KIM Moon Hi	キム・ムンヒ	金紋希	WS
HA Jung Eun	ハ・ジュンユン	河貞恩	WD, XD
KIM Min Jung	キム・ミンジュン	金旻貞	WD
JANG Ye Na	ジャン・イェナ	張藝娜	WD, XD
EOM Hye Won	イム・ヘウォン	嚴惠媛	WD, XD
KIM Ha Na	キム・ハナ	金ハナ	WD, XD
JUNG Kyung Eun	ジュン・キュンユン	鄭景銀	WD, XD

MACAU マカオ

LEI Sao Chi	レイ・サオチー	李秀芝	WS, WD, XD
MAK Ka Lei	マック・カレイ	麥嘉莉	WS, WD, XD
WANG Rong	ワン・ロン	王蓉	WD
ZHANG Zhibo	ツァン・ツィーボ	張之博	WD

NETHERLAND オランダ

YAO Jie	ヤオ・ジエ	WS
Paulien VAN DOOREMALEN	パウリン・ヴァン・ドールマレン	WD
Lotte JONATHANS	ロッテ・ジョナサンズ	WD

POLAND ポーランド

Nadiezda ZIEBA	ナディエズダ・ジエバ	XD

RUSSIA ロシア

Nina VISLOVA	ニーナ・ヴィスロワ	WD, XD
Valeria SOROKINA	ヴァレリア・ソロキナ	WD, XD

SPAIN スペイン

Carolina MARIN	キャロリナ・マリン	WS

SCOTLAND スコットランド

Imogen BANKIER	イモジャン・バンキアー	XD

SINGAPORE シンガポール

XING Aiying	シン・アイーン	邢愛英	WS, WD
FU Mingtian	フー・ミンティアン	傅明天	WS, WD
GU Juan	グー・ジュアン	顧娟	WS

THAILAND タイ

Salakjit PONSANA	サラキット・ポンサナ	WS
Porntip BURANAPRASERTSUK	ポルンティップ・ブラナプラサットスク	WS
Inthanon RATCHANOK	インタノン・ラトチャノック	WS
Sapsiree TAERATTANACHAI	サプシリー・タエラッタナチャイ	WS, WD
Kunchala VORAVICHITCHAIKUL	クンチャラ・ウォラウイチツアイクル	WD, XD
Duang-Anong AROONKESORN	ドゥアン・アノン・アルンケソーン	WD
Saralee THOUNGTHONGKAM	サラリー・トゥントーンカム	WD, XD
Narissapat LAM	ナリサパット・ラム	WD, XD
Savitree AMITRAPAI	サヴィトゥリー・アミトラパイ	WD, XD
Nessara SOMSRI	ネサラ・ソムスリ	WD, XD

CHINESE TAIPEI チャイニーズ・タイペイ

CHENG Shao Chieh	チェン・シャオチェー	鄭韶婕	WS
PAI Hsiao Ma	パイ・シャオマ	白曉馬	WS, WD
TAI Tzu Ying	タイ・ツーイン	戴資穎	WS
CHEN Hsiao Huan	チェン・シャオファン	陳暁歓	WS, WD, XD
CHENG Wen Hsing	チェン・ウェンシン	程文欣	WD, XD
CHIEN Yu Chin	チェン・ユーチン	簡毓瑾	WD, XD
WANG Pei Rong	ワン・ペイロン	王沛蓉	WD, XD
HSIEH Pei Chen	シェー・ペイチェン	謝沛蓁	WD, XD
CHANG Hsin Yun	チャン・シンユン	張馨云	WD
LAI Chia Wen	ライ・チャーウェン	賴佳玟	WD

JAPAN 日本

廣瀬栄理子	HIROSE Eriko	パナソニック	WS
佐藤 冴香	SATO Sayaka	日本体育大学3年	WS
後藤 愛	GOTO Ai	NTT東日本	WS
栗原 文音	KURIHARA Ayane	日本ユニシス	WS
今別府香里	IMABEPPU Kaori	パナソニック	WS
三谷美菜津	MITANI Minatsu	NTT東日本	WS
末綱 聡子	SUETSUNA Satoko	ルネサス	WD
前田 美順	MAEDA Miyuki	ルネサス	WD, XD
藤井 瑞希	FUJII Mizuki	ルネサス	WD, XD
垣岩 令佳	KAKIIWA Reika	ルネサス	WD
松尾 静香	MATSUO Shizuka	パナソニック	WD, XD
内藤 真実	NAITO Mami	パナソニック	WD
高橋 礼華	TAKAHASHI Ayaka	日本ユニシス	WD, XD
松友美佐紀	MATSUTOMO Misaki	日本ユニシス	WD, XD
潮田 玲子	SHIOTA Reiko	日本ユニシス	XD
打田しづか	UCHIDA Shizuka	日本ユニシス	WS
奥原 希望	OKUHARA Nozomi	大宮東高校2年	WS, XD
関谷 真由	SEKIYA Mayu	パナソニック	WS
樽野 恵	TARUNO Megumi	NTT東日本	WS, WD
野尻野匡世	NOJIRINO Masayo	日本ユニシス	WS
髙橋沙也加	TAKAHASHI Sayaka	パナソニック	WS
岡 ひとみ	OKA Hitomi	ルネサス	WS
福万 尚子	FUKUMAN Naoko	パナソニック	WS, WD
與猶くるみ	YONAO Kurumi	パナソニック	WS, WD
田村 千秋	TAMURA Chiaki	ヨネックス	WS, WD
三木佑里子	MIKI Yuriko	パナソニック	WD
米元 小春	YONEMOTO Koharu	パナソニック	WD
田中 志穂	TANAKA Shiho	法政大学1年	WD, XD
市丸 美里	ICHIMARU Miri	法政大学1年	WD, XD
板垣 有紀	ITAGAKI Yuki	ヨネックス	WD



対応力「3I」

inspiration
インスピレーション
ひらめき

imagination
イマジネーション
イメージ

innovation
イノベーション
革新

頑張る人が大好きです。
応援します、頑張る人！

http://www.rsfuji.co.jp/

日本バドミントン専門店会

●日本バドミントン専門店会に加盟しているショップは、安心してお買物が出来るしるしです。バドミントンに関することなら、どんなことでもお気軽にお尋ね下さい。バドミントンのエキスパートがいるお店です。当店は日本バドミントン専門店会加盟店です。

●ラケット保険
当店独自の保険です。ラケットの全損·折損を保証させて頂きます。
これで安心!おもいきりプレーに専念して下さい。

●新グリーンカード
当店でお買物現金¥500ごと(クレジット使用は¥1,000)にスタンプを押印させて頂くカードです。スタンプ30個以上で商品券として自由に使用できます。最大換金率6.25%！

大会、応援します。
●当店は、各地区のどんな小さな大会でも応援します。なんでもお気軽にご相談下さい。スタッフ一同お待ちしております。

●クラブ単位での訪問販売とレッスン・コーチも行っております。詳しくは各店又はホームページでおたずね下さい。

プレイ仲間が集う場所 BADMINTON Pro Shop

RACKET SHOP FUJI

モバイルサイトはこちら
メール会員募集中

■国分寺店■ TEL 042-322-5626
至立川 国分寺 至新宿 みずほ銀行

■吉祥寺店■ TEL 0422-22-8844
東急 マクドナルド ロヂャース 蕎屋 三菱東京UFJ銀行 パルコ 吉祥寺駅 至新宿 至渋谷 至立川

■所沢店■ TEL 04-2928-0288
至西武球場 至東村山 ダイエー 西友 所沢 至新宿 至本川越

■町田店■ TEL 042-723-9555
町田 至新宿 郵便局 女書 町田街道 セブンイレブン 至東神奈川 ラクラス

■八王子店■ TEL 042-623-5191
至高尾 八王子 至吉祥寺 あゆみ書房 至富士森公園 サンホテル

■川崎店■ TEL 044-541-9555
ラゾーナ川崎プラザ JR川崎駅 川崎西口大通り ミューザ川崎

■静岡店■ TEL 055-929-9666
市民体育館 イトーヨーカドー マキヤ キラメッセ沼津 至富士 沼津駅 至三島

■川越店■ TEL 049-223-7444
セブンイレブン モディ 至狭山 アトレ 三菱電機 至大宮

■立川店■ TEL 042-527-9554
至高尾 立川 至三鷹 南口 JR中央線 青梅線 クレスト ホテル たもかわみなみ 多摩都市モノレール 職安

■赤羽店■ TEL 03-3900-9554
至大宮 赤羽駅 西口 至新宿 JR京浜東北線 ビビオ イトーヨーカドー 赤羽台団地

■海老名店■ TEL 046-234-9444
セブンイレブン 国道246号 STEP 中央公園

■橋本店■ TEL 042-700-9554
橋本SATY サイゼリア ローソン 北口 ミウィ橋本 至多摩境 JR横浜線 橋本 至八王子 至町田

OFFICIALS

ヨネックスオープンジャパン2011オフィシャル

大会役員

大会会長 PRESIDENT	綿貫民輔	Tamisuke Watanuki			
大会名誉顧問	石原慎太郎	Shintaro Ishihara			
	米山宏作	Kosaku Yoneyama			
大会副会長 VICE PRESIDENTS	三宅祐司	Yuji Miyake			
	籾井勝人	Katsuto Momii			
	浅岡 武	Takeshi Asaoka			
	米山 勉	Ben Yoneyama			
大会顧問	沓掛哲男	森 喜朗	関谷勝嗣	森田 一	久間章生
	林 芳正	市川一朗	伊藤基記	加藤三夫	宮澤宏之
	村上忠治	八木橋伸夫	佐藤 保	塩川 晴	橋本角市
	権田正一	丸山嘉久	植田博宣	原二三雄	秋元信一
	清水規矩雄	平田登志郎	青木昭二	池田昌道	毛利清志
	内多小五郎	小宮淳宏	吹田修一	牧野 武	村山幸雄
	戸田清一	濱中 誠	福岡幸一	伊豆 晃	岡本武利
	本郷節生	今北基夫	菊地利明	野村嘉明	渡辺成雄
	里見光徳	山根 怜	佐藤芳朗	竹林克彦	油井秀男
	木村 寛	遠井稔男	宮永武司	根岸知子	實吉幹夫
	岡村英男	川島一郎	富田善明	板垣隆房	星野忠男
	藤本 滋				
大会参与	藤原和文	岩崎昭郎	加藤寛治	原 紀征	鈴木勝之
	藤原 航	地崎昭宇	組村 明	福井正康	杉山郁郎
	前田耕作	三須得司	荻田 実	関 敏夫	小林健二
	太田耕貴	森谷喜久男	栗田光憲	菅原幸雄	水上英二
大会委員長 CHAIRMAN	関根義雄	Yoshio Sekine			
大会副委員長 VICE CHAIRMANS	千葉健夫	Tateo Chiba			
大会委員	阿部秀夫	今井茂満	河崎正紀	河野幸男	神戸 照
	木戸純一	佐竹養一	銭谷欽治	高橋英夫	中山紀子
	西村健二	能登則男	野村安忠	村元英美	山田順一郎
	浅岡 武	上原信彦	福田 武	鈴木利雄	今来サキ
	殿川宣勝	兒嶋 昇	宮路秀憲	辻澤康弘	石森敏男
	池田公子	亀山和由	山中達雄	鏑木興司	横山 登
	笹林義春	保田秀行	彌永正信	島 朝樹	増田英男
	山城譲治	白鳥 卓	落合久夫	佐藤 隆	森 麗子
	関口順久	澤井秀和	町田昌敏		

世界バドミントン連盟 BADMINTON WORLD FEDERATION

PRESIDENT	Dr.Kang Young Joong	
IMMEDIATE PAST-PRESIDENT	Korn Thapparansi	
DEPUTY PRESIDENT	Paisan Rangsikitpho	
VICE PRESIDENTS	Torsten Berg Gustavo Fernando Salazar Delgado Nigel Skelt Gregory Verpoorten	
COUNCIL MEMBERS	Paul Kuruzo Peter Gacheru Etienne Thobois Ranjit de Silva Mehdi Karbasian Nora Perry Wayne Somers Justian Suhandinata Wu Jun-Yan Kaveh Mehrabi	David Cabello Lim Teong Kiat Lawrence Chew Raj Gaya Li Lingwei Sergey Sharkray Surasak Songvarakulpan Peter Tarcala Junichiro Yamada

大会運営委員 TOURNAMENT COMMITTIEES

運営委員長 CHAIRMAN	関根義雄	Yoshio Sekine
運営副委員長 VICE-CHAIRMAN	千葉健夫	Tateo Chiba
	林田草樹	Kusaki Hayashida
	高橋英夫	Hideo Takahashi
委員 STAFF MEMBERS	今井茂満	Sigemitsu Imai
	銭谷欽治	Kinji Zeniya
	山田順一郎	Junichiro Yamada
	丹藤勇一	Yuichi Tando
	柴崎雅司	Masashi Shibazaki
	阿部浩志	Hiroshi Abe
	金子幸也	Yukinari Kaneko
	兼坂省一	Shoichi Kanesaka
	善辰一朗	Shinichiro Zen
	軍司和久	Kazuhisa Gunji
レフェリー REFEREE	Isabelle Jobard	
ディプティレフェリー DEPUTY REFEREE	Gretha Prinsloo	
	高橋英夫	Hideo Takahashi
アンパイア&ラインジャッジコーディネーター UMPIRE&LINE JUDGE COORDINATOR	宮路秀憲	Hidenori Miyaji
アシスタントレフェリー ASSISTANT REFEREE	三王知治	Tomoharu Sano
ドーピングコミティ DOPING COMMITTEES	小林聰介	Sosuke Kobayashi
	高田 寿	Hitoshi Takada
	渡辺啓太	Keita Watanabe
プレイヤーズ セクレタリー PLAYERS' SECRETARY	兒嶋 昇	Noboru Kojima
	渡会菜々	Nana Watarai
	西 祐子	Yuko Nishi
スポンサー窓口 SPONSORS' REPRESENTATIVES	阿部浩志	Hiroshi Abe
	金子幸也	Yukinari Kaneko
	兼坂省一	Shoichi Kanesaka
	中村英之	Hideyuki Nakamura
	大森一正	Kazumasa Ohmori
	善辰一朗	Shinichiro Zen
	軍司和久	Kazuhisa Gunji

実行委員会競技役員

総括	千葉健夫					
副総括	今来サキ					
総務担当	辻澤康弘	石森敏男	池田公子	亀山和由	山中達雄	鏑木興司
	白鳥卓	楯木莉紗				
総務	大川孝允	木村昭義	山口高司	安藤武夫	柳 敬三	麻生了輔
	奥村 優	川杉通昌	橋口 誠	霞木博保	加藤 孝	善如寺日雄
	土田証雄	大塚敏之	遠田マチ子	西條一郎	河内津治	山崎 孝
	福島美記子	松本竜典	木村笑美子	松村美智子	竹内ヒロ子	森 麗子
	森本浩子	塚田敦子	伊藤ちはる	桑山栄子	早川るみ子	神野裕子
	高田知子	田中トミ	高橋公子	佐野玲子	大関萬里子	小林清美
	小庭洋子	岡村敦子	中澤悦子	高橋史枝	小松崎喜美枝	松尾和子
	黒田智子	原弘子	吉村千秋	木原秀子	塚本敬子	小堂順子
	関根山幸子	余助美津	西村はる恵	中村恒子	鈴木真知子	鶴田雅子
	菅家佐智子	本多修治	福士みどり	阿由葉純代		
練習会場	中川明文	斎藤晶子	磯見美和	神千恵美	高倉町子	山田良枝
	佐藤佳津美	玉井紀子	武重由美	岩崎修二		
財務	佐藤隆	大平ヒサ				
広報担当	殿川宣勝	彌永正信	山城譲治			
広報	浅見 勇	近藤繁	三角清一	岩崎良彦	金丸清昭	山本洋彦
	有村英泰	鮑智行				
競技担当	横山登	笹林義春				
競技	近岡 昭	稲村 昇	山田ミヨ子	小川裕介	若林孝子	目黒仁一
	吉田 繁	小林三男	多田晃一	中村大喜	江連秀敏	加藤浩之
	仲川敏幸	望月清治郎	遠山由貴江	山内 勉	坂本智佳子	小沼勇次
	小川正代	山崎清一	桜田豊治	内村 実	宇田川孝	久保田剛
	鎌 栄三	森本章稔	佐々木祐太	宮内友貴	田村浩之	山口育玖
	八幡省吾	小久保篤志	小林由夏子	青天目将伍	卯木彩乃	関根みのり
	原島紗香	宮住美由紀	猪又良太			
式典担当	増田英男	落合久夫	島 朝樹			
選手担当	兒嶋昇	中村憲尚	村田千尋	大友 累	降旗恵美	テキ奇偉
	海永光洋	鈴木俊幸	中根康介	衣髪恭介	宇仁あさひ	荻本 萌
	加藤太治	梶尾知信	金丸順子	神尾 論	木下慶一郎	渡部和玄
	落合太一	佐藤由希子				
放送	伊藤奈穂子	高野直子	高野聡子	高井あおい		
審判担当	宮路秀憲	保田秀行				
国際審判	Go Tzy Yang	遠井 努	小島博幸	上田敏之		
	上野 誠	Li Sen Tsang Patriok	伊藤寿美子	岩下真志郎		
国際線審	上假屋淳一	西川 浩	百野郁子			
審判員	沼田昭子	秋元みや子	樋地正秀	原 正人	中野正一	青木康敏
	千葉 毅	前川 正	岩崎和実	関場 武	鈴木英昭	木村優一
	野村チエ子	小守一枝	山田律子	高木 実	日野秀子	菅野英美
	益頭和雄	岡田時彦	原山 聡	荒谷勝造	鈴木 忍	大塚真弓
	矢野節子	榎沢小夜子	桐生義宏	桐生里美	原山真理子	野津山恵美子
	家財留美	赤川正子	永田紀代枝	藤崎靖子	村田 香	草刈 学
	吉原さと子	横山朱美	鈴木和子	大原律子	磯嶋野美幸	高橋恭子
	山田裕子	猿田多美子	中川敬子	松本由実	飯野洋子	杉本宏子
	福田弥生	矢野かよ	井上つや子	竹田小百合	大澤恵子	西山智音
	横山由美子	鞠本知子	稲毛美幸	岡島ちり子	五十畑利枝	四分一幸子
	安藤明美	伊草幸子	渡邊春男	米山千鶴子	関口雅治	浅倉光隆
	太田四郎	関 昭	工藤弘明	塚原美津子	依田文宏	菊池とよ子
	清水純子	平田京子	香取由美子	藤田信子	秋林江梨子	木谷雅子
	小林和代	池尻厚子	江澤曜子	萩原勝一	星 和美	新井雄一
	岡部啓子	平井牧子	鳥越俊秀	西山文子	菅野輝美	高増道子
	福田聡子	勝井真理	安藤 功	瀬沼 誠	楯 篤志	加瀬 恵
	宮脇 香	中村三男	伊藤成子	大島俊也	横田和長	山口律子
	中島恵美	角田 彰	慶野 誠	大河原淳一	矢畑雅史	中川淳子
	大嶋峰子	山田世音	土谷玲子	那須洋子		
救護	セーボレー悦子	野村 愛				

ヨネックスオープンジャパン歴代優勝者

1982 ▸ 兵庫県神戸市

MS	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストロム	スウェーデン
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Kartono	カルトノ	インドネシア
	R.Heryanto	ルディ・ヘリヤント	
WD	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド
	Jane WEBSTER	ジェーン・ウェブスター	
XD	Michael TREDGETT	マイケル・トレジェット	イングランド
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	

1983 ▸ 神奈川県横浜市

MS	HAN Jian	韓　健	中国
WS	HAN Aiping	韓愛平	中国
MD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストロム	スウェーデン
	Stefan KARLSSON	ステファン・カールソン	
WD	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	イングランド
	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	
XD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストローム	スウェーデン
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド

1984 ▸ 東京都

MS	Morten FROST	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	ZHENG Yuli	鄭昱鯉	中国
MD	Thomas KIHLSTROM	トーマス・キールストロム	スウェーデン
	Stefan KARLSSON	ステファン・カールソン	
WD	Karen BECKMAN	カレン・ベックマン	イングランド
	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	
XD	Martin DEW	マーチン・デュー	イングランド
	Gillian GILKS	ジリアン・ギルクス	

1985 ▸ 東京都・群馬県桐生市

MS	ZHAO Jianhua	趙剣華	中国
WS	WU Jianqiu	呉健秋	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	KIM Yun Ja	金綸子	韓国
	YOO Sang Hee	柳尚希	
XD	Billy GILLILAND	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Gillian GOWERS	ジリアン・ゴワーズ	イングランド

1986 ▸ 東京都・群馬県桐生市

MS	YANG Yang	楊　陽	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Razif SIDEK	ラジフ・シデク	マレーシア
	Jalani SIDEK	ジャラニ・シデク	
WD	WU Dixi	呉迪西	中国
	LIN Ying	林　瑛	
XD	Billy GILLILAND	ビリー・ギリランド	スコットランド
	Nora PERRY	ノラ・ペリー	イングランド

1987 ▸ 群馬県桐生市

MS	XIONG Guobao	熊国宝	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	Liem SWIE KING	リム・スイ・キン	インドネシア
	Eddy HARTONO	エディ・ハルトノ	
WD	LIN Ying	林　瑛	中国
	GUAN Weizhen	関渭貞	
XD	LEE Deuck Choon	李得春	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1988 ▸ 大阪府守口市

MS	Nick YATES	ニック・イエーツ	イングランド
WS	HAN Aiping	韓愛平	中国
MD	TIAN Bingyi	田秉毅	中国
	LI Yongbo	李永波	
WD	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	韓国
	CHUNG So Young	鄭素英	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1989 ▸ 東京都・群馬県桐生市

MS	YANG Yang	楊　陽	中国
WS	LI Lingwei	李玲蔚	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	LEE Son Bok	李相福	
WD	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	イングランド
	Jilie MUNDY	ジリー・ムンディー	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1990 ▸ 東京都

MS	Morten FROST	モルテン・フロスト	デンマーク
WS	HUANG Hua	黄　華	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	YAE Fen	姚　芬	中国
	LAI Caiqin	賴彩勤	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1991 ▸ 東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	HUANG Hua	黄　華	中国
MD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	KIM Moon Soo	金文秀	
WD	Gillian CLARK	ジリアン・クラーク	イングランド
	Gillian GOWERS	ジリアン・ゴワーズ	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	CHUNG Myung Hee	鄭明熙	

1992 ▸ 東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi SUANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	CHEN Kang	陳　康	中国
	CHEN Hongyong	陳紅勇	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	HWANG Hye Young	黄恵英	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Pernilla DUPONT	ペミール・デュポン	

1993 ▸ 東京都

MS	Haryanto ARBI	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	YE Zhaoying	葉剣穎	中国
MD	CHEN Kang	陳　康	中国
	CHEN Hongyong	陳紅勇	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	GIL Young Ah	吉永雅	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Catrine BENGTSSON	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1994 ▸ 東京都

MS	Ardy.B.WIRANATA	アーディー・B・ウィラナタ	インドネシア
WS	Susi SUANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Deny KANTONO	デニー・カントノ	
WD	CHUNG So Young	鄭素英	韓国
	GIL Young Ah	吉永雅	
XD	Jon HOLST-CHRISTENSEN	ヨン・ホルスト・クリステンセン	デンマーク
	Catrine BENGTSSON	カトリーヌ・ベントソン	スウェーデン

1995 ▸ 東京都

MS	Haryanto ARBI	ハリアント・アルビ	インドネシア
WS	Susi SUANTI	スシ・スサンティ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	Thomas LUND	トーマス・ルンド	デンマーク
	Marlene THOMSEN	マーレーン・トムセン	

1996 ▸ 東京都

MS	Joko SUPRIANTO	ジョコ・スプリアント	インドネシア
WS	YE Zhaoying	葉剣穎	中国
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GIL Young Ah	吉永雅	韓国
	JANG Hye Ock	張恵玉	
XD	PARK Joo Bong	朴柱奉	韓国
	RA Kyung Min	羅景民	

1997 ▸ 東京都

MS	Peter RASMUSSEN	ピーター・ラスムセン	デンマーク
WS	Mia AUDINA	ミア・アウディナ	インドネシア
MD	Ricky SUBAGDJA	リッキー・スバグジャ	インドネシア
	Rexy MAINAKY	レキシー・マイナキー	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

1998 ▸ 東京都

MS	Peter GADE	ピーター・ゲード	デンマーク
WS	GONG Zhichao	龔智超	中国
MD	CHEAH Soon Kit	チー・スーンキット	マレーシア
	YAP Kim Hock	ヤップ・キムホック	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	KIM Dong Moon	金東文	韓国
	RA Kyung Min	羅景民	

1999 ▸ 東京都

MS	Peter GADE	ピーター・ゲード	デンマーク
WS	YE Zhaoying	葉剣穎	中国
MD	HA Tae Kwon	河泰権	韓国
	KIM Dong Moon	金東文	
WD	GE Fei	葛　菲	中国
	GU Jun	顧　俊	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

2000 ▸ 東京都

MS	JI Xinpeng	吉新鵬	中国
WS	GONG Zhichao	龔智超	中国
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	
WD	HUANG Nanyan	黄楠雁	中国
	YANG Wei	楊　維	
XD	LIU Yong	劉　永	中国
	GE Fei	葛　菲	

2001 ▸ 東京都

MS	Roslin HASHIM	ロスリン・ハシム	マレーシア
WS	ZHOU Mi	周　蜜	中国
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Sigit BUDIARTO	シギット・ブディアルト	
WD	GAO Ling	高　峻	中国
	HUANG Sui	黄　穂	
XD	Bambang SUPRIANTO	バンバン・スプリアント	インドネシア
	Minarti TIMUR	ミナルティ・ティムール	

2002 ▸ 東京都

MS	LEE Hyun Il	李炫一	韓国
WS	ZHOU Mi	周　蜜	中国
MD	CHAN Chong Ming	チャン・チョンミン	マレーシア
	CHEW Choon Eng	チュー・チューエン	
WD	RA kyung Min	羅景民	韓国
	LEE Kyung Won	李敬元	
XD	KIM Dong Moon	金東文	韓国
	RA kyung Min	羅景民	

2003 ▸ 東京都

MS	XIA Xuanze	夏煊澤	中国
WS	Camilla MATIN	カミラ・マーチン	デンマーク
MD	Flandi LIMPELE	フランディー・リンペレ	インドネシア
	Eng HIAN	エン・ヒアン	
WD	GAO Ling	高　峻	中国
	HUANGH Sui	黄　穂	
XD	ZHANG Jun	張　軍	中国
	GAO Ling	高　峻	

2004 ▸ 東京都

MS	Ronald SUSIRO	ロナルド・スシロ	シンガポール
WS	Mia　AUDINA TJIPTAWAN	ミア・アウディナ	オランダ
MD	HA Tae Kwon	河泰権	韓国
	KIM Dong Moon	金東文	
WD	RA kyung Min	羅景民	韓国
	LEE Kyung Won	李敬元	
XD	Nova WIDIANTO	ノバ・ウィディアント	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

2005 ▸ 東京都

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	ZHANG Ning	張　寧	中国
MD	Jens ERIKSEN	イエンス・エリクセン	デンマーク
	Martin LUNDGAARD HANSEN	マーチン・ルンドガード・ハンセン	デンマーク
WD	YANG Wei	楊　維	中国
	ZHANG Jiewen	張潔雯	
XD	Sudket PRAPAKAMOL	スッケー・プラパカモル	タイ
	Saralee THUNGTHONGKAM	サラリー・トゥントーンカム	

2006 ▸ 東京都

MS	LIN Dan	林　丹	中国
WS	ZHANG Ning	張　寧	中国
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	
WD	GAO Ling	高　峻	中国
	HUANGH Sui	黄　穂	
XD	Flandi LIMPELE	フランディー・リンペレ	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

2007 ▸ 東京都

MS	LEE Chongwei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	Tine RASMUSSEN	ティーネ・ラスムセン	デンマーク
MD	Candra WIJAYA	チャンドラ・ウィジャヤ	インドネシア
	Tony GUNAWAN	トニー・グナワン	アメリカ
WD	YANG Wei	楊　維	中国
	ZHANG Jiewen	張潔雯	
XD	ZHENG Bo	鄭　波	中国
	GAO Ling	高　峻	

2008 ▸ 東京都

MS	Sony Dwi KUNCORO	ソニ・ドゥイ・クンチョロ	インドネシア
WS	WANG Yi Han	王儀涵	中国
MD	Lars PAASKE	ラース・パースク	デンマーク
	Jonas RASMUSSEN	ヨナス・ラスムセン	
WD	CHENG Shu	成　淑	中国
	ZHAO Yunlei	趙蕓蕾	
XD	Muhammad RIJAL	ムハンマド・リジャル	インドネシア
	Vita MARISSA	ヴィタ・マリサ	

2009 ▸ 東京都

MS	BAO Chunlai	鮑春来	中国
WS	WANG Yi Han	王儀涵	中国
MD	MARKIS Kido	マルキス・キドー	インドネシア
	HENDRA Setiawan	ヘンドラ・セティアワン	
WD	MA Jin	馬晋	中国
	WANG Xiaoli	王暁理	
XD	Songphon ANUKRITAYAWON	ソンフォン・アヌグリタヤウォン	タイ
	Kunchala VORAVICHITCHAIKUL	クンチャラ・ウォラウイチツアイクル	

2010 ▸ 東京都 WINNER 優勝者

MS	LEE Chongwei	リー・チョンウェイ	マレーシア
WS	JIANG Yanjiao	蔣燕皎	中国
MD	FU Haifeng	傅海峰	中国
	CAI Yun	蔡贇	
WD	YU Yang	於洋	中国
	WANG Xiaoli	王暁理	
XD	ZHANG Nan	張楠	中国
	ZHAO Yunlei	趙蕓蕾	

2010 ▸ 東京都 RUNNER UP 準優勝

MS	LIN Dan	林丹	中国
WS	WANG Xin	汪鑫	中国
MD	KOO Kien Keat	クー・ケンケット	マレーシア
	TAN Boon Heong	タン・ブンホン	
WD	CHENG Shu	成淑	中国
	ZHAO Yunlei	趙蕓蕾	
XD	TAO Jiaming	陶嘉明	中国
	TIAN Qing	田卿	

MS＝男子シングルス、WS＝女子シングルス、MD＝男子ダブルス、WD＝女子ダブルス、XD＝混合ダブルス


NTT
東日本
便利で、
はじめる。
ECOで、
つづける。
• 音楽ダウンロードで資源節約。
• オンラインカタログでペーパーレス。
• 動画配信でお出かけ不要。
つなぐ。それは、ECO
広テ09-5017[1002.1203]
※はイメージです。

おいしさ、そして、いのちへ。
Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO®

選手強化キャンペーン

JAPAN

AJINOMOTO
amino VITAL アミノバイタル

栄養補助食品カテゴリー粉状・タブレット JOC エールパートナー

がんばれ!ニッポン!

「アミノバイタル」がチーム「ニッポン」を強くする!

いよいよロンドンまであと1年。「アミノバイタル®」は、味の素KKの100年を超えるアミノ酸研究から生まれ、オリンピック日本代表選手団のコンディションを支えてきました。キーワードは「実感!」。厳しい練習に耐え、戦い続けるトップアスリートが実感するアミノ酸だからこそ、できることがあります。世界に挑むトップアスリートと、日本中のスポーツファンと、「アミノバイタル®」が一丸となって、メダル獲得を目指します。

JOC × 味の素KK「ビクトリープロジェクト」

2003年からスタートしたJOC・味の素KK共同の選手強化支援プロジェクト。スポーツ栄養科学に基づき「アミノバイタル®」を活用したコンディショニングに加え、食と栄養のサポートまで行っています。

味の素ナショナルトレーニングセンター※

メダル獲得を目指すトップアスリートが鍛錬を続ける、世界で勝つための総合強化施設「ビクトリープロジェクト」の拠点です。「アミノバイタル®」は、選手たちを強化すると同時に、選手たちの声は、「アミノバイタル®」の製品づくりにも反映されています。

選手たちの効率的な栄養サポートプログラム「勝ち飯」

「勝ち飯」は「強く」「速く」「長く」動くための栄養摂取を「三食」と「補食」で実践。「補食」では「三食」で不足する栄養を、タイミング良く摂取する事が重要。そこでも「アミノバイタル®」は、選手たちに活用されています。

※味の素ナショナルトレーニングセンターは、国立のスポーツ施設として、日本で初めて味の素KKがネーミングライツを取得いたしました。

アミノバイタル 検索

<バドミントン>潮田 玲子(日本ユニシス所属)

<競泳>入江 陵介(近畿大学/イトマンSS所属)

<体操>内村 航平(KONAMI所属)

実感! amino VITAL®



「アミノバイタル®」プロ
14本入箱



「アミノバイタル®」タブレット
120粒入



「アミノバイタル®」
30本入箱



「アミノバイタル® カプシ」
21本入箱

スポーツ ニュートリション

世界と戦うカラダへ。「アミノバイタル®」は、スポーツ時に大切なアミノ酸(BCAA+グルタミン・アルギニンなど)をバランスよく配合。オリンピック日本代表選手の勝利をサポートする「スポーツニュートリション」です。

もっと、動ける、楽しめる。





